EloView4 ユーザーガイド UM600758
https://secure.eloview.com

対象製品 OS	対応可能ソフトウェアバージョン
Android 7.1 AOSP	3.64.87 以上
Android 8 AOSP	4.64.80+a 以上
Android 8 GMS	4.64.114 以上
Android 10	5.000.029.0041+p 以上
Android 12	6.000.022.0052+p 以上
Android 14	制限なし

また、弊社 MDM（EloView）を使用しない場合のユーザーガイドは UM600704 を参照して下さい。

デフォルトの”Control Panel Password”が 「1elo」になっている場合は、
ハードウェアのコントロールパネルを表示できなる場合があります。
その場合、パスワードを変更して下さい。
Admin password のデフォルトは 「1elo」です。

注意) OS イメージは、Android のセキュリティに関する公開情報への対応や機能改善などのために定期的にアップデートされます。各デバイスの OS イメージを新しいバージョンにアップデートすることは可能ですが、古いバージョンに戻すことはできません。
使用するファイル名は、アルファベット及び数字のみご使用ください。

初回起動時の時刻同期についての注意事項
新品のデバイスは、初期状態ではシステム時刻が正しく設定されていない場合があります。
システム時刻のずれにより、EloView 4（EV4）サーバーと正常に通信できないことがあります。
そのため、初回起動時は以下の NTP サーバーとの通信を許可してください。
・ *.android.pool.ntp.org（* は 0～3）
・ time.google.com
デバイスは、EloView/GMS/Android の三つのモード選択画面が表示される前の段階で、NTP サーバーと通信して時刻同期を行います。
備考)企業内ネットワークで NTP がブロックされている場合、Wi-Fi ルーターの NTP トラフィック規制の影響、ファイアウォールなどの設定の影響などには注意して下さい。

注意)タッチの反応が悪いと感じられる場合の対応

Android 搭載のタッチ PC をご利用の際、「指の腹で押し付けるようにタッチすると反応が悪い」と感じる場合があります。これは、Android OS の**ジェスチャ判定**によるものである可能性が高いです。Android には、1 本の指の動きに対して複数の動作（ジェスチャ）が割り当てられています。指を強く押し付けたり、接地面積が広くなったりすると、システムが「タップ」ではなく「別の動作」として誤認識してしまうことがあります。

特に Web アプリでは、反応が悪いと認識される傾向が高いようで、その対策としましては、JavaScript の Pointer Events（pointerdown）の利用が効果的です 。

Copyright © 2024 Elo Touch Solutions, Inc. All Rights Reserved.（不許複製・禁無断転載)
本書のいかなる部分も、Elo Touch Solutions, Inc. の書面による事前の許可なく、いかなる形式・手段（電子的、磁気的、光学的、化学的、手動的、その他の手段を含む）によっても、複製、送信、複写、検索システムへの記録、またはいかなる言語あるいはコンピューター言語への変換も行うことはできません。

免責事項
本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。 Elo Touch Solutions, Inc. およびその関係会社（「Elo」と総称します）は、本書の内容に関して何らの表明も保証もいたしません。特に、本製品の商品性および特定目的への適合性について、いかなる暗示的保証もいたしません。Elo は、他者に対する事前通知の義務を負うことなく、適宜、本書の内容を改定・変更する権利を有しています。

商標について
Elo (ロゴ)、Elo Touch Solutions、IntelliTouch、iTouch、EloViewは、Elo およびその関連会社の登録商標です。Windows は、Microsoft Corporation の商標です。Google、Google Chrome、Google Play、Googleマップ、Androidは、Google LLCの商標です。Firefoxは、米国Mozilla Foundationの登録商標です。TeamViewerは、TeamViewer GmbHの登録商標です。

EloView4について
EloView4とは弊社の親会社であるElo Touch Solutionsが、行っているMDM(Mobile Device Management)の最新版です。EloView4を用いると、以下の概要の項目などを容易に行うことができます。以下にアクセスして、使用する場合は、アカウント申請をして使用して下さい。 https://secure.eloview.com

EloView4の概要
1) アカウント管理
   a) 複数人での管理（権限を付与したユーザー追加が可能）
   b) サブアカウントでの管理（エンドユーザー毎の対応）
2) デバイス管理

備考)1 アカウントで管理できるデバイス数のデフォルトは 10 台です。弊社に依頼いただくと最大 100, 000 台に変更できます。
   a) 登録管理(csv ファイルによる一括登録)
   b) WiFi 設定(csv ファイルによる事前登録)
   c) 輝度、音量設定等
   d) リブート
   e) ナビゲーションバー表示/非表示管理
   f) グループ管理　備考)1 グループで管理可能な台数は 15,000 台です。
   g) デバイス情報出力(csv ファイル)
3) コンテンツデリバリー

備考)登録できるコンテンツの容量は最大 2GB で、1 アカウントで登録できる最大コンテンツ数は 370 です。
   a) APK
   b) Web アプリ
   c) 静止画(jpeg,png,pdf)及び動画 mp4　備考)複数の静止画はスライドショー表示になります。
4) OS の管理(image のアップデート)
5) コンテンツ起動のスケジューリング（メインアプリ以外のコンテンツ）
6) メインコンテンツ配信の時間指定
7) スクリーンセーバーのような設定が可能 (Attract loop)
8) メインアプリとは別のアプリ（音声や通信など）をバックグラウンドで動作させることが可能(Bundle)
9) TeamViewer の利用　備考)TeamViewer のライセンスは別途必要です。

但し、現在、本MDMは、日本語対応しておりません。また、インターネットエクスプローラーには対応しておりませんので、Google ChromeやMozilla FirefoxなどのWebブラウザソフトを使用して下さい。
不明な場合、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

タッチパネル・システムズ　サポートセンター
電話番号：03-5464-5835、FAX番号：03-5464-5478
e-mail：tpstech@tps-support.com
受付時間：月曜日～金曜日（但し、弊社指定休日は除く） 9:00～12:00、13:00～17:00
注意事項)EloView や本体表示内容は、アップデートされ、本説明書と異なる場合があります。
説明図の配置は、製品や状況によって横長で表示される場合があります。

目次

1. EloView4 アカウント取得 6

1.1 EloView4 アカウントの作成及びログイン 6

1.2 サブアカウント(Sub account) 8

1.3 OrgID 確認 10

1.4 EloView 開発者向け情報 11

1.5 https://www.elotouch.com/eloview への掲載情報 11

2. アカウント設定(Accounts) 12

2.1 「Time Zone」の設定 13

2.2 言語設定(Language) 14

2.3 「Branding」(デバイスの”Elo Home”画面のカスタム化) 15

2.4 「Customize」(EloView 画面のカスタム化) 16

2.5 「Control Panel Password」の確認 16

2.6 ユーザーインバイト及びデリート 17

2.6.1 ユーザーインバイト 17

2.6.2 ユーザーデリート 19

2.7 WiFi 設定(DFS 設定) 20

3. デバイス関係(Devices) 21

3.1 デバイス登録 21

3.1.1 csv ファイルを使用しての一括登録 22

3.2 デバイス削除 23

3.3 「Settings」 24

3.3.1 「Brightness」、「Volume」 25

3.3.2 「Display Timer」 25

3.3.3 ナビゲーションバー表示や Power button の有効/無効選択等の設定 25

3.3.4 「Orientation」 25

3.3.5 WiFi 設定 26
3.3.6 Reboot 手動実行 29
3.3.7 MIC 有効化設定 29
3.3.8 Whitelist 設定 29
3.3.9 表示画面の確認（スクリーンショット） 30
3.4 OS のアップデート 30
3.5 Reboot Timer 31
3.6 グループ管理/フィルター管理/タグ管理 33
3.6.1 グループ登録 33
3.6.2 Gr 管理での各種設定 35
3.6.3 Filter による管理 37
3.6.4 Tag による管理 37
3.7 登録 Device 情報一括出力 39
3.7.1 Device 情報のファイル出力 39
3.8 Peripheral configuration(USB ポートの無効化) 39
4. コンテンツ関係(Content) 40
4.1 アプリケーション/コンテンツのアップロード 40
4.1.1 単独コンテンツのアップロード 40
4.1.2 Attract の登録 45
4.1.3 Bundle の登録 48
4.2 アプリケーション/コンテンツのアンインストール（削除） 51
4.2.1EloView からの削除 51
4.2.2 デバイスからの削除 51
4.3 アプリケーション/コンテンツのデバイスへのインストール/削除 52
4.3.1 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツのインストール 52
4.3.2 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツの削除 56
4.3.3 “Multi App” モードでの”Elo Home”画面へのアプリアイコン表示（インストール） 57

4.4 Web アプリのための設定変更 60

4.4.1 GMS restrict mode への変更 60

4.4.2 各種設定の変更 61

5. アプリケーション/コンテンツのスケジュール設定(Schedule) 65

5.1 アプリケーション動作スケジュールの作成 65

5.2 アプリケーション動作スケジュールの削除 67

6. ネットワーク要件 68

EloView 4 必須ドメイン 68

追加必須 URL 68

Time Synchronization (NTP) 69

Cloudflare CDN 69

Required Ports & Protocols 69

任意利用サービス 69

7. TeamViewer の使用 70
8. PoE アダプタ使用時の対応 70

1. EloView4 アカウント取得

1.1 EloView4 アカウントの作成及びログイン

注意)ページ構成は変更になっている場合があります。

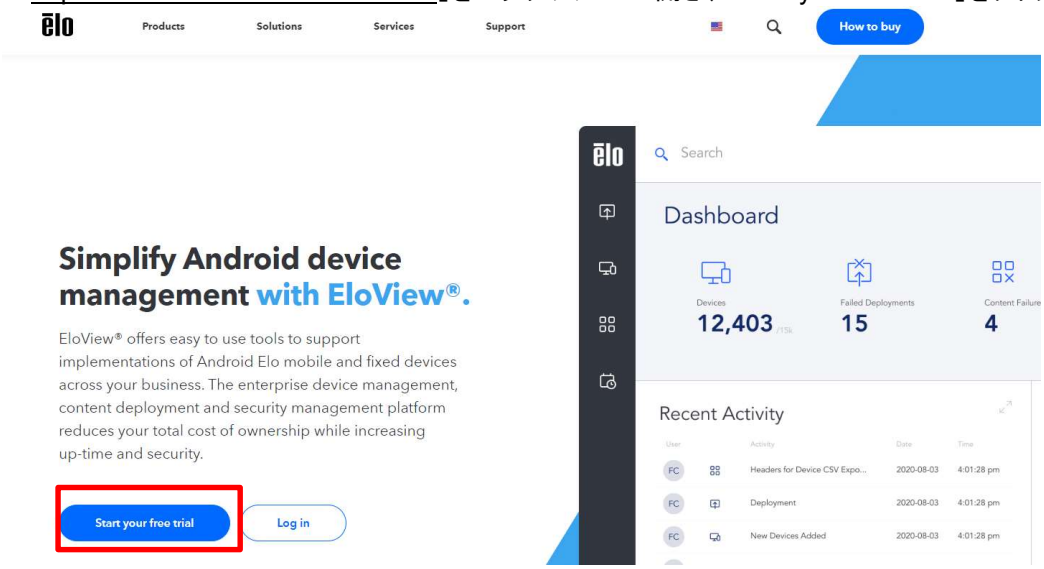
弊社からの返信などは、直後に自動的に届くわけではありませんが、45 日間のトライアルはすぐにご利用になれます。

既にトライアルに登録済みで本登録を急ぎの場合は、弊社サポートセンターに使用する Email アドレス情報を含め、お知らせください。本登録には事前にトライアルでの登録が必要です。

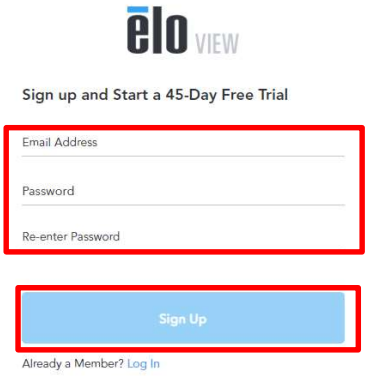
登録する Email アドレスには Gmail などは使用せず、会社のドメインを使用してください。承認されない場合があります。

EloView アカウント取得直後、**管理できる最大デバイス数は 10 台**で登録されます。
それ以上のデバイスをコントロールする場合は、EloView アカウント取得後に、弊社までお問い合わせ下さい。
但し、1 アカウントで登録可能なデバイス数を 100,000 台以上に拡張することはできません。

1) 「https://www.elotouch.com/eloview/」をブラウザソフトで開き、「Start your free trial」をクリックしてください。



2) 以下のアカウント作成のページが開きます。(フリートライアル)



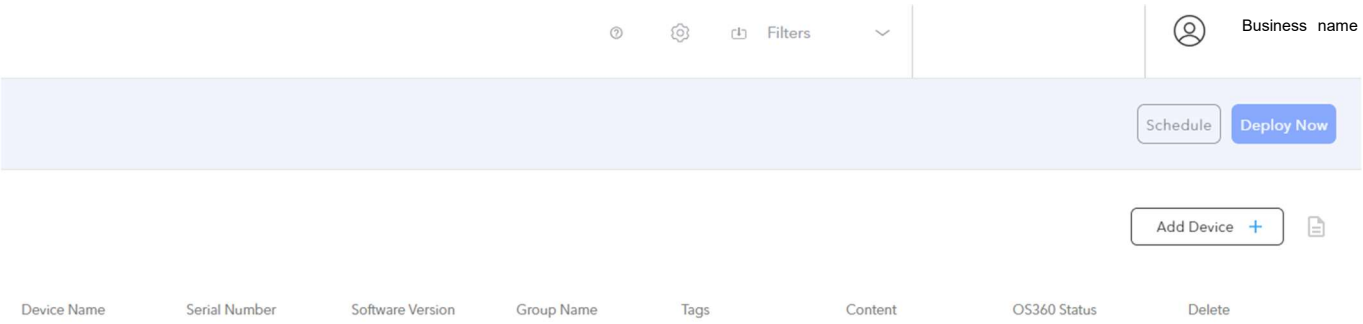
アカウントとして使用するメールアドレスとパスワードを入力して、「Sign Up」をクリックしてください。
パスワードの長さは、大文字のアルファベット，数字，記号の三種類から何種類が含まれているかによって、最低文字数の制限が変わります。
一種類だけを使用している場合は、12 文字以上の長さが必要です。
二種類を使用している場合は、10 文字以上の長さが必要です。
三種類を使用している場合は、8 文字以上の長さが必要です。
パスワードとして使用できる文字列の例には、下記のものがあります。(「」は、含みません)
「123456789012」,「ABCDEFGHIJKL」(使用している文字の種類は、1種類ですが、12 文字以上の場合は、使用可能です。)
「12345ABCDE」(使用している文字の種類が、2 種類なので、10 文字以上の場合は、使用可能です。)
「123ABC#%」(使用している文字の種類が、3 種類なので、8 文字以上の場合は、使用可能です。)

3) メール送信のメッセージが表示され、設定したメールに「Email Verification Code」のメールが届きます。
4) 表示された画面に、上記 Email に記載された「Your verification code」を入力し、「Submit」をクリックします。

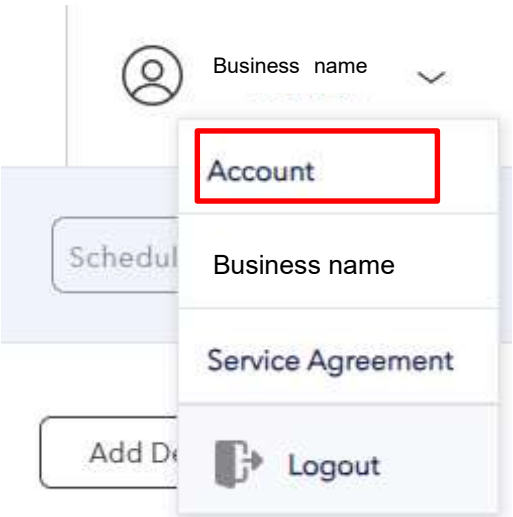
注意)このアカウントの状態はトライアルです。実際のシステムでご使用される場合は、弊社営業部門あるいはサポートセンターまで連絡し、継続して利用するアカウントの状態に変更する必要があります。また、使用するデバイス数がデフォルトでは 10 台なので、それ以上の台数で使用する場合は、その台数の設定も変更する必要があります。
(この変更に費用は発生しません)

5) ログイン画面に切り替わりますので、設定したメールアドレスとパスワードを入力し、「Log In」をクリックするとログインできます。

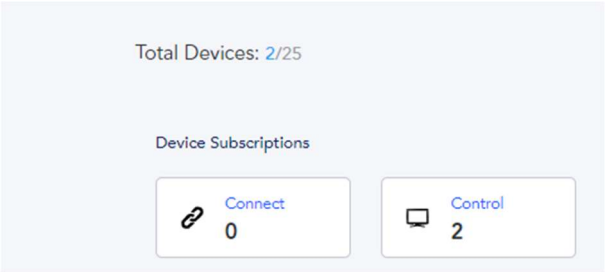
以下がログイン後の画面(デバイス表示)の例です。



右上の Business name 部(実際の表示は登録された名前)をクリックすると、以下のようにプルダウンメニューが表示されます。



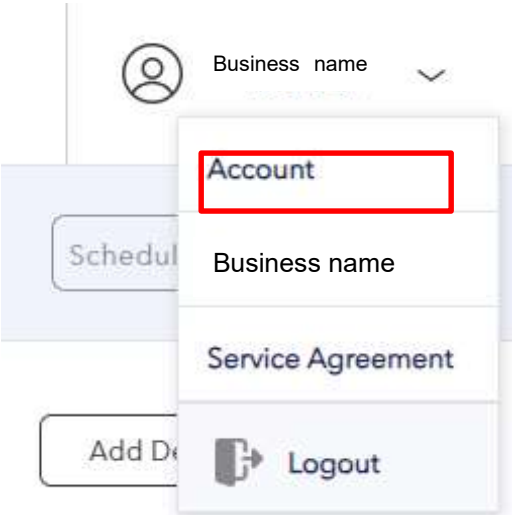
「Account」をクリックし、表示される画面右上に Total Devices が表示されます。
この例の場合、最大 25 台が管理可能台数で、2 台が登録中ということになります。



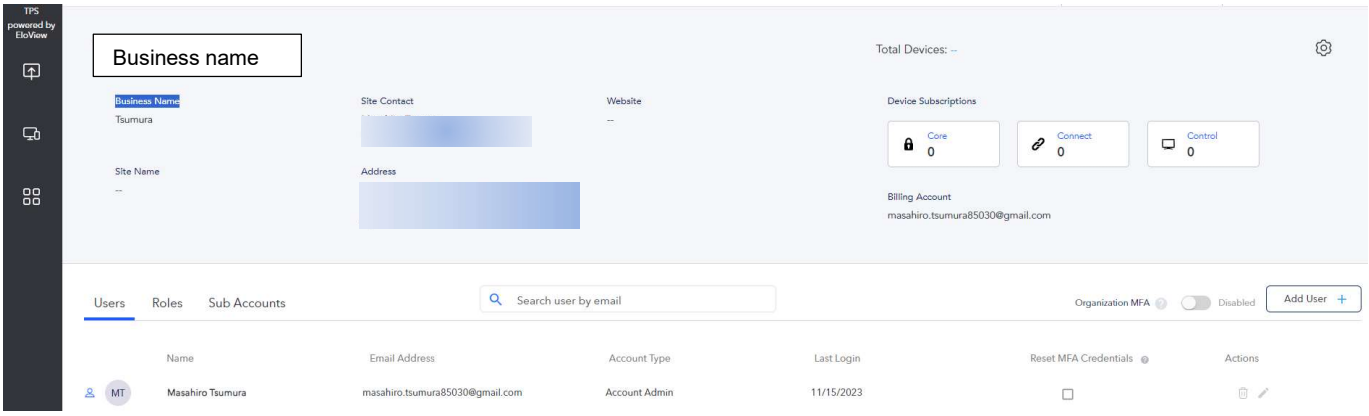
また、「Site Contact」の下に、アカウントの Email アドレス等が表示されています。

1.2 サブアカウント(Sub account)

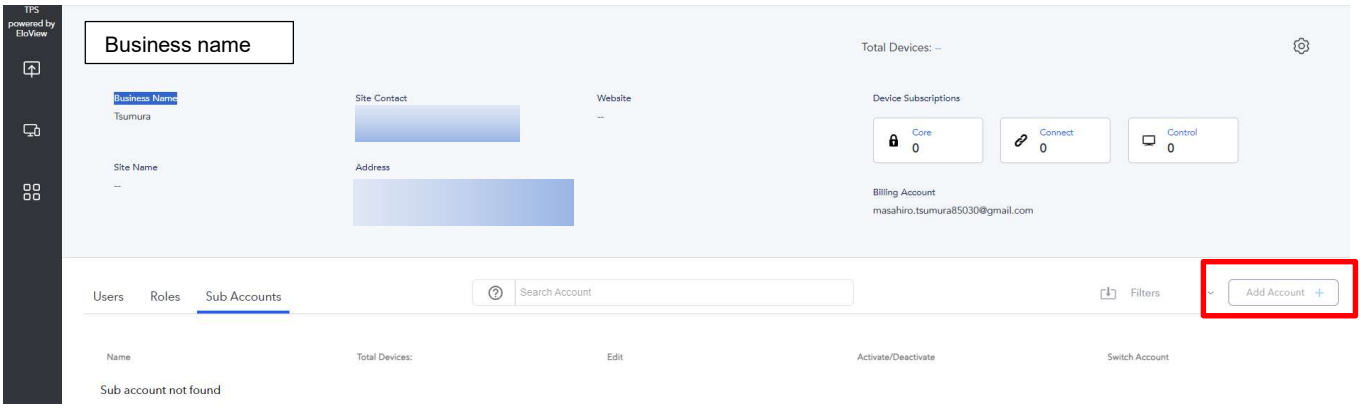
サブアカウント(Sub account) を作成し、複数の“Child”アカウントを管理することが可能になります。
（複数のエンドユーザーをお持ちで、そのエンドユーザーのアプリや配信も管理する場合には有効です。）
備考)サブアカウント数に上限はありません。
1)画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。



2)Account の詳細情報が表示された画面の「Sub Accounts」タブを選択します。

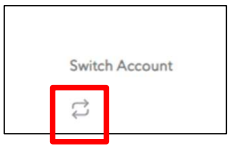


3)右下の「Add Account+」をクリックすると、サブアカウントが追加できます。追加できない場合は、弊社まで依頼してください。
その際に、Email アドレスと OrgID が必要になります。



4)サブアカウントに入る場合は、右側の右下の「Switch Account」下のアイコンをクリックしてください。

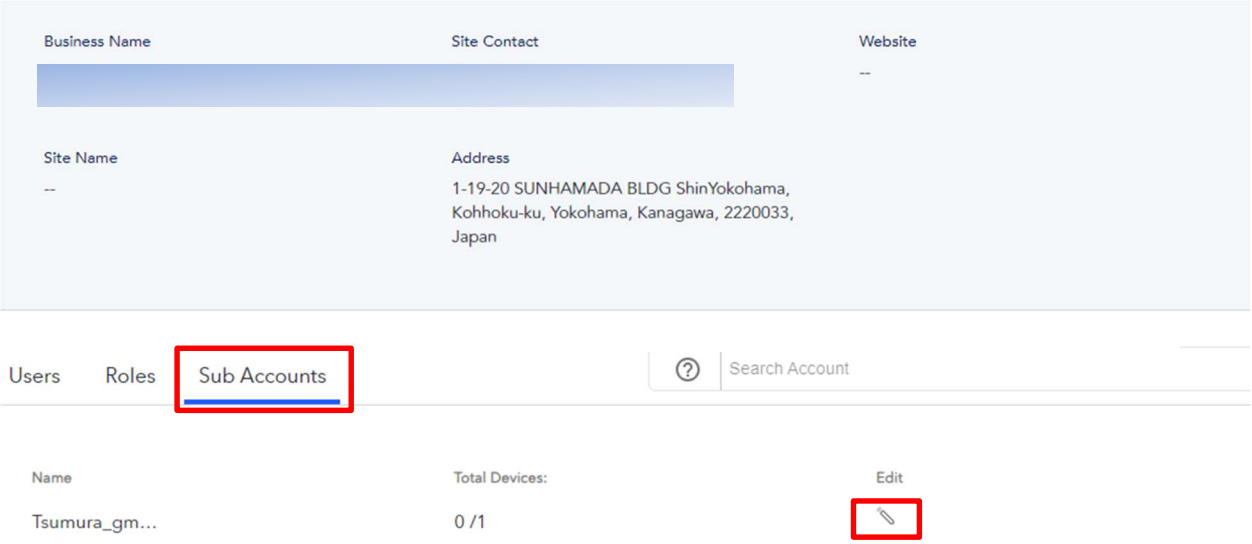
サブアカアウントの EloView 画面（ロゴなど）も、カスタマイズすることが可能で、
複数のエンドユーザーを識別管理することが容易にできます。



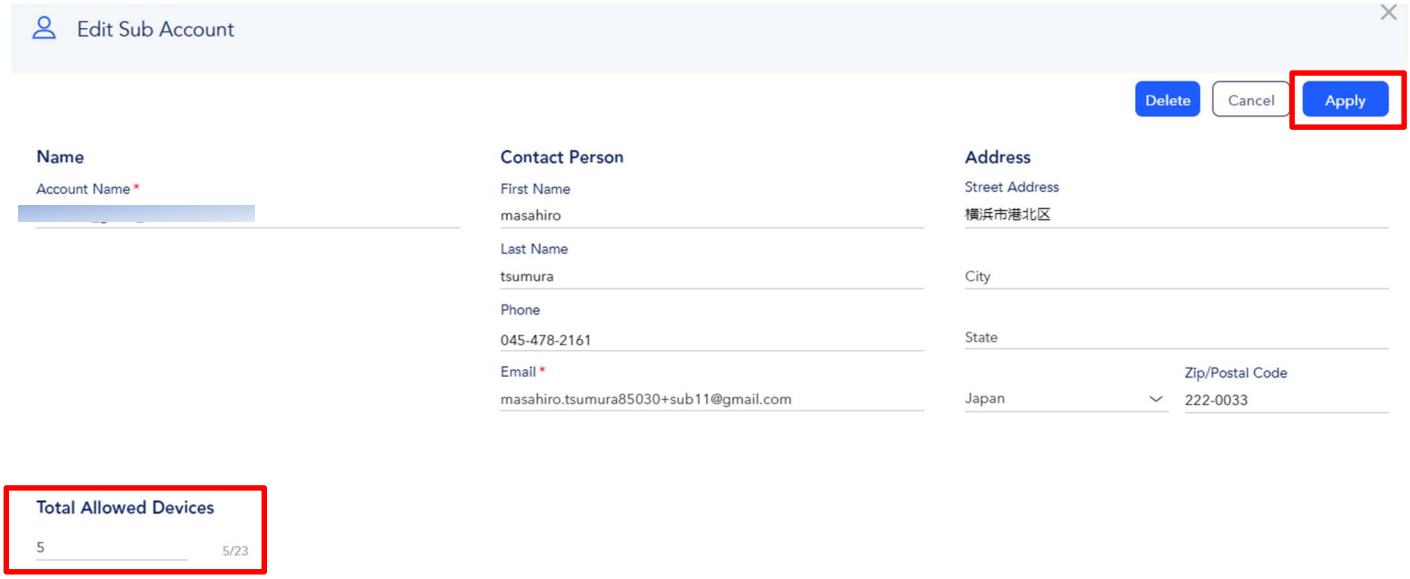
1.2.1 サブアカウントで管理可能台数の変更

注意)サブアカウントのトータル台数は、メインアカウントで、管理できる台数以下になります。

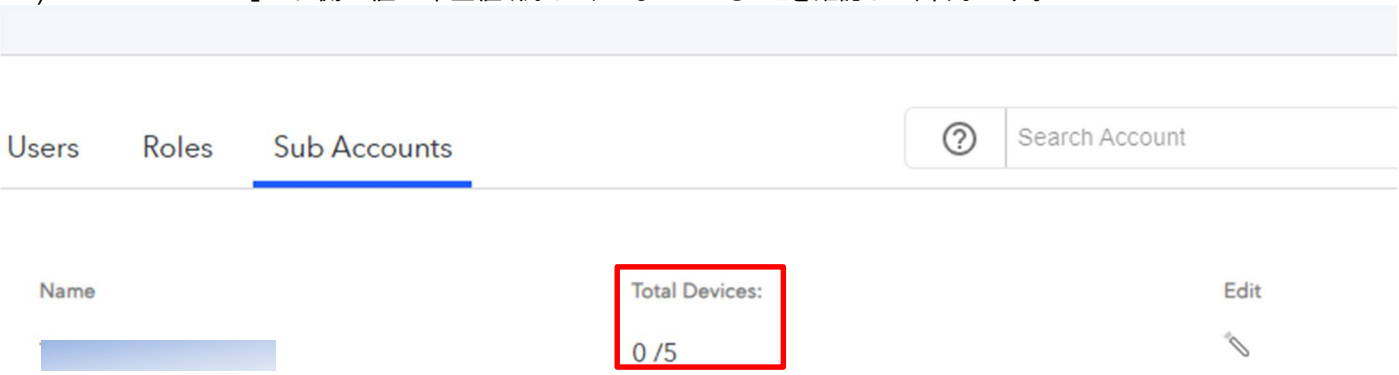
1)「Sub accounts」タブを選択し、管理台数を設定するサブアカウントを表示し、鉛筆アイコンをクリックします。



2)「Total Allowed Devices」に希望する台数を入力し（例は 5 台）、右上の「Apply」をクリックします。

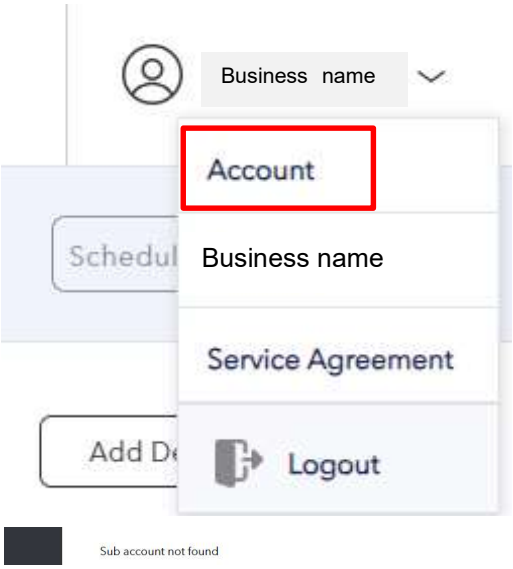


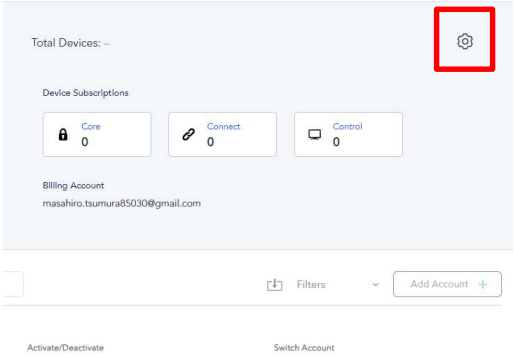
3) 「Total Devices」の右側の値が希望値（例は 5）になっていることを確認して、終了です。



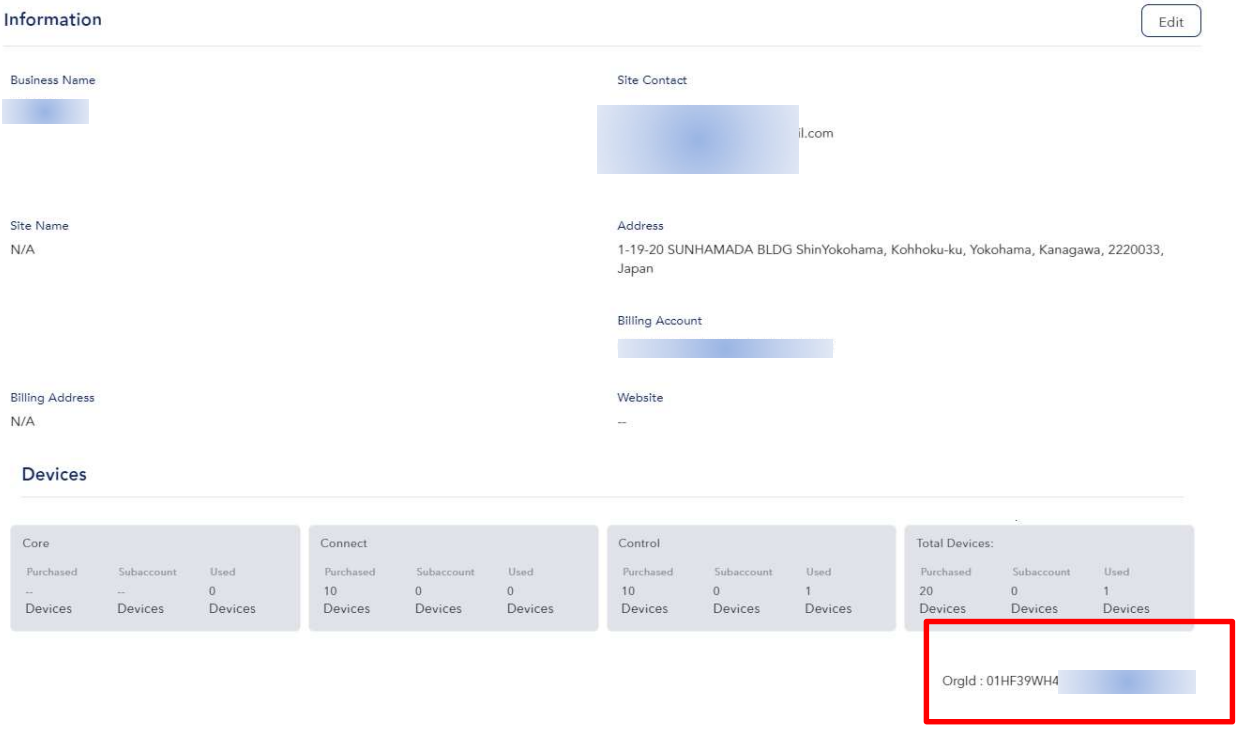
1.3 OrgID 確認

1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。





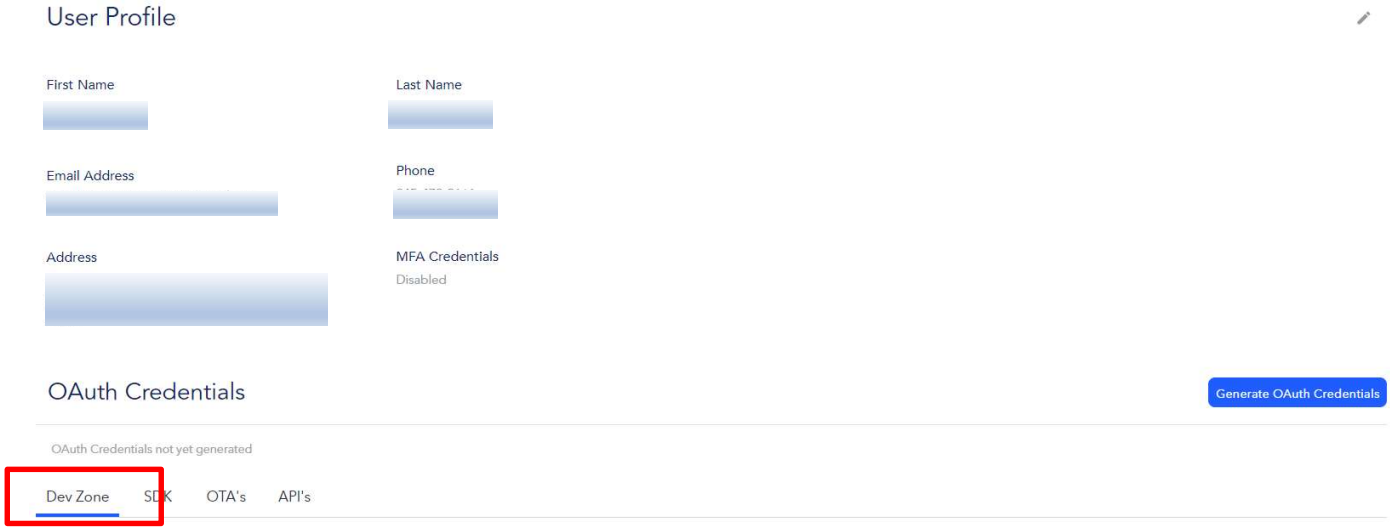
2) 右上に表示されるギアマーク クリックし、右下に OrgID が表示されます。



1.4 EloView 開発者向け情報

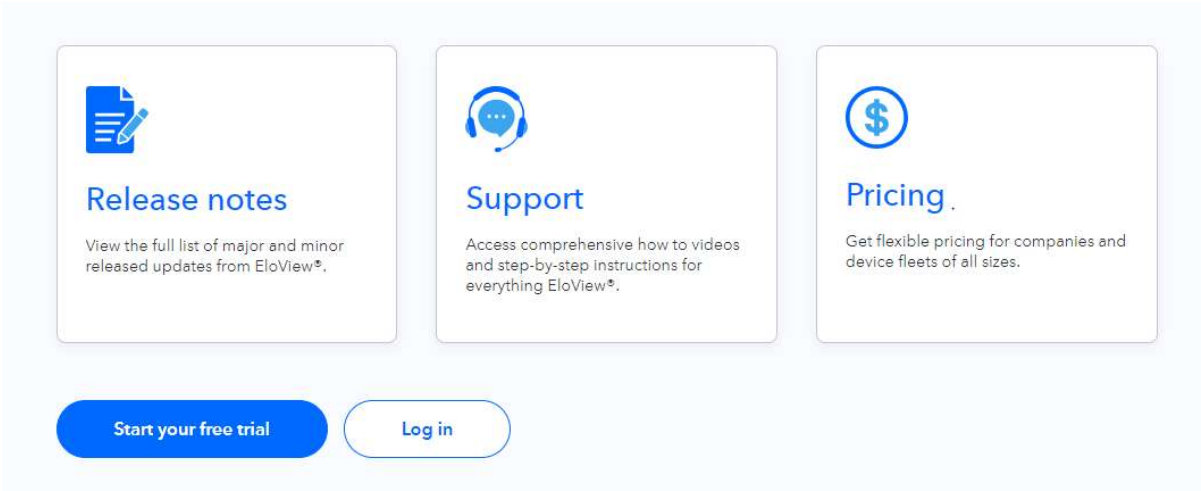
1) 画面右上の登録したビジネスネームの左のアイコンをクリックします。

2) User Profile 画面の左下に Dev Zone を選択すると、SDK など開発者向けの情報が入手できます。



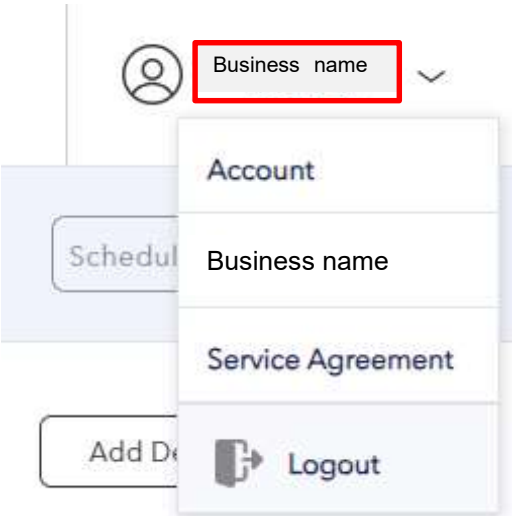
1.5 https://www.elotouch.com/eloview への掲載情報

1) 「Pricing」 に関しましては、日本国内用ではございませんので、ご注意ください。

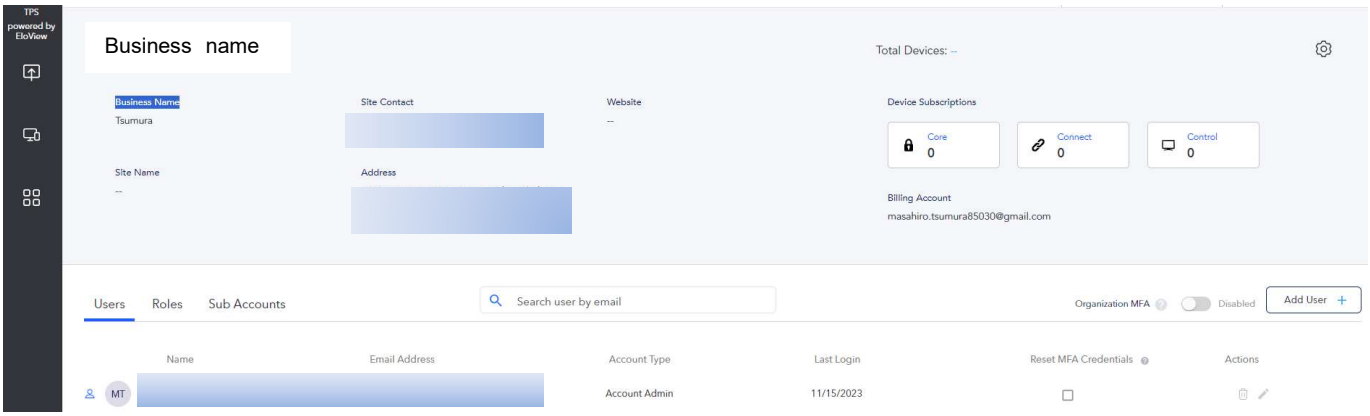


2. アカウント設定(Accounts)

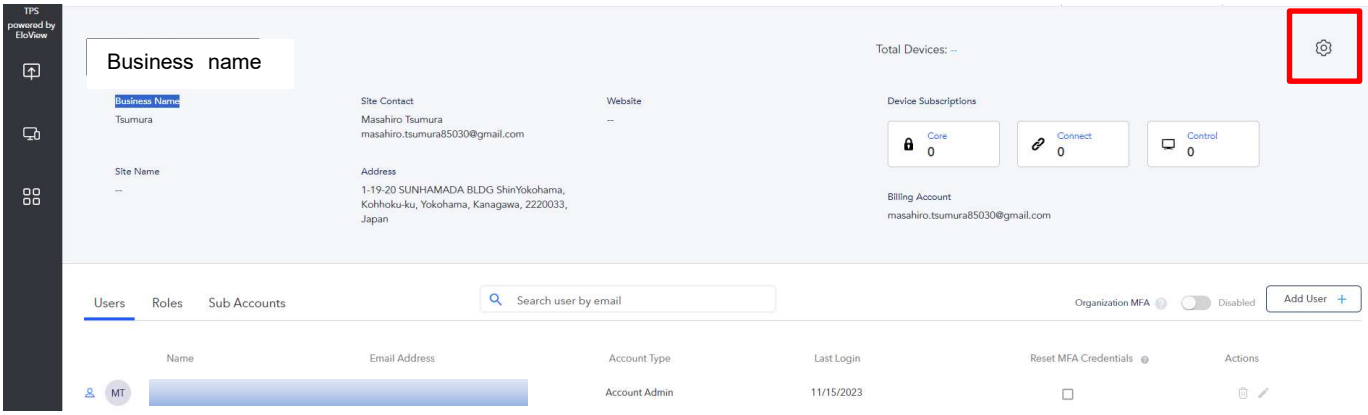
1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、Business name をクリックします。



2) 以下のような Account 画面が表示されます。



3) Account の詳細情報が表示された画面の右上のギアマークをクリックします。



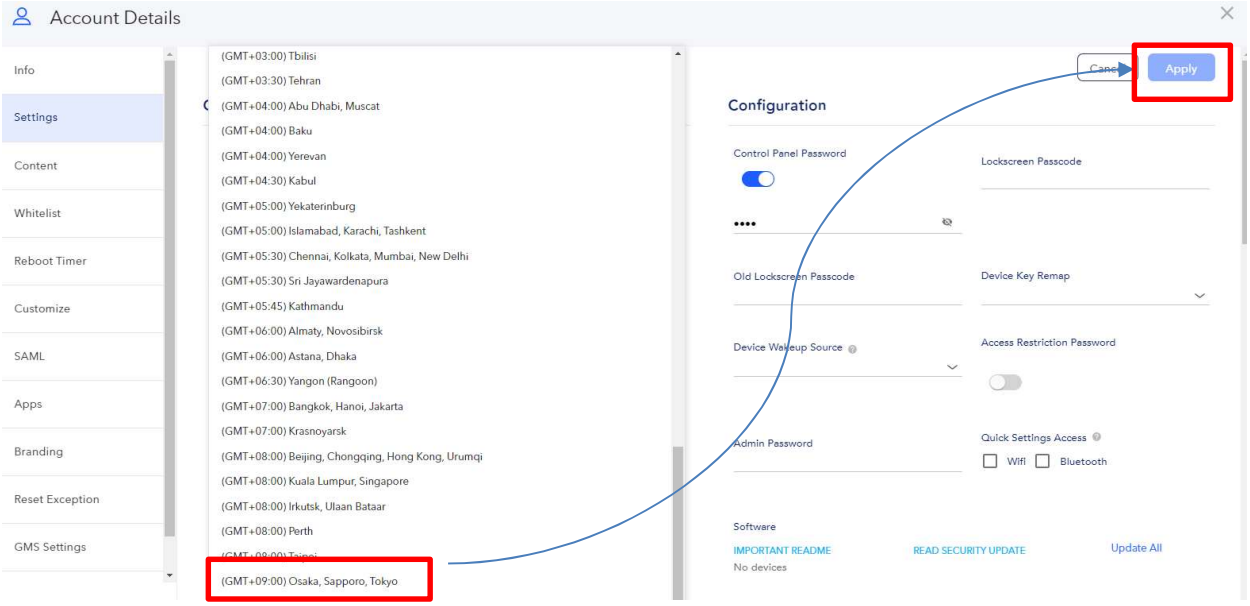
以降はそれぞれの項目を設定して下さい。

2.1 「Time Zone」の設定

注意）「Time Zone」設定が、「N/A」または「Default/Device」になっている場合、製品の再起動を行った際に、製品の「Time Zone」設定が変更されてしまう場合がありますので、必ず以下のように設定して下さい。

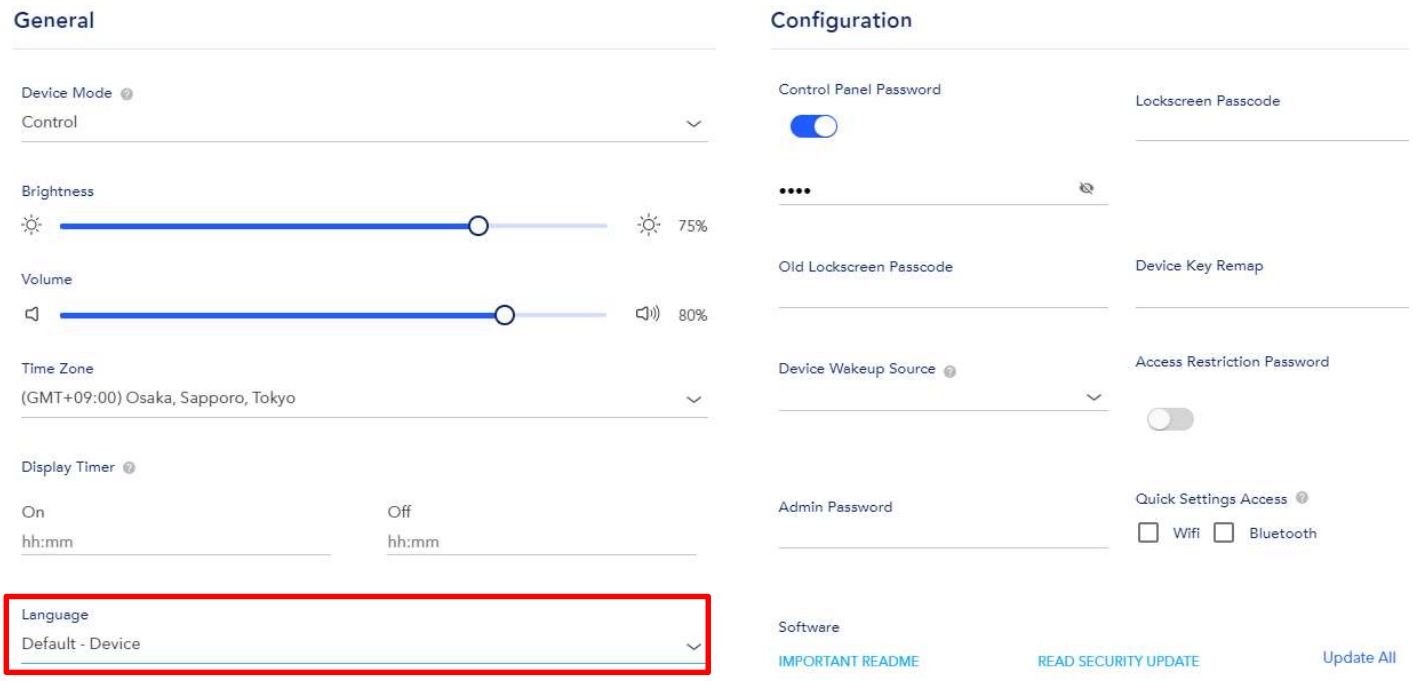
1) 「Account Details」の中の左側に表示される「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして下さい。

2) 「Time Zone」 をプルダウンから「(GMT+09:00)Osaka,Sapporo,Tokyo」を設定し、右上の「Apply」をクリックして下さい。Asia/Tokyo と表示されます。

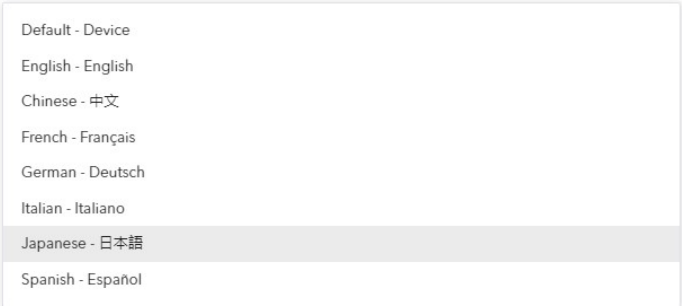


2.2 言語設定(Language)

1) 「Account Details」を表示し、「Settings」を選択し、「Edit」をクリックしてください。
2) 表示されるメニュー内の「Language」の下の「Default-Device」をクリックします。



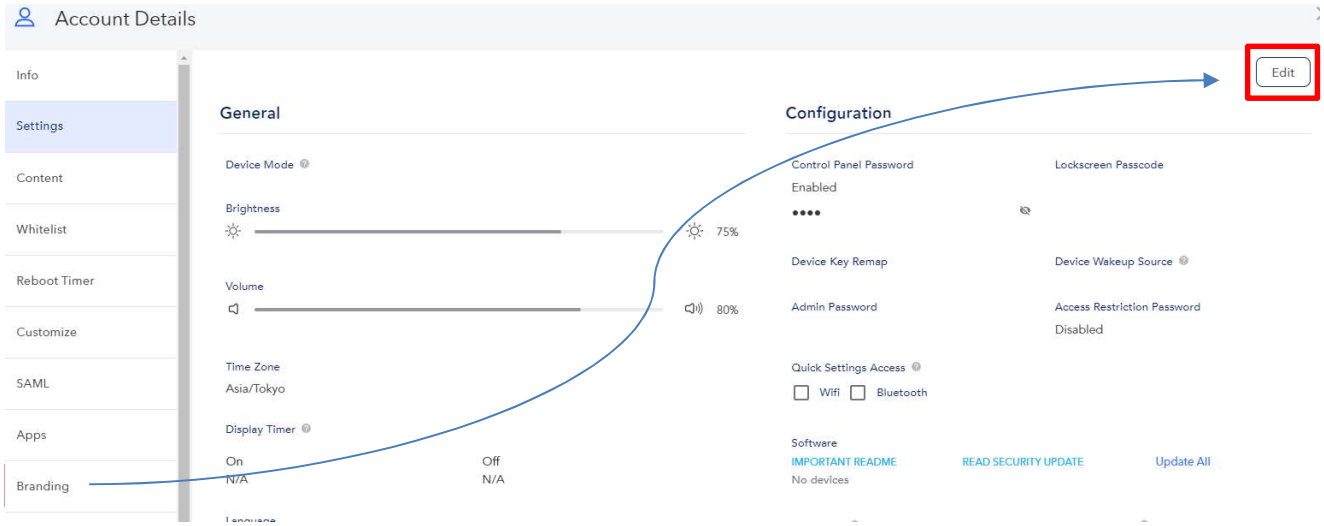
3) 各国の言語がプルダウンされますので、「Japanese-日本語」を選択し、右上の「Apply」をクリックします。



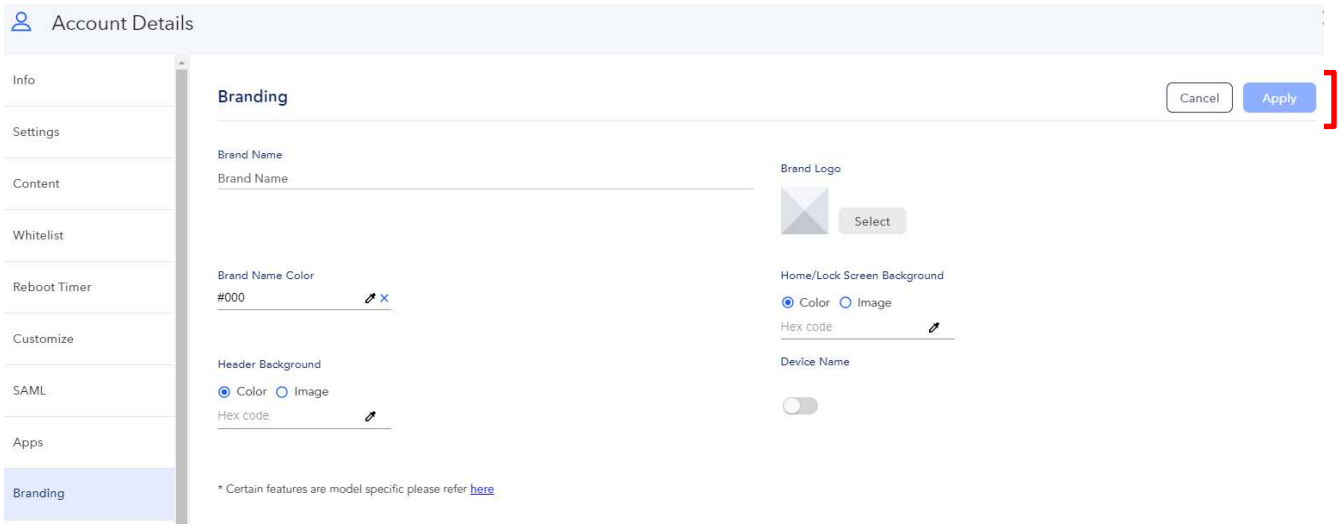
4) 「Language」が、「Japanese-日本語」に変更されていることを確認して終了です。

2.3 「Branding」(デバイスの”Elo Home”画面のカスタム化)

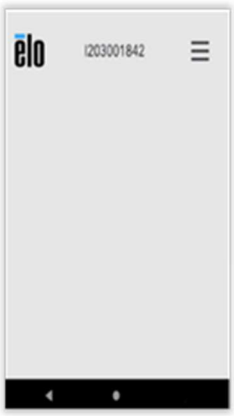
1) 「Account Details」を表示し、「Branding」を選択し、「EDIT」をクリックしてください。



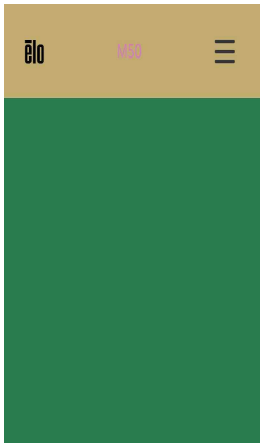
2) 以下のように表示されますので、「Brand name」、「Brand Logo」及び色などを設定し、「Apply」をクリックしてください。



3) デバイスに表示される”Elo Home”の画面構成が変更されます。

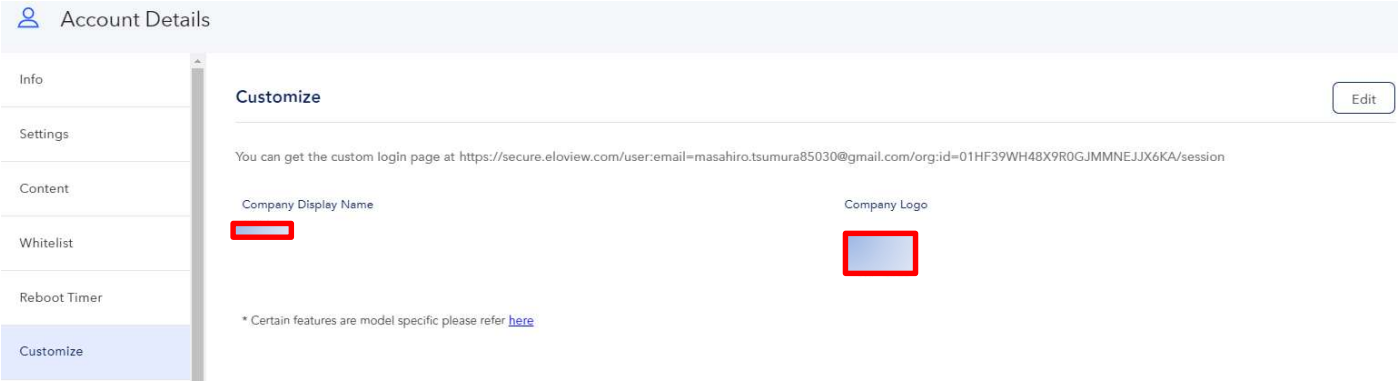


→



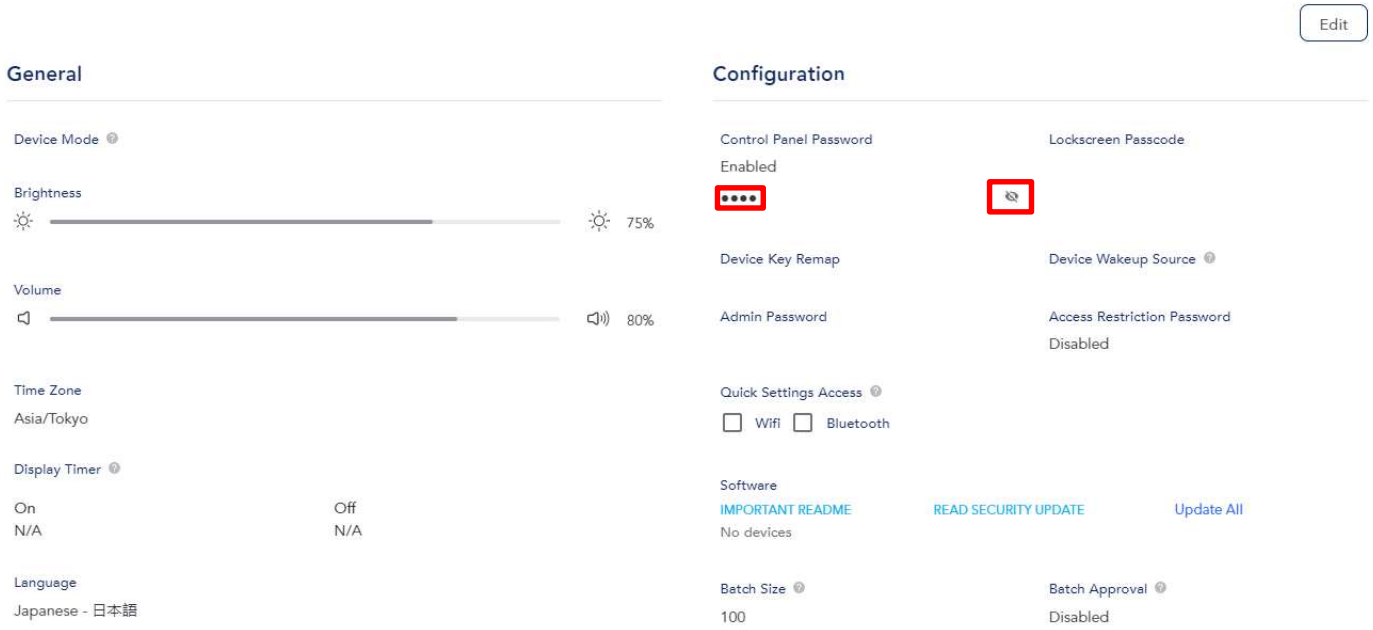
2.4 「Customize」(EloView 画面のカスタム化)

1) 「Account Details」を表示し、「Customize」を選択し、「Edit」をクリックしてください。
2) 「Company Display Name」を入力し、「Company Logo」の下の「Select」をクリックし、使用するロゴファイルを選択して、「Apply」をクリックしてください。
3) 「Company Display Name」と「Company Logo」が変わっていることを確認して下さい。



2.5 「Control Panel Password」の確認

1) 「Account Details」の「Settings」タブ表示内で「EDIT」を選択し、「Configuration」右下のアイマークをクリックすると、その左側に Control Panel Password が表示されます。



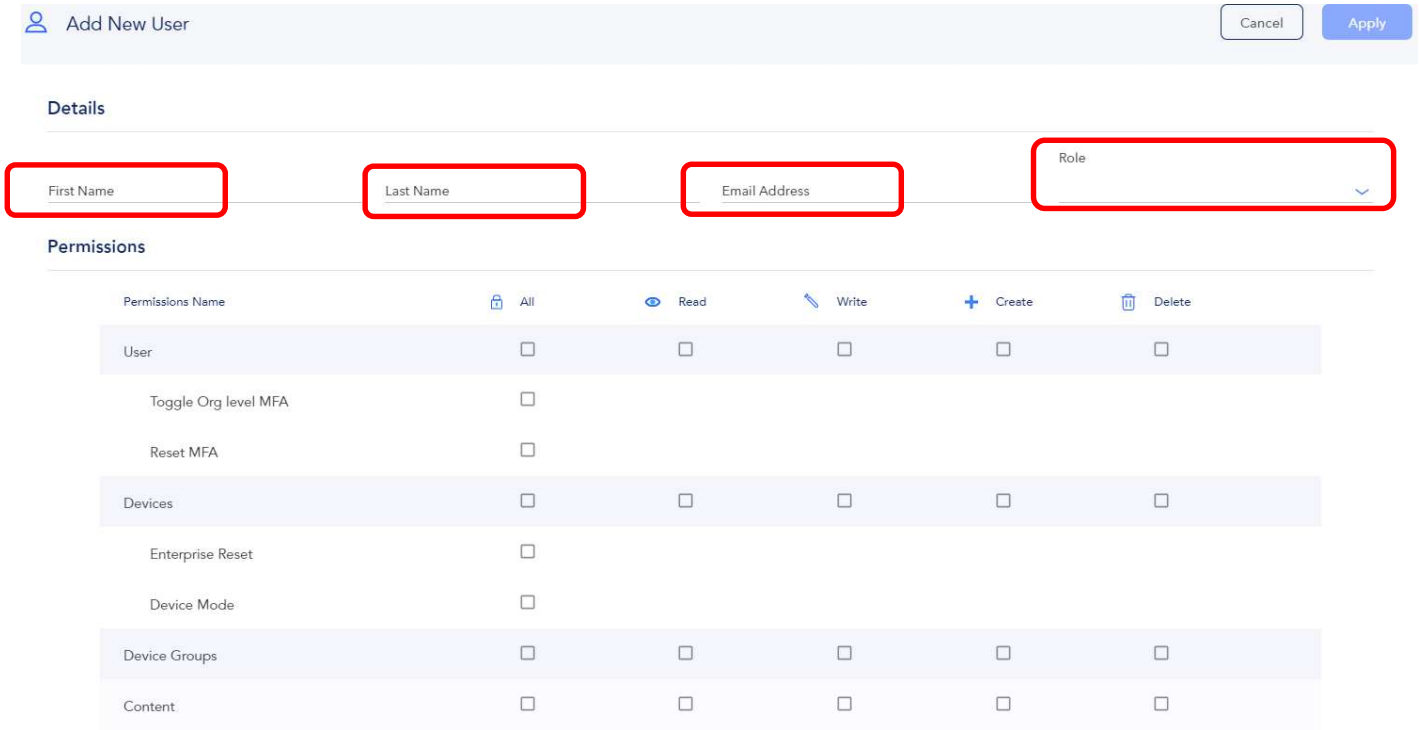
2.6 ユーザーインバイト及びデリート

2.6.1 ユーザーインバイト

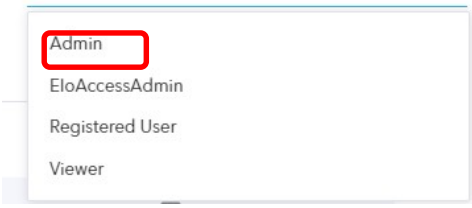
各種権限を設定したユーザーをインバイトすることが可能です。**これにより複数人により、管理することが容易になります。トラブル防止のため追加するユーザーには事前の登録することをお知らせください。**

1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。
2) 「Users」タブが選択されると、右側に「Add User+」と表示されますので、クリックします。

3) 「Add New User」の表示がされますので、「First Name」、「Last Name」、「Email Address」を入力し、「Role」の部分をクリックします。



4) 「Role」の下にプルダウンメニューで役割が表示されます。
例として、Admin をクリックします。



5) その結果、以下のように、Permissions 画面が変更されます。
備考)「Admin」ではアカウント管理者とほぼ同等の管理が可能です。

Permissions

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	☑	☑	☑	☑	☑
Toggle Org level MFA	☑				
Reset MFA	☑				
Devices	☑	☑	☑	☑	☑
Enterprise Reset	☑				
Device Mode	☑				
Device Groups	☑	☑	☑	☑	☑
Content	☑	☑	☑	☑	☑
Download	☑				

以下は「Registered User」の結果で、デバイス管理やコンテンツ登録が可能です。

Permissions

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	☐	☑	☐	☐	☐
Toggle Org level MFA	☐				
Reset MFA	☐				
Devices	☑	☑	☑	☑	☑
Enterprise Reset	☑				
Device Mode	☑				
Device Groups	☑	☑	☑	☑	☑
Content	☑	☑	☑	☑	☑
Download	☑				

6) 設定する場合は、右上の「Apply」をクリックし、ユーザーが追加されていることを確認します。
以下は「Viewer」で追加した例です。

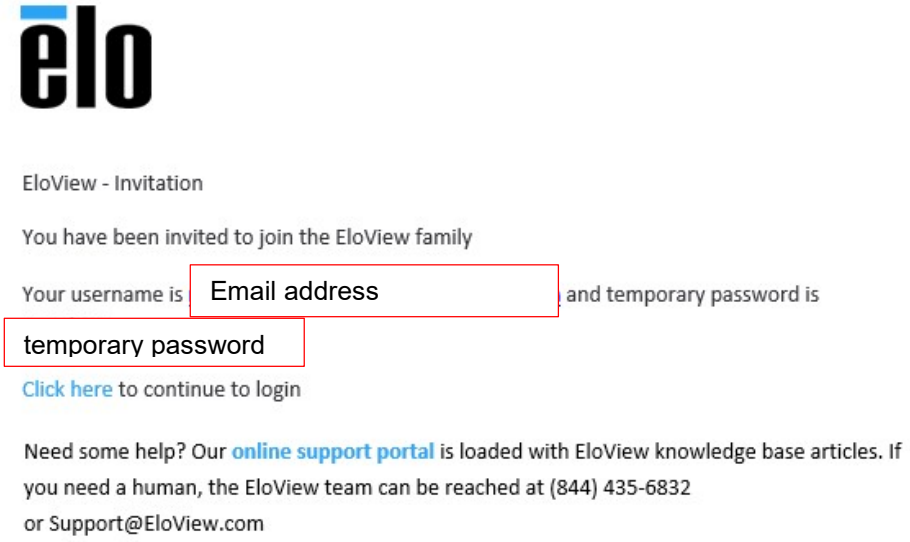
Users Roles Sub Accounts

Search user by email

	Name	Email Address	Account Type	Last Login
MT	[redacted]	[redacted]	Account Admin	11/16/2023
MT	[redacted]	[redacted]	Viewer	--

7) 追加したユーザーに、登録が完了したことをお知らせし、以下の手順でログインができることを確認してもらえるよう依頼してください。

a) 登録された Email Address に、「temporary password」を含むメールが届きますので、「Click here」をクリックして申請を開始します。



b) 「temporary password」でログインします。

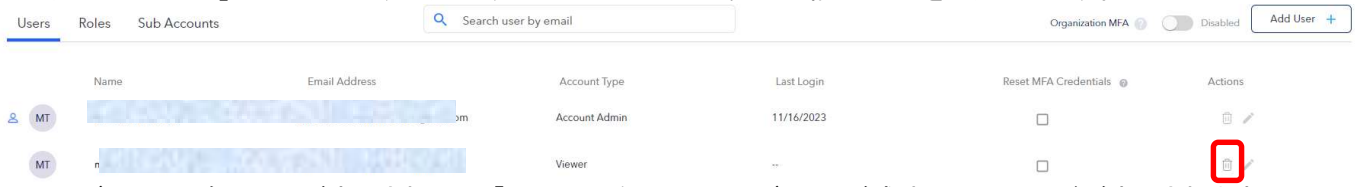
c) 「Reset Password」を実行し、新しいパスワードを設定します。
パスワードの長さは、大文字のアルファベット，数字，記号の三種類から何種類が含まれているかによって、最低文字数の制限が変わります。
一種類だけを使用している場合は、12 文字以上の長さが必要です。
二種類を使用している場合は、10 文字以上の長さが必要です。
三種類を使用している場合は、8 文字以上の長さが必要です。
パスワードとして使用できる文字列の例には、下記のものがあります。(「」は、含みません)
「123456789012」,「ABCDEFGHIJKL」(使用している文字の種類は、1種類ですが、12 文字以上の場合は、使用可能です。)
「12345ABCDE」(使用している文字の種類が、2 種類なので、10 文字以上の場合は、使用可能です。)
「123ABC#%」(使用している文字の種類が、3 種類なので、8 文字以上の場合は、使用可能です。)

d) 再度、新しいパスワードでログインし、正しく EloView のデバイス表示画面が表示されることを確認して終了です。

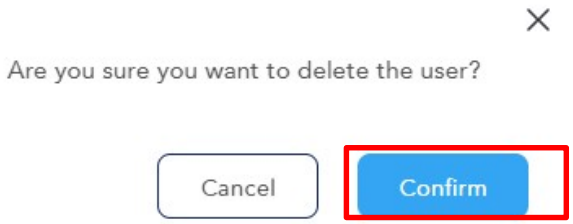
2.6.2 ユーザーデリート

設定したユーザーをデリートすることができます。

1) アカウントの「Users」タブの画面で、デリートするユーザーの右にあるゴミ箱アイコンをクリックします。



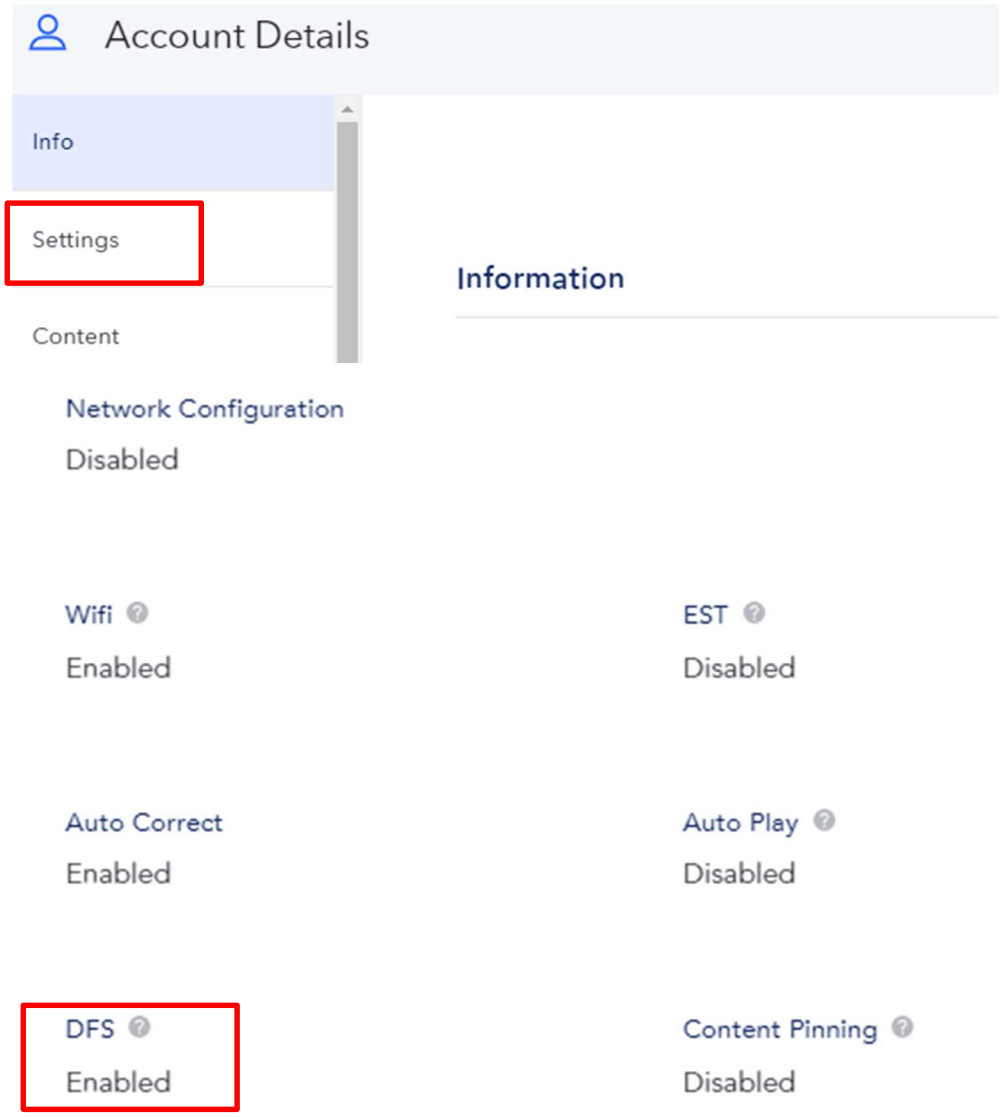
2) 以下のデリートの確認画面が表示されたら、「Confirm」をクリックし、デリートが成功したメッセージが表示されます。



3) 指定したユーザーがデリートされていることを確認して終了です。

2.7 WiFi 設定(DFS 設定)

注意)5GHz で使用する場合は、DFS 設定が Enable である必要があります。
5GHz で使用する可能性がある場合は、以下のように「Account Details」を表示し、「Settings」を選択して、右上の「Edit」をクリックし、「DFS」を Enable にして下さい。



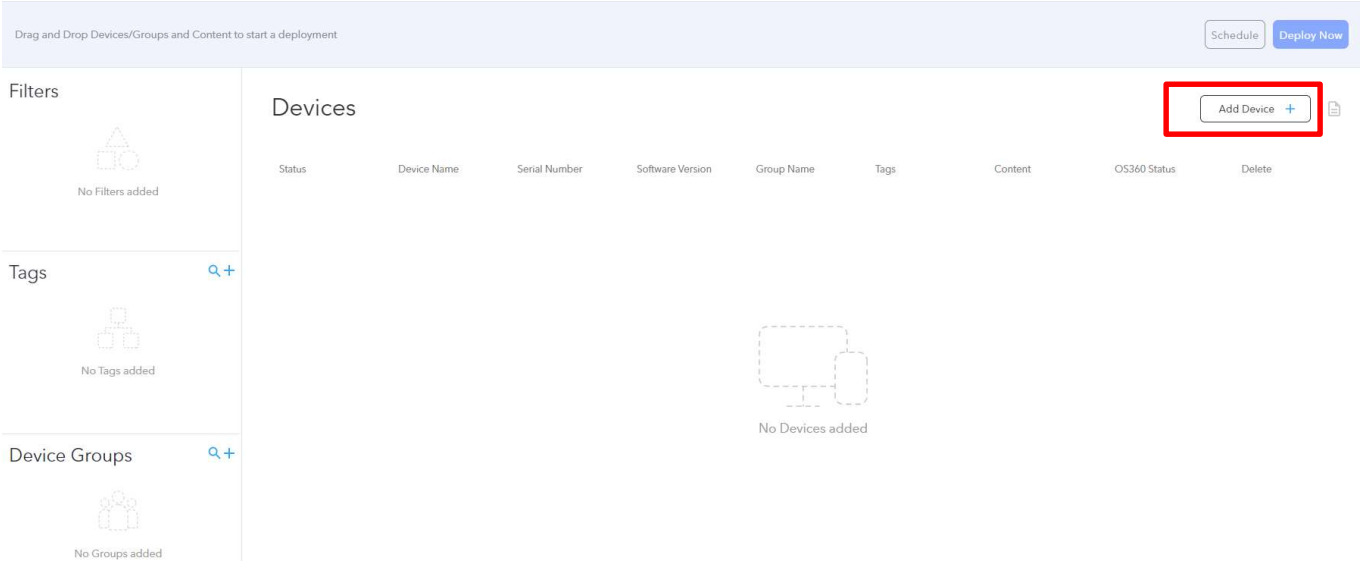
3. デバイス関係(Devices)

3.1 デバイス登録

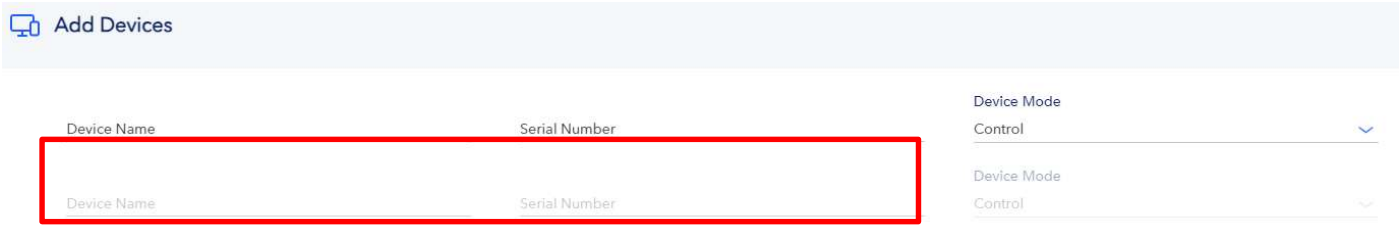
注意)オフライン状態で設定した場合、後でネットワークに接続しても、EV4 のサーバーに接続できない場合があります。

1) 画面左側の「Devices」アイコン をクリックする。

2) 以下のように表示されている状態で「Add Device+」をクリックする。
備考）図は既にデバイスが全く登録されていない場合です。

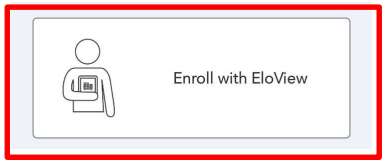


3) 「Device Name」 と 「Serial Number 」を入力した後、右下の「Save」をクリックする。
備考）「Serial Number」は ESY i シリーズ, Android Box コンピュータ Backpack(ESY00i1) などの Android 製品の場合、最初の 1 文字目が A-L のアルファベット、2-3 文字目が数字となる 10 桁のシリアル番号のことです。



4) アイコンは黒のままで、デバイスが登録されたことを確認します。

5) 通電及び、有線 LAN 接続あるいはデバイスで WiFi 設定し、デバイスをオンライン可能な状態にする。
6) デバイスに表示される Enroll with Eloview のアイコンをタップする。

7) 

色に変っていることを確認して終了です。（数分待つ必要があります。）

備考）デバイスは同一 Group に登録して管理することも可能です。詳細は 3.6 項などを参照して下さい。

3.1.1 csv ファイルを使用しての一括登録

1) 「Devices」アイコンをクリックして、左下に表示されることを確認する。

2) まず、「Download Template」をクリックして、テンプレートの AddDeviceTemplate.csv ファイルを作成し、読み込みます。

3) テンプレートファイルに、登録するデバイスの、Device Mode, Device Name, Serial Number, Firmware Version Address, City, State, Postal Code, Country, Tags, Site Name, Time Zone, Group などの情報を追記します。

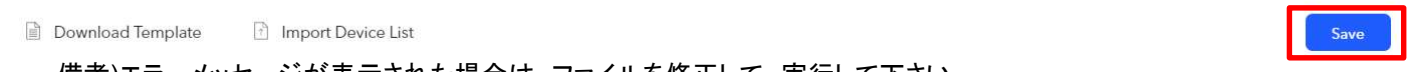
注意) Device Mode(“Control”),Device Name, Serial Number は必須です。

4) 「Import Device List 」のアイコンをクリックし、上記で作成したファイルを読み込みます。

以下は 「TPS」というグループ名で、Time Zone を GMT+09:00 に設定した 1 台を登録した csv ファイルの例です。

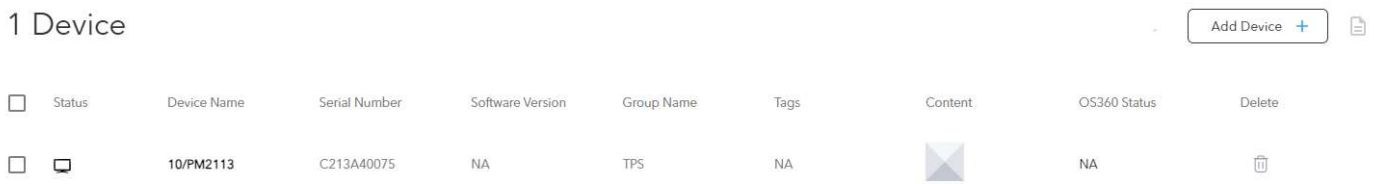
*Device Mode	*Device Name	*Serial Number	Firmw	Addre	City	State	Postal	Count	Tags	Site N	Time Zone	Group
Control	10/PM2113	C213A40075									Asia/Tokyo	TPS

5) 次に右下の「Save」をクリックします。



備考)エラーメッセージが表示された場合は、ファイルを修正して、実行して下さい。

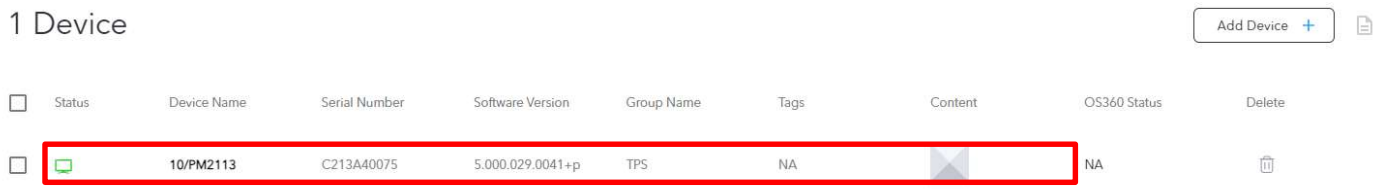
6) 「Devices」アイコンをクリックすると TPS というグループに、1 台登録されたことが確認できます。



7) 以降は 3.1 の 5)～7)で個別登録した方法と同様にオンライン状態に設定して、終了です。

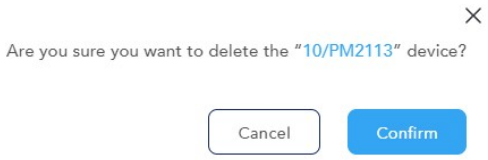
3.2 デバイス削除

1) 「Devices」アイコンをクリックし、表示された登録済デバイスのリストから、削除するデバイスを確認する。



2) 削除するデバイス右端のゴミ箱アイコンをクリックする。

3) デバイス削除の確認メッセージが表示されるので、「Confirm」ボタンをクリックします。



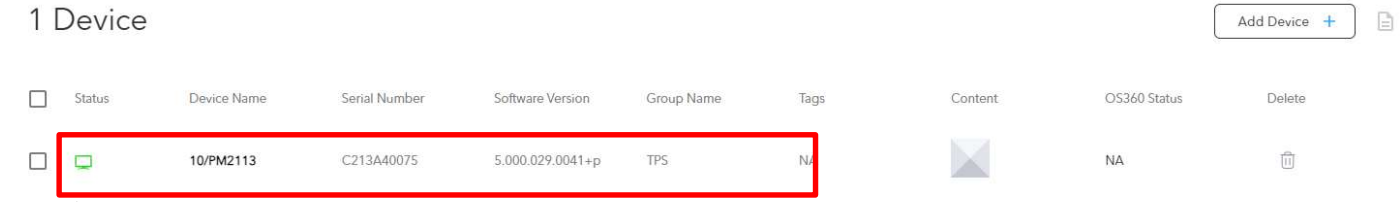
4) デバイスの削除処理が終了すると、削除したデバイスがリスト表示から消えます。 サブアカウントで使用していない場合は、終了です。

5) サブアカウントで使用していた場合は、親アカウントに移動して、削除するデバイスの表示が残ってる場合、上記 1)から4)を繰り返して、デバイスリスト表示から消えることを確認して、終了です。

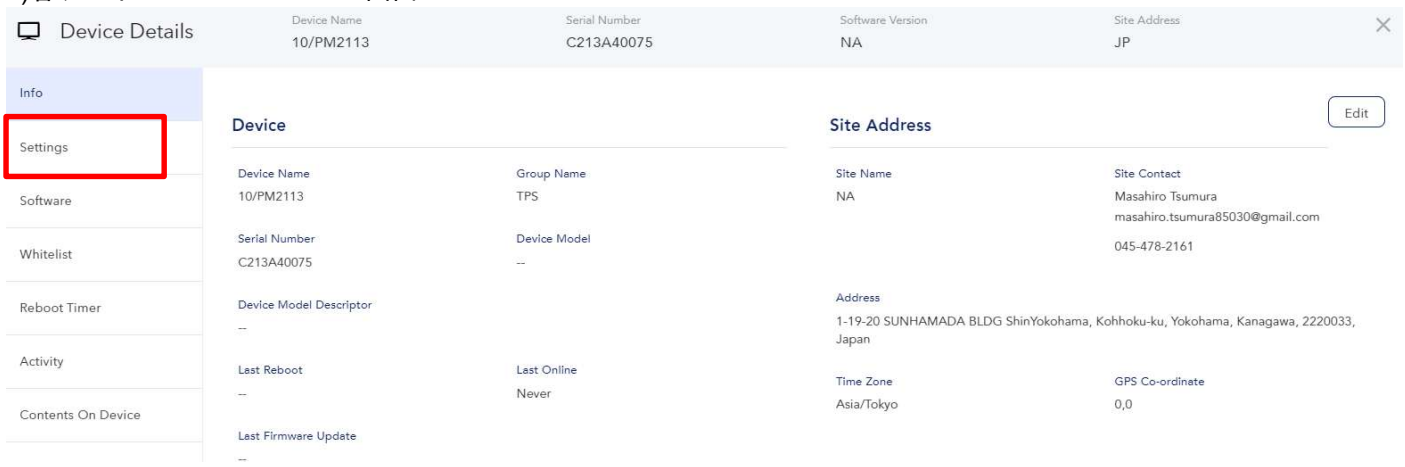
3.3 「Settings」

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Settings」タブを選択すると、輝度、音量、言語設定、ディスプレイタイマー、リブート設定、オリエンテーションなど各種設定が可能になります。
「Device Details」の「Settings」タブを選択後、メニュー右上の「Edit」をクリックし、設定後に、メニュー右上の「Apply」をクリックして終了です。
主な設定内容について、以下に記載しますが、他の設定も同様に行って下さい。
但し、オンライン（アイコン色が緑）の状態でしか、実行できません。

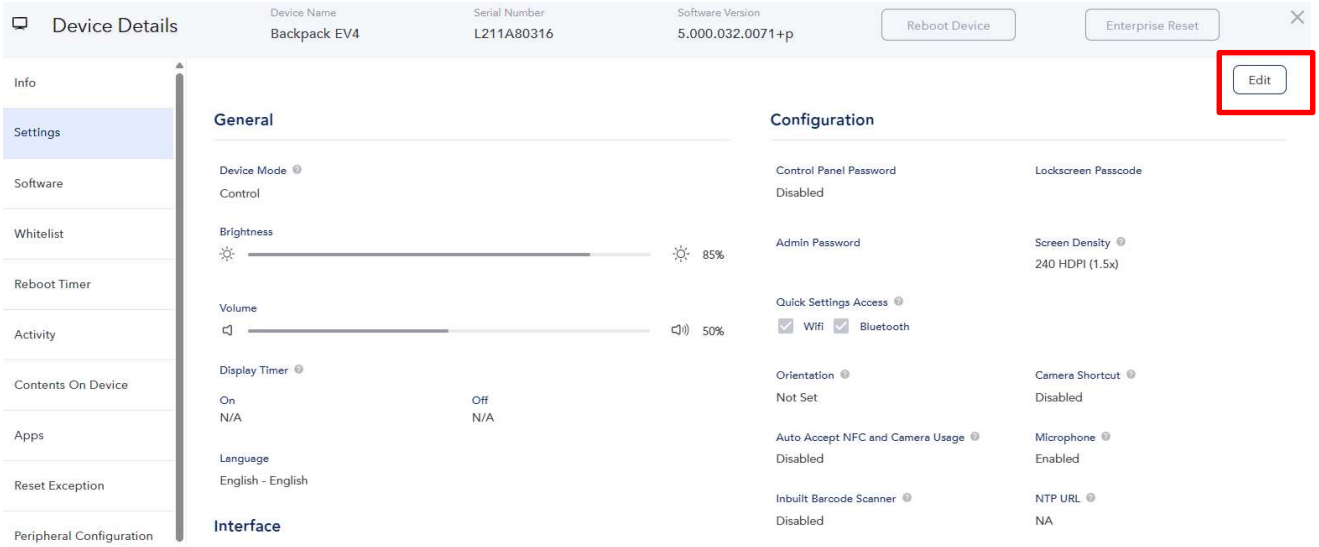
1) Device リスト画面



2)各デバイスの Device Details 画面



3)Settings タブ選択画面



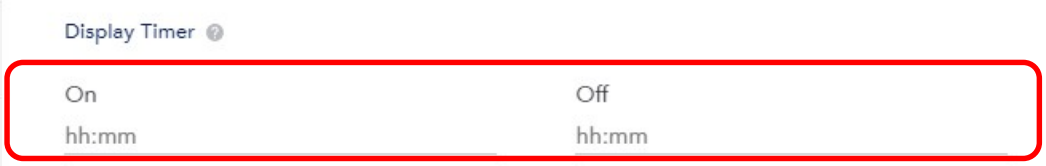
3.3.1「Brightness」、「Volume」

1)　輝度や音量を調整する場合は、○カーソルをスライドして設定して、右上の「Apply」をクリックして下さい。

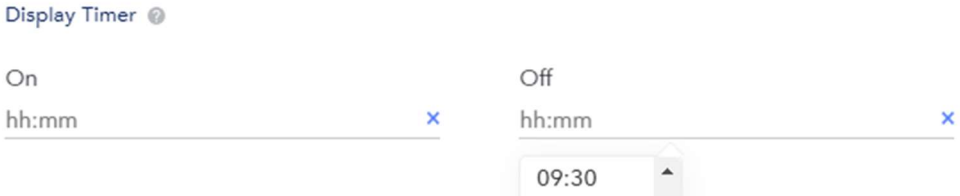
3.3.2 「Display Timer」

ディスプレイタイマーが設定されている場合、Off 時間内は、画面を触りますと登録されているアプリが表示されますが、1 分後に画面が消えますので注意して下さい。

1)　「Display Timer」の ON と OFF 時間を設定し(hh:mm　AM/PM で設定)、 右上の「Apply」をクリックして下さい。

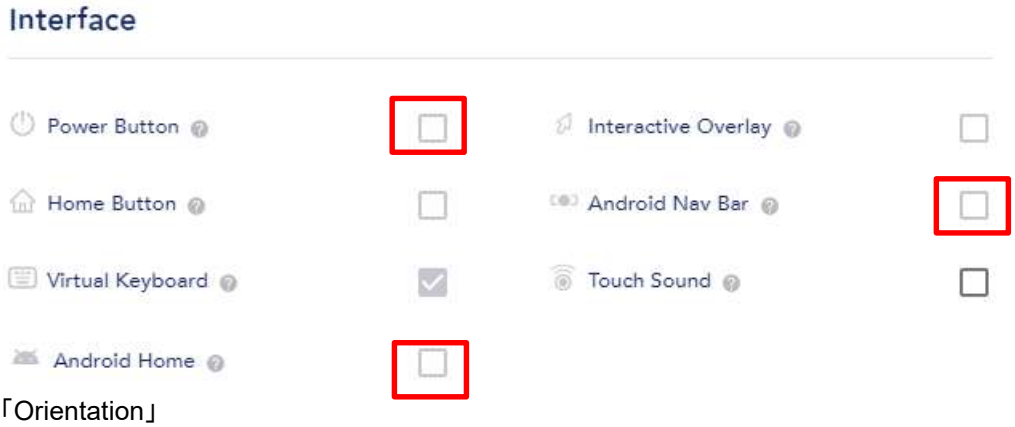


備考)設定を解除する場合は、時間設定を削除し、hh:mm　の状態で「Apply」してください。



3.3.3　ナビゲーションバー表示や Power button の有効/無効選択等の設定

1)　Interface の項目(「Android Home」、「Android Nav Bar」や「Power button」)のうち、有効にする内容の右側のボタンをチェックして、右上の、「Apply」をクリックしてください。

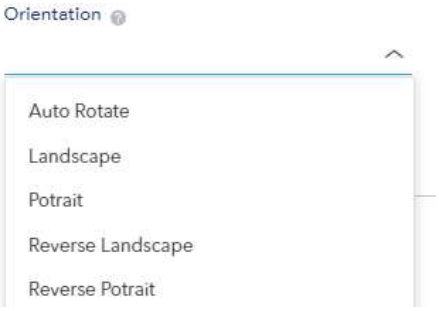


3.3.4「Orientation」

表示画面の方向を設定できます。

注意)Box PC(Backpack)　の場合は、デバイス内の設定で設定する必要がありますので、デバイスのユーザーガイドを参照して 「Screen Orientation (画面の向き)」 と「External Screen Orientation 」で設定して下さい。

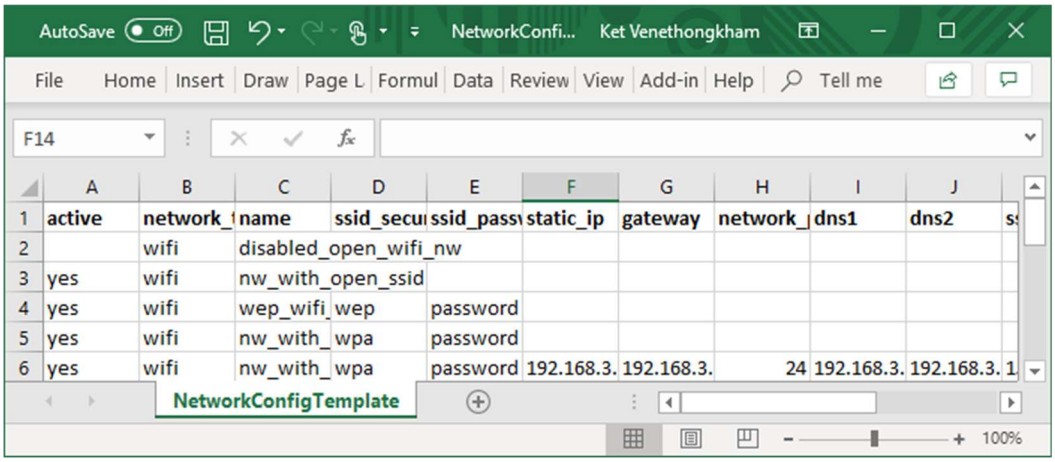
1)　Orientation の項目のうち、設定する方向を選択して、右上の、「Apply」をクリックして下さい。



3.3.5 WiFi 設定

デバイスに直接書き込む以外に、デバイスがオンライン状態であれば、EloView 経由で以下の、Name, ssid_security_type, ssid_password などのような WiFi の設定を行うことが可能です。(ssid_priority を記載し、複数設定可能、WiFi 最大 5 と LAN 1)

「networkConfiguration.csv」ファイル例

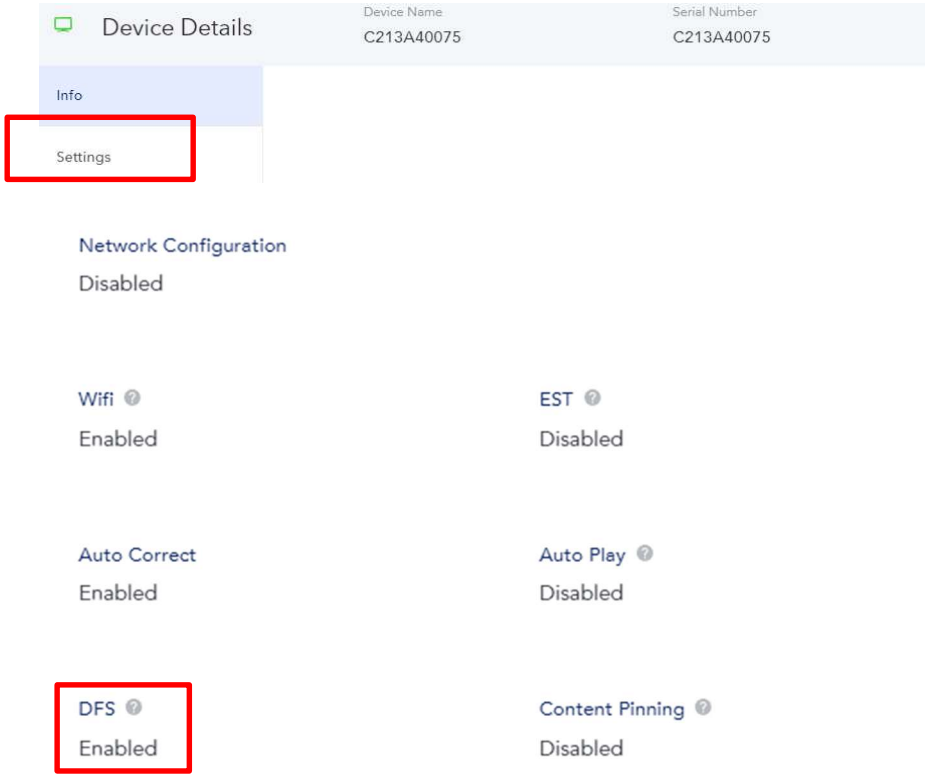


	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	active	network_	name	ssid_secu	ssid_pass	static_ip	gateway	network_	dns1	dns2
2		wifi	disabled_open_wifi_nw							
3	yes	wifi	nw_with_open_ssid							
4	yes	wifi	wep_wifi	wep	password					
5	yes	wifi	nw_with_	wpa	password					
6	yes	wifi	nw_with_	wpa	password	192.168.3.	192.168.3.	24	192.168.3.	192.168.3.

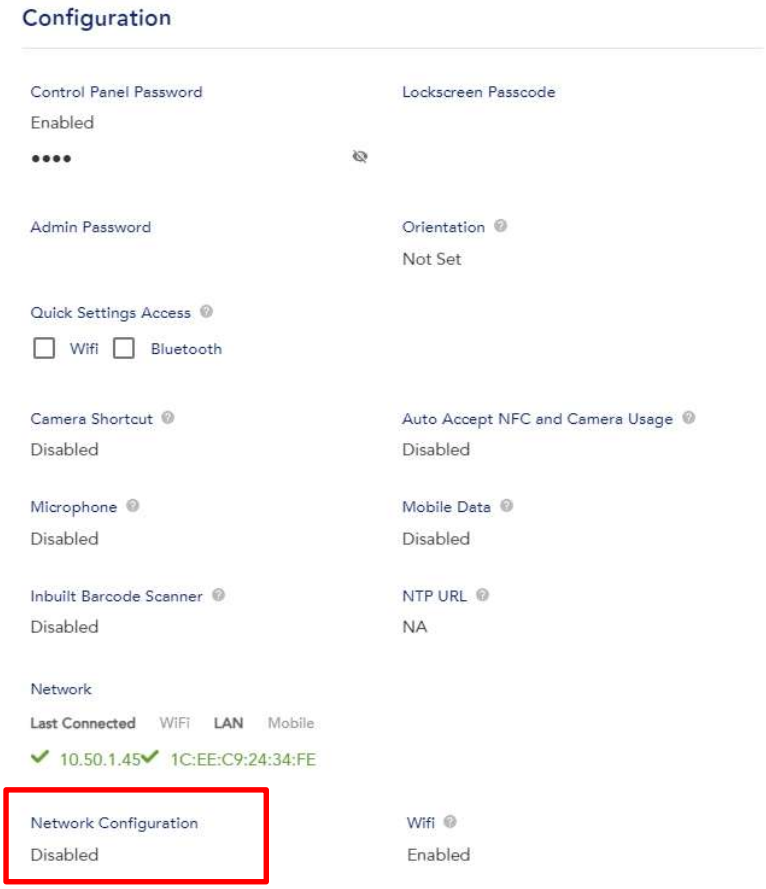
項目	選択肢	記載内容あるいは備考
active	yes/no	
network_type	wifi/lan	
name		ネットワーク名
ssid_security_type	wep/wpa	
ssid_password		SSID パスワード
static_ip		Static IP
gateway		Gateway IP
network_prefix	24/25	Subnet Mask 24:255.255.255.0/25:255.255.255.128
dns1		Primary DNS server address
dns2		Secondary DNS server address
ssid_proxy_host		Server IP address
ssid_proxy_port		proxy server/delault 8080
ssid_priority	1～6	Priority(数字が小さいほうが優先)
disable_open_network_notification	yes/no	ネットワークオープン時の Notice 有無
proxy_exclusion_list		proxy 使用時の除外リスト
avoid_poor_wifi_connection	yes/no	poor wifi network 接続

備考)WiFi 設定が完了していても、LAN 接続されている場合は、LAN 接続が優先されます。

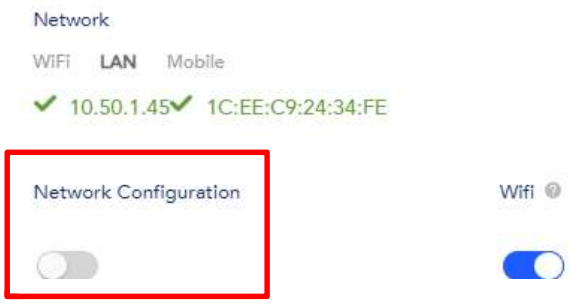
1) まず、5GHz の WiFi で使用する場合は、「DFS」の設定が「Enable」になっていることを確認してください。
アカウント全体の設定の場合は、2.7 を参照してください。個別のデバイスで対応する場合は「Device Details」を表示し、「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして、「DFS」を Enable にして下さい。



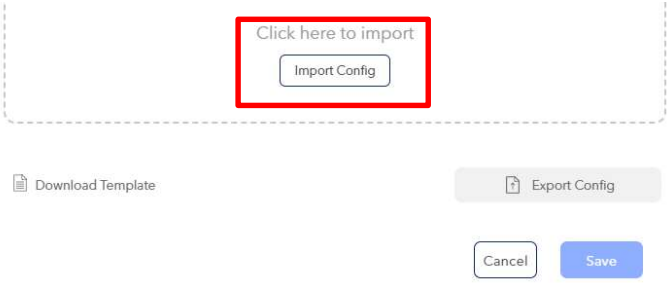
2) 次に、「Configuration」 内の Network Configuration を「Enable」にすると WiFi の設定ができます。
まずは、右上の「Edit」をクリックします。



3)　「Network Configuration」を、Enable にするために、クリックします。



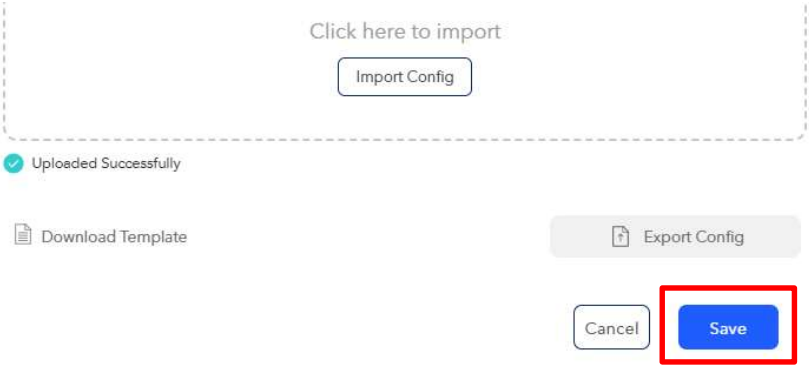
4)　以下のように表示されますので、「Import Config」をクリックし、csv ファイル選択し、読み込む。



備考)「Download Template 」をクリックするとテンプレートファイルがダウンロードされます。

「Export Config」をクリックすると設定済みの情報がダウンロードされます。

5)　「Uploaded Successfully」にチェックが入っていることを確認し、右下の「Save」をクリックします。



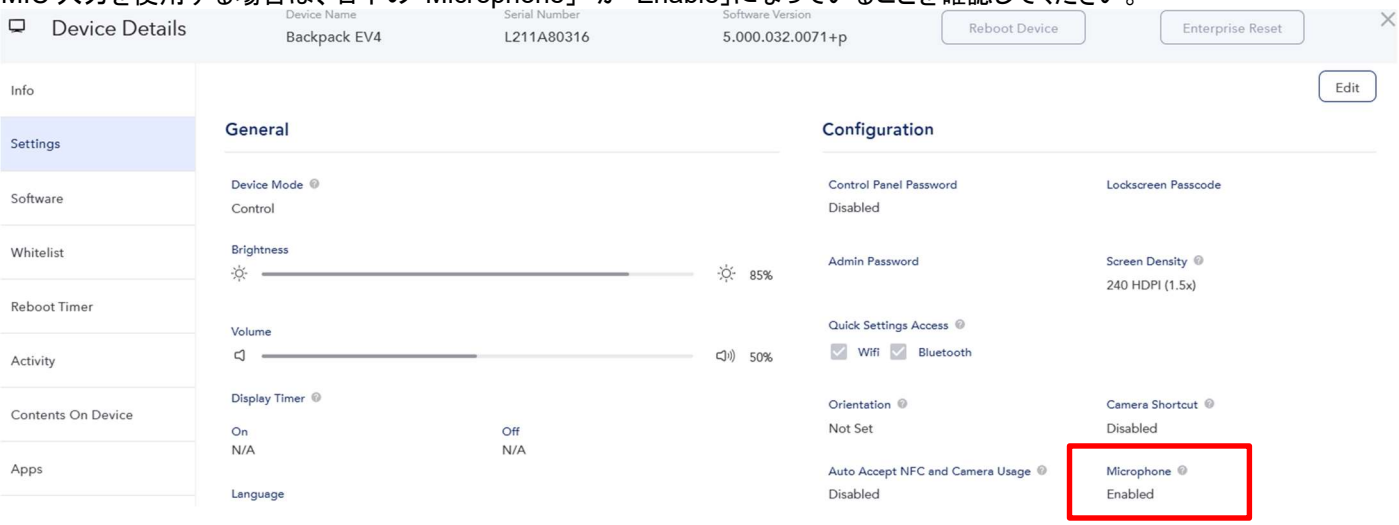
6)　「Network Configuration」が「Enable」になっていることを確認して、終了。

3.3.6 Reboot 手動実行

右上の「Reboot Device」をクリックすると、リブートの確認画面が表示されます。「Yes」をクリックするとデバイスはリブートされます。

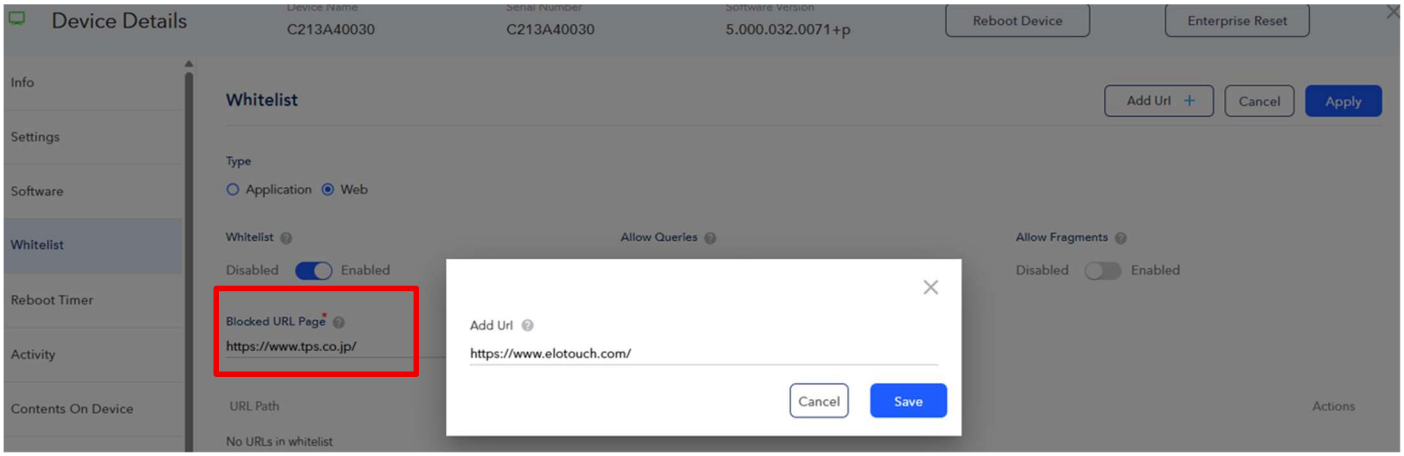
3.3.7 MIC 有効化設定

MIC 入力を使用する場合は、右下の「Microphone」 が「Enable」になっていることを確認してください。



3.3.8 Whitelist 設定

Web アプリなどで、アクセスさせたくないサイトがある場合は、アクセス可能な url を Whitelist に追加することで対応可能です。
Whitelist タブで「Edit」をクリックし、Whitelist ボタンを「Enable」にします。
次に Blocked URL Page に表示させているサイトを入力します。
次に、「Add Url+」ボタンをクリックして、表示される Whitelist 追加メニューに、URL を入力し「Save」をクリックします。



最後に、右上の「Apply」ボタンをクリックして終了です。

3.3.9 表示画面の確認（スクリーンショット）

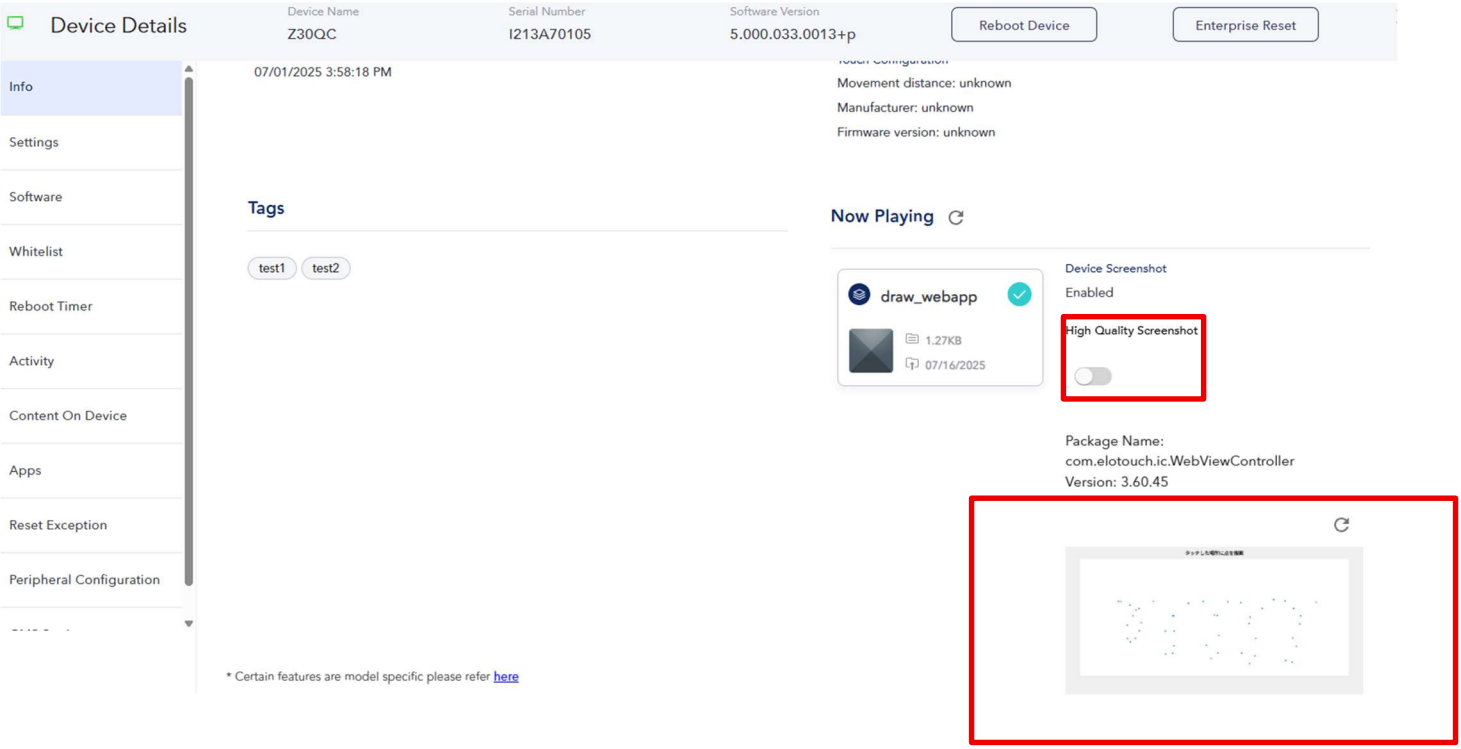
デバイスに表示されている内容は、「Device Details」の「info」タブ内の「Now Playing」の下に表示されます。

「High Quality Screenshot」に設定すると高解像度で、表示されます。

その画像を保存して、スクリーンショットとしてご利用ください。

但し、この画面表示は、定期的に更新されますので、動的なコンテンツの場合、注意してください。

更に、表示画面部をクリックすると、デバイスをタッチした事と同じ状況になりますので、注意して下さい。



3.4 OS のアップデート

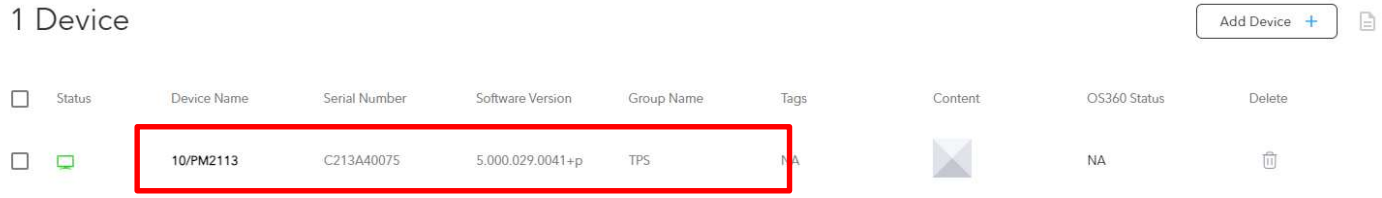
EloView により、新しいバージョンを選択してアップデートすることが可能です。
以下の手順を参照して下さい。

注意）EloView では古いバージョンに戻すことはできません。

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Software」タブを選択すると、輝度、音量、言語設定、ディスプレイタイマー、リブート設定、オリエンテーションなど各種設定が可能になります。
「Device Details」の「Settings」タブを選択後、メニュー右上の「Edit」をクリックし、設定後に、メニュー右上の「Apply」をクリックして終了です。
主な設定内容について、以下に記載しますが、他の設定も同様に行って下さい。

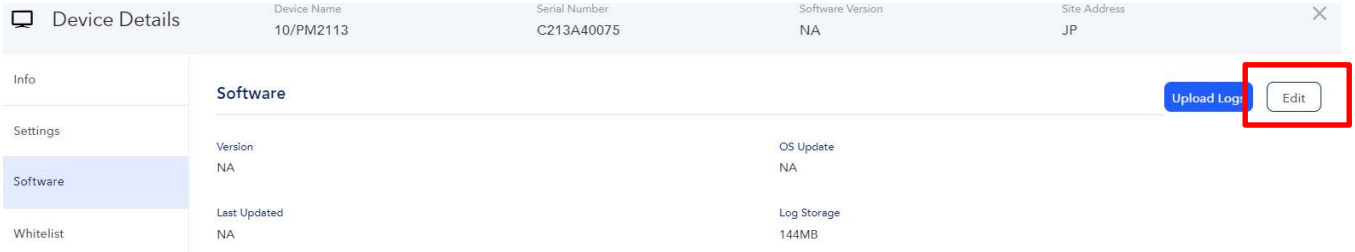
但し、オンライン（アイコン色が緑）の状態でしか、実行できません。

1) Device リスト画面を表示し、「Device Name」等をクリックします。

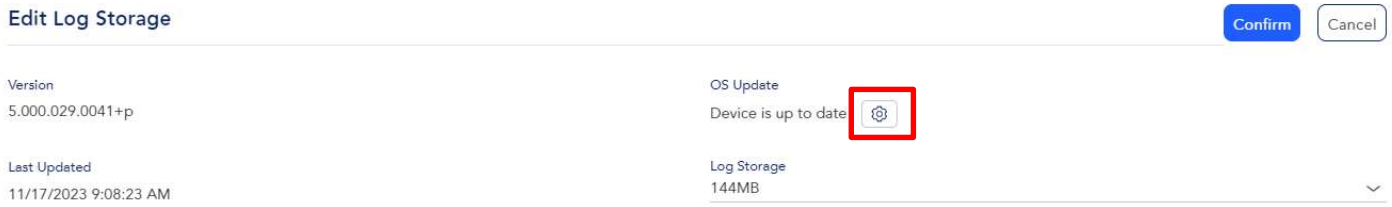


2) 各デバイスの Device Details 画面を表示し、「Software」タブを選択します。

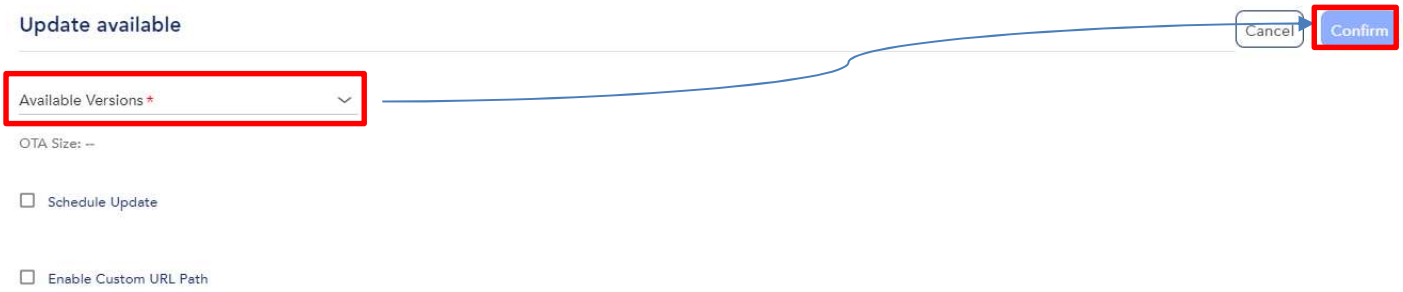
3) Software 画面右上の「Edit」をクリックします。



4) OS アップデート画面が表示されます。
以下は最新版の例「Device is up to date」ですが、アップデート可能な場合は、「Update Available」などのように表示されますので、「OS Update」右のギアマークをクリックして下さい



5) 「Update available」下のプルダウンから、アップデートするバージョンを選択して、右上の「Confirm」をクリックして下さい。



備考)「Schedule Update」を選択し、アップデートをスケジュールすることもできます。

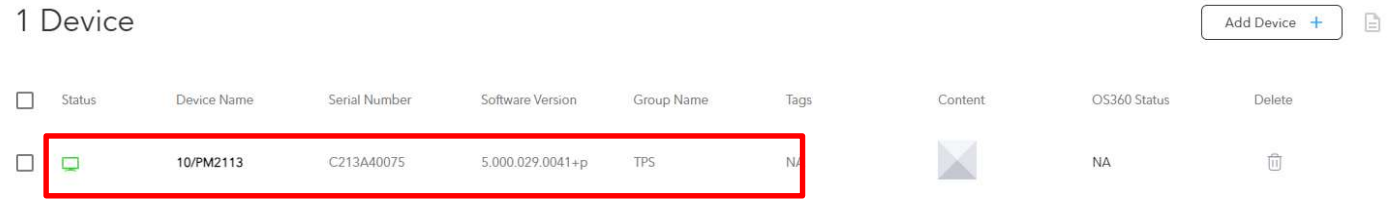
6) 確認のメニューが表示されますので、「Yes」をクリックする。
7) 「Downloading」が始まることを確認してください。
8) ダウンロードが完了すると、自動的にデバイスが再起動されます。
9) 最後に選択したバージョンであることを確認して、完了です。

3.5 Reboot Timer

以下は、個別デバイスに設定する手順です。

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Reboot Timer」タブを選択すると、定期的にリブートを実行する時間を設定することができます。

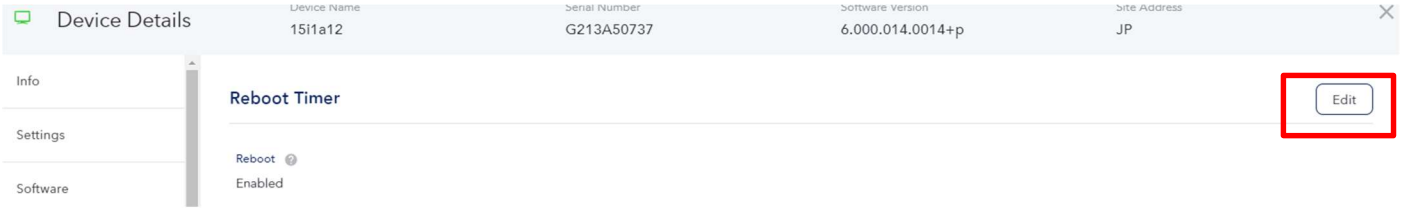
1) Device リスト画面



2) 各デバイスの Device Details 画面

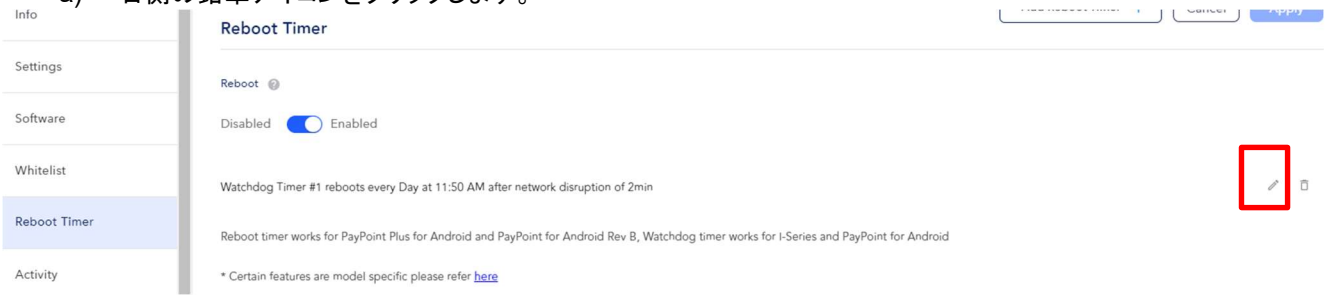
3) Reboot Timer タブ選択画面

右上の「Edit」をクリックします。

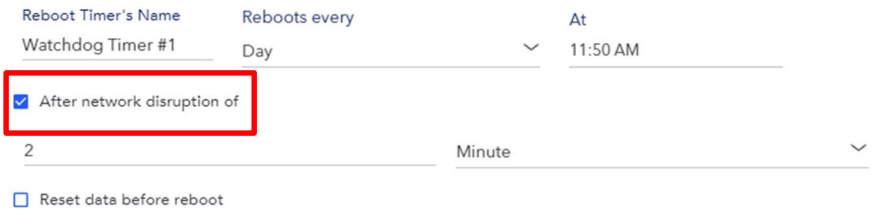


4) Reboot Timer 設定画面

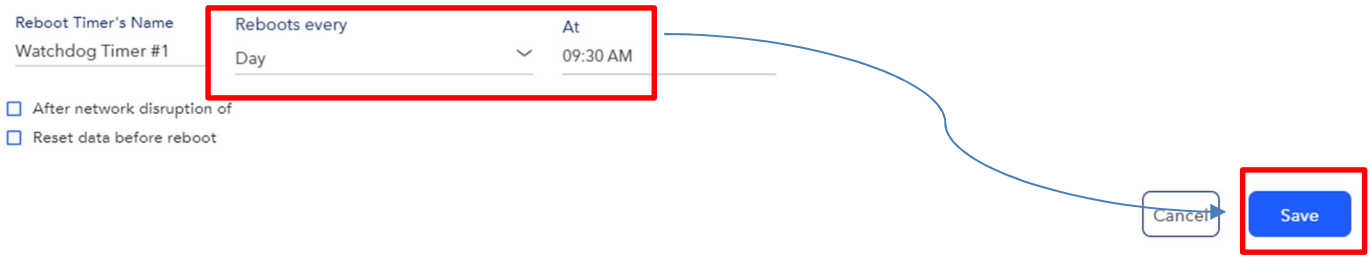
a) 右側の鉛筆アイコンをクリックします。



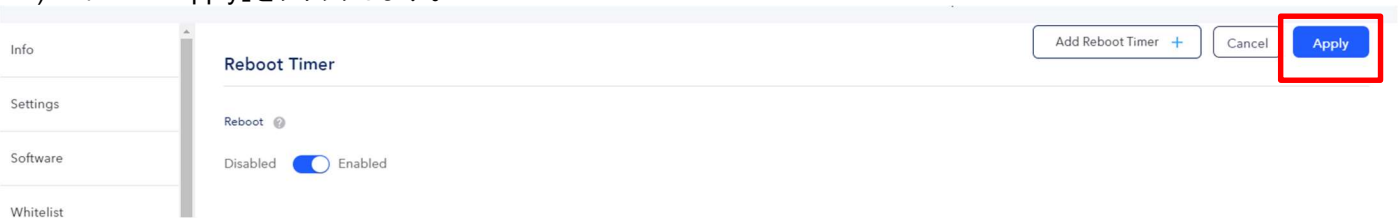
b) 以下のように表示されますので、「After network disruption」のチェックマークを外します。



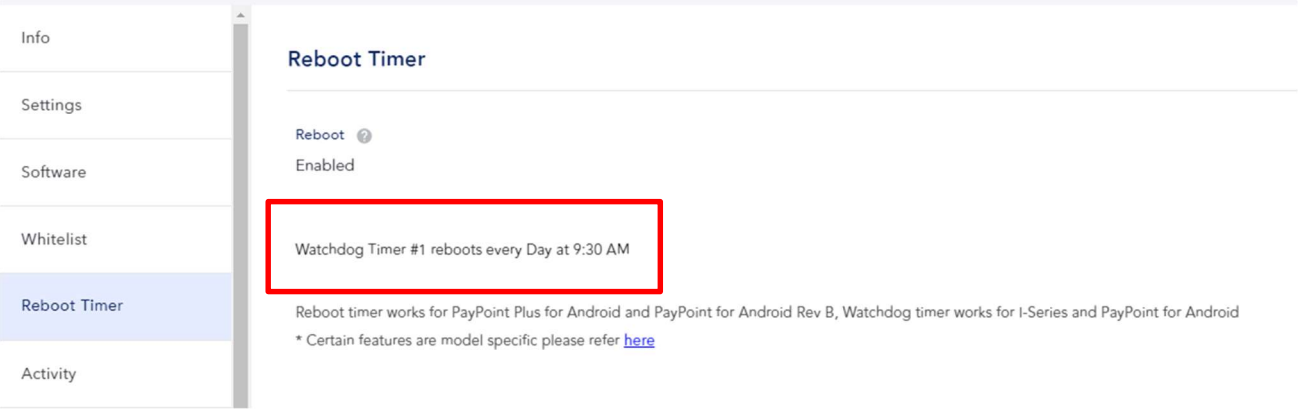
c) リブート頻度及び時間を設定し、右下の「Save」をクリックします。



d)　右上の「Apply」をクリックします。



e)　以下のように正しく設定されていることを確認後、終了です。

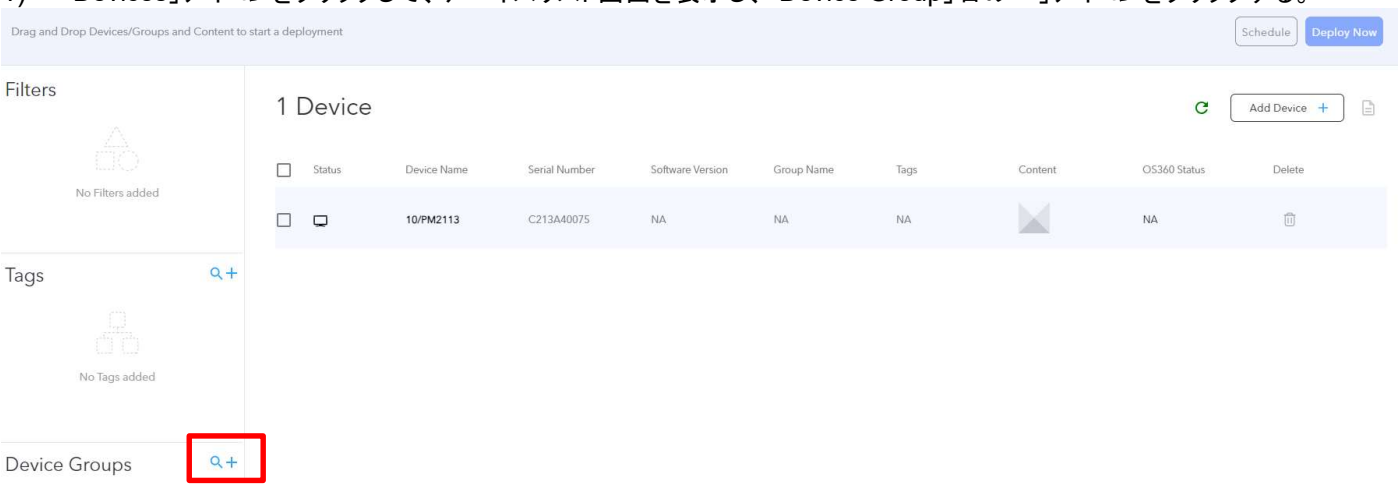


3.6　グループ管理/フィルター管理/タグ管理

3.6.1　グループ登録

注意)同一グループで管理する場合、デバイス数は 15,000 台以下にする必要があります。
備考)グループ登録は 3.3.1 の csv ファイルを用いた手順でも可能です。

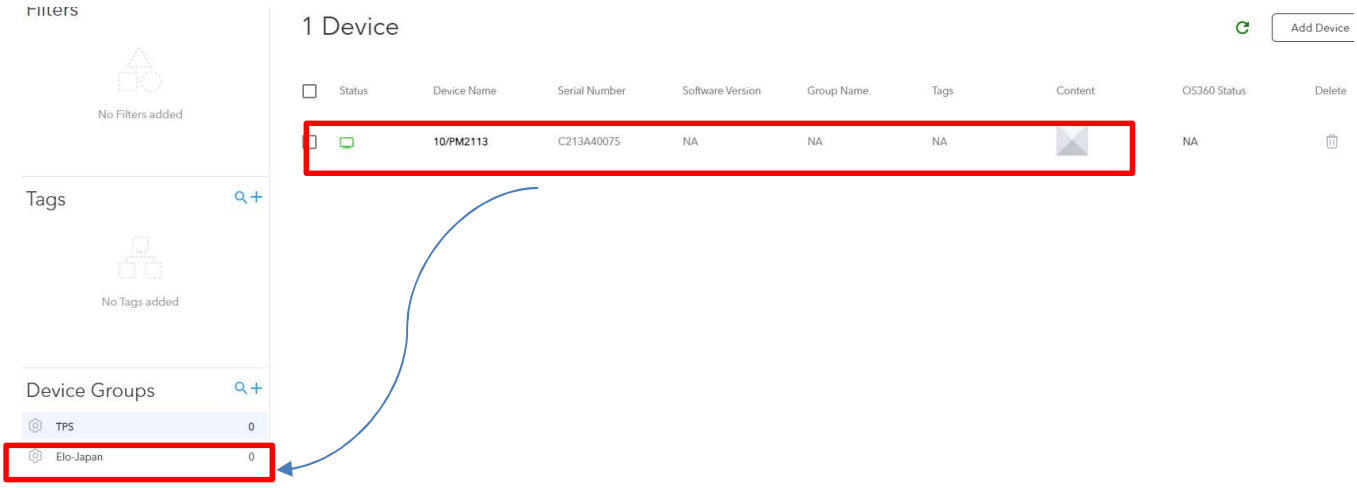
1)　「Devices」アイコンをクリックして、デバイスリスト画面を表示し、「Device Group」右の「+」アイコンをクリックする。



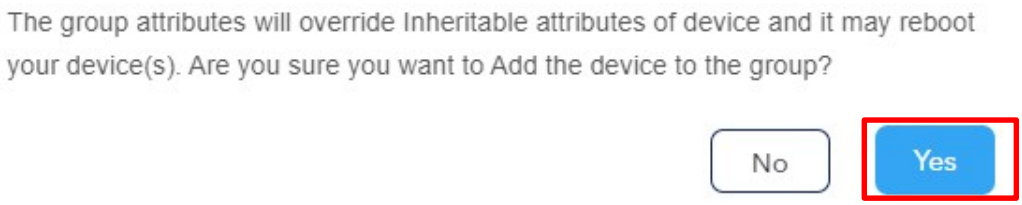
2)　「Create New Group」の設定画面が表示されるので、英数字及び記号でグルーム名を入力し、右下の「Save」をクリックします。
例は Elo-Japan

3)　「Device Groups」に、設定したグループ名が追加されたことを確認する。例は Elo -Japan

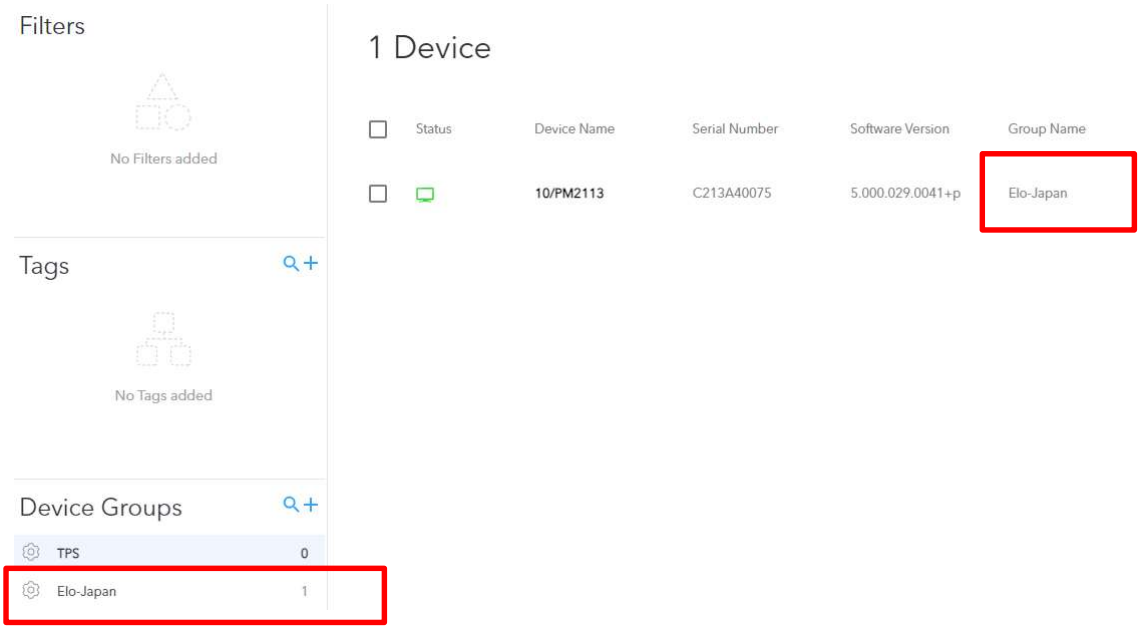
4)　このグループに登録するデバイスを選択し、「Elo-Japan」のグループアイコンまでドラッグ&ドロップする。



5)　以下のように確認のメッセージが表示されるので、「Yes」をクリックする。



6)　デバイスアイコンや「Device Groups」クリックし、リフレッシュ後、グループに登録したと登録されていることを確認し、終了。

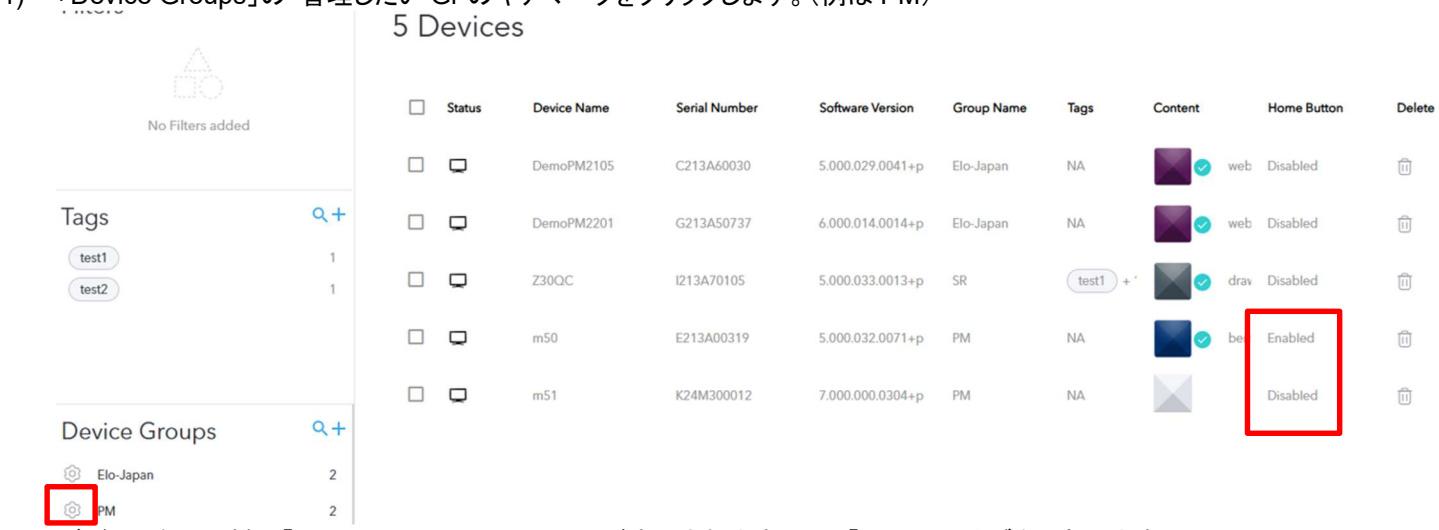


3.6.2 Gr 管理での各種設定

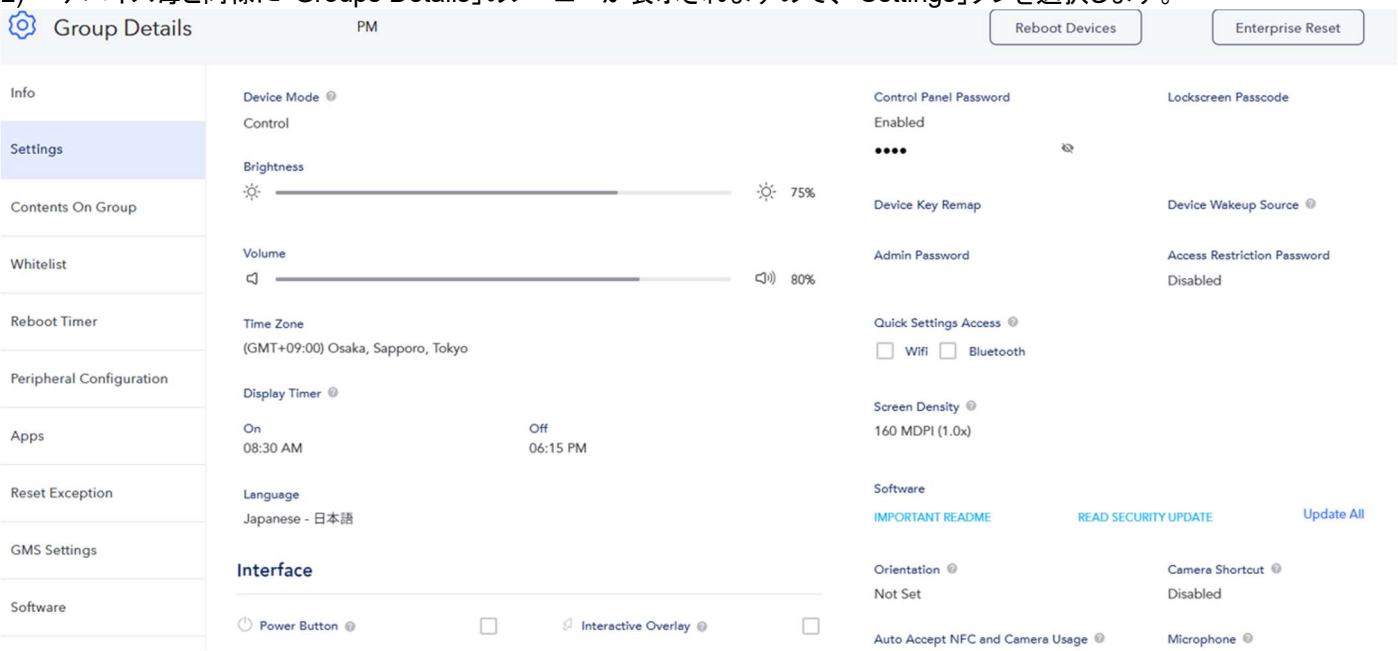
以下の例は、「Settings」のメニューで、「Power Button」を Enable にする手順です。

変更前の Home Button は m50 は Enable で、m51 が Disable になっています。

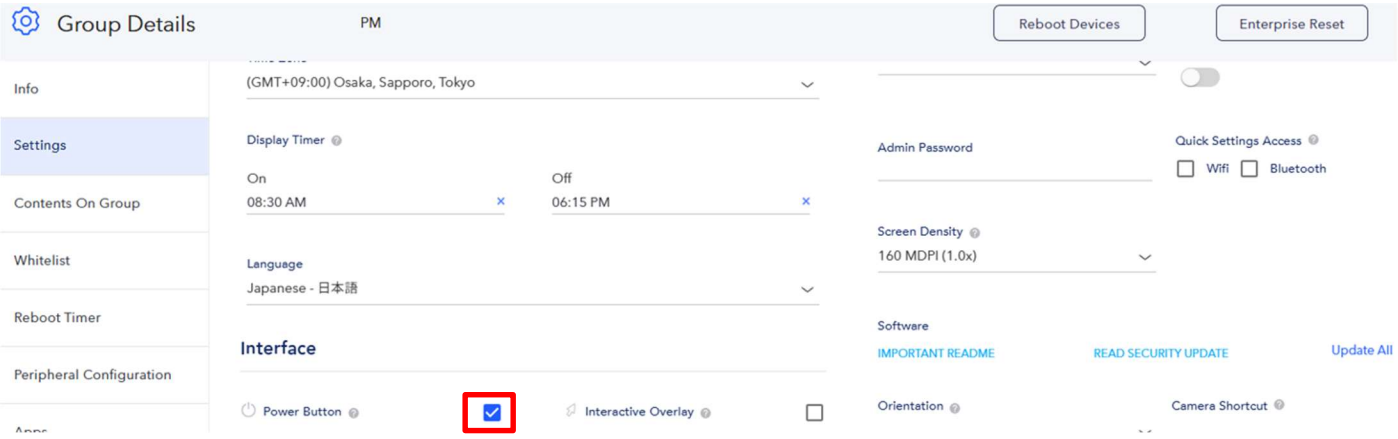
1) 「Device Groups」の 管理したい Gr のギアマークをクリックします。(例は PM)



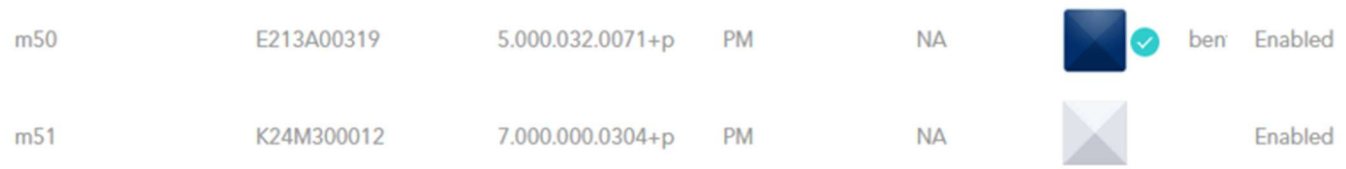
2) デバイス毎と同様に「Groups Details」のメニューが表示されますので、「Settings」タブを選択します。



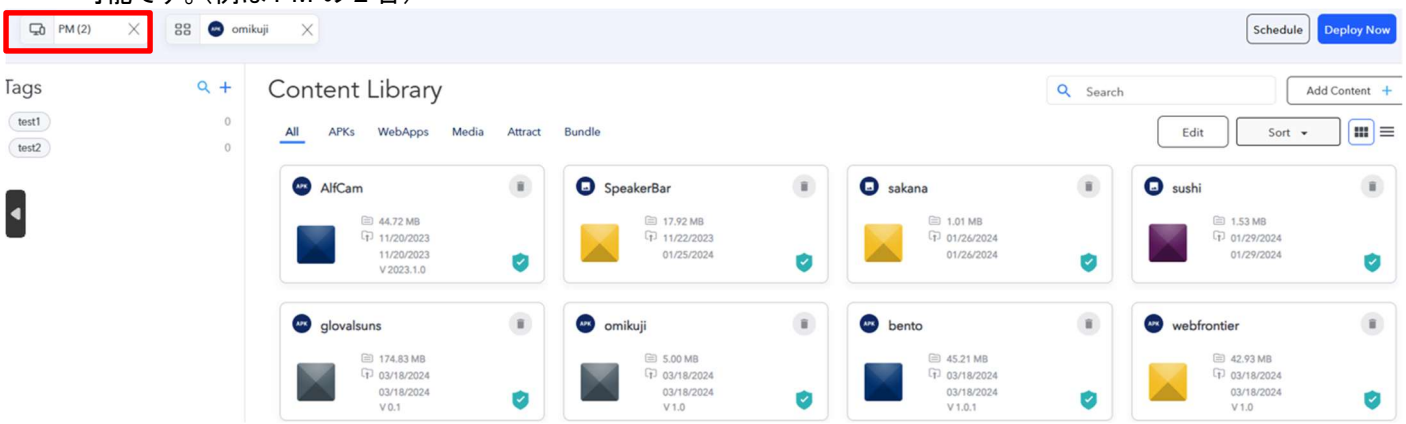
3) 「Power Button」のステータス変更のために、右上の「EDIT」をクリックし、「Power Button」右のボックスをチェックし、右上の「APPLY」をクリックします。



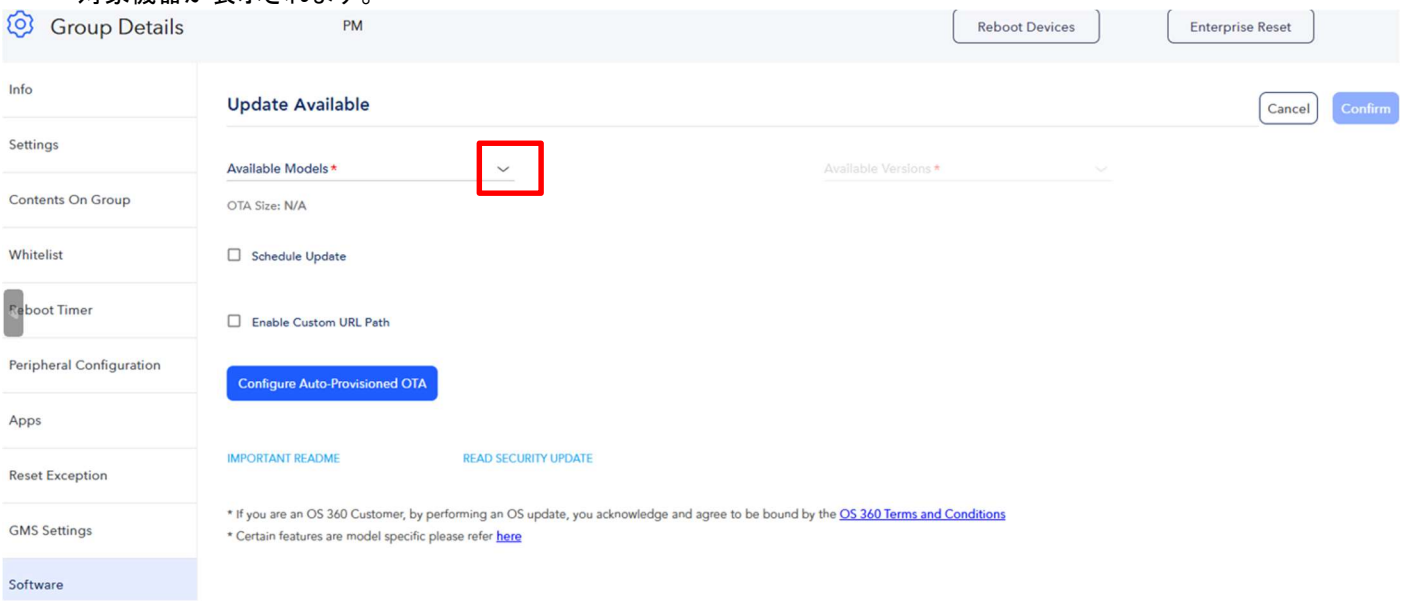
4) 再度デバイス画面を表示させると、Power Button の Status が m50、m51 とも Enabled に変わっていることが確認できます。



a) コンテンツ配信の場合は、デバイスのアイコンではなく、Gr のアイコンをドラッグ&ドロップすることにより、Gr 一括配信が可能です。（例は PM の 2 台）



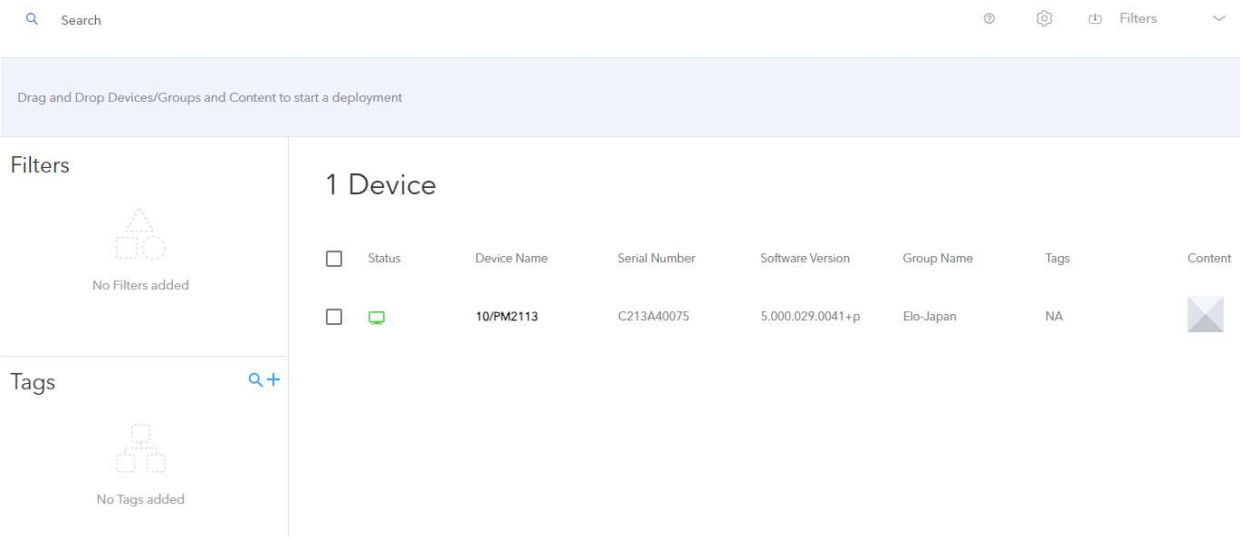
b) ソフトウェアのアップデートの場合も、同様に一括でアップデートすることができます。右の V アイコンをクリックすると対象機器が表示されます。



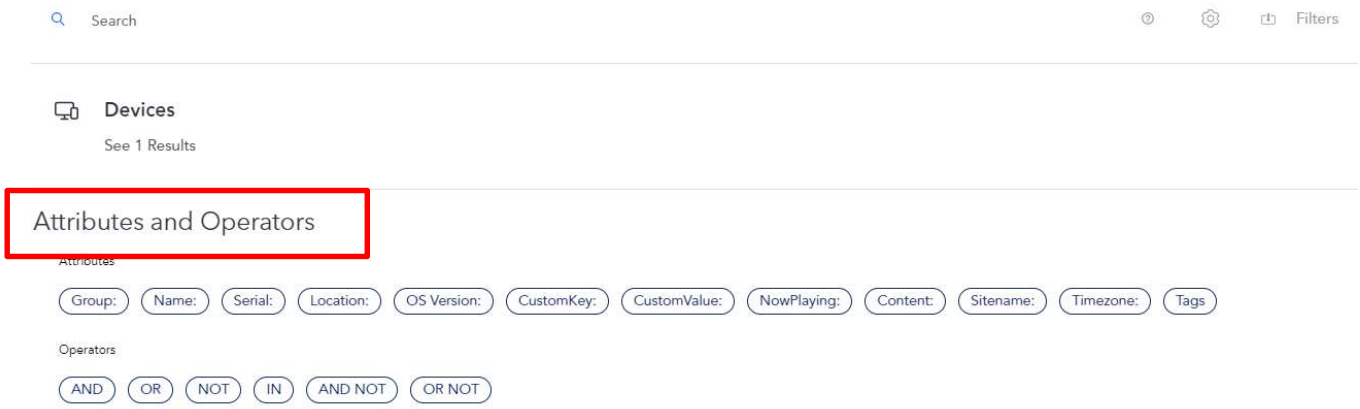
但し、一部オフラインだったり、通信に問題があった場合に、一部デバイスはエラーとなってしまう場合がありますので、うまく実行できたかは、確認を行ってください。

3.6.3 Filter による管理

1) Device リスト画面で、左上の「Search」をクリックするとサーチ画面が表示されます。



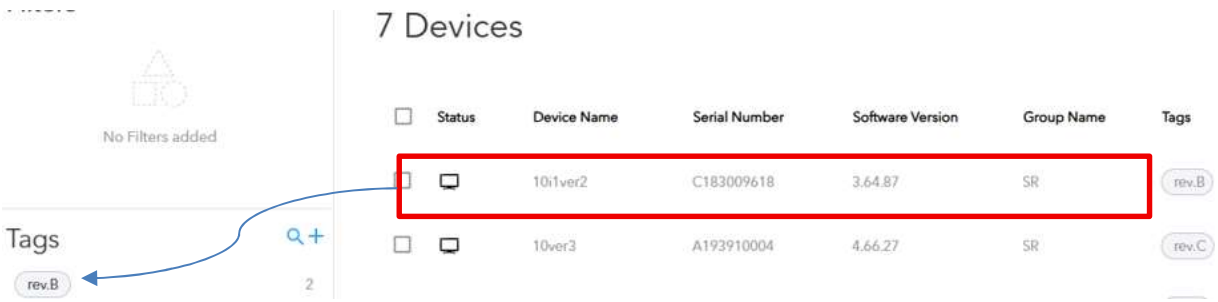
2) 「Attributes and Operators」で、「Group」などの Filter する項目が表示されますので、一括管理に利用ください。



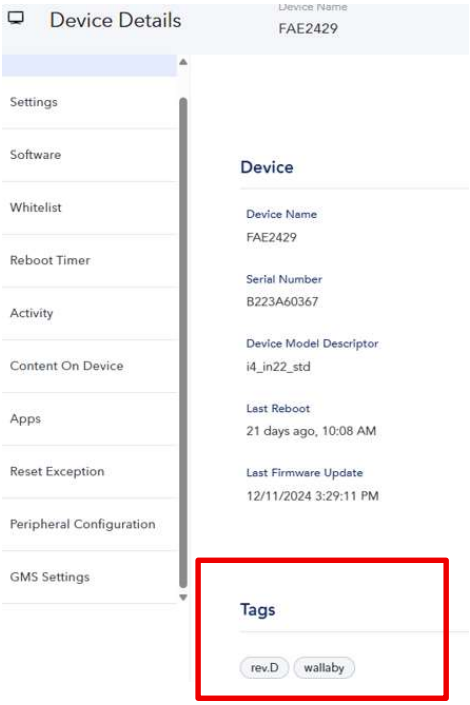
3.6.4 Tag による管理

デバイスやアプリケーションに「Tag」を設定すると、管理が容易になります。

選択した Device を「Tags」内の希望するタグのアイコンにドラッグ &ドロップすることにより、設定できます。（例は rev.B）



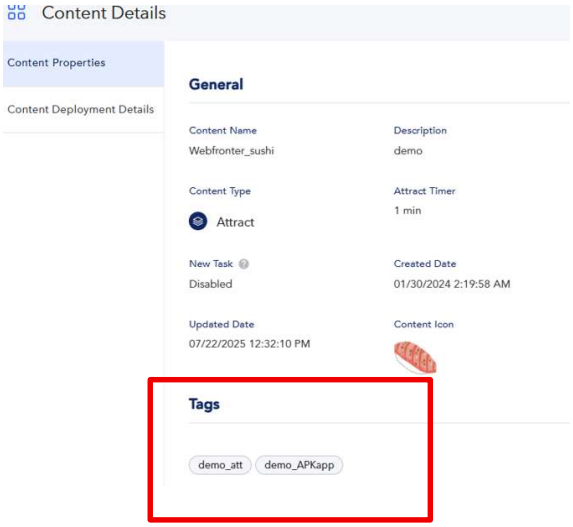
備考)以下のように複数のタグに設定できます。



予め、「Tags」に登録されている場合は、デバイス登録時の CSV ファイルの「Tags」に記載すれば、設定できます。

*Device Mode	*Device Name	*Serial Number	Firmw	Addre	City	State	Postal	Count	Tags	Site N	Time Zone	Group
Control	10/PM2113	C213A40075									Asia/Tokyo	TPS

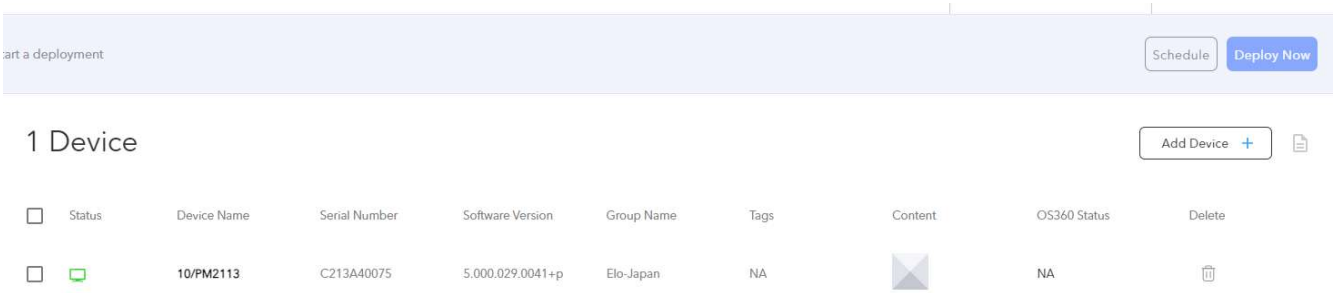
登録するアプリケーションにも Tag をつけることができます。



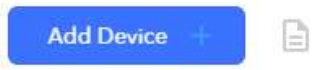
3.7　登録 Device 情報一括出力

3.7.1 Device 情報のファイル出力

1)デバイスリスト画面右の　ノートタブ　　をクリックする。



3)　以下のように、メニューが表示されますので、設定された一部のリストの場合は「Custom Reports」の右のダウンロードアイコンを、全てのリストの場合は、「Full Report」の右のダウンロードアイコンをクリックして、csv ファイルを出力する。
また、「Custom Reports」の項目を変更する場合は、「Customize Columns」右のギアマークをクリックして、項目を変更してください。

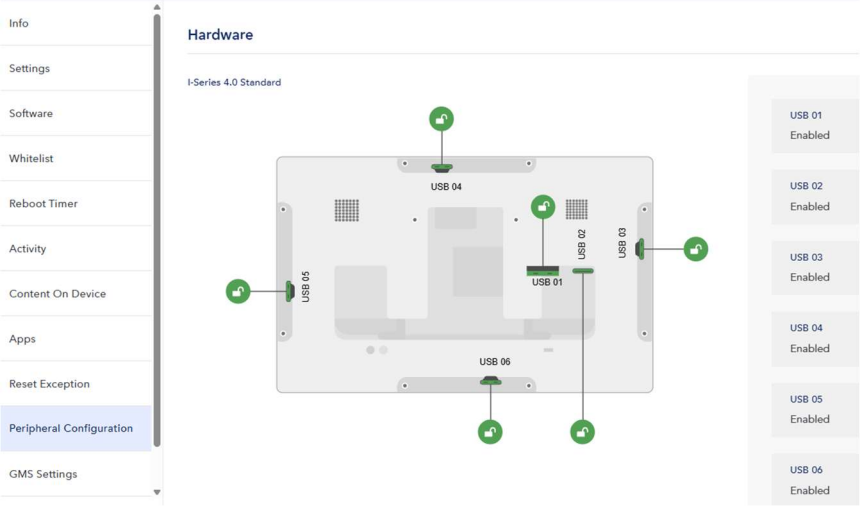


以下が「Custom Reports」の「例です。

serial	Tags	osVersion	deviceMo	currentPla	online	deviceNar	groupNam	os360
C213A400	--	5.000.029.	control	{contentS	TRUE	10/PM211	Elo-Japan	--

3.8　Peripheral configuration(USB ポートの無効化)

ガギアイコンをタップして、デバイスの USB ポートを有効/無効に切り替えることができます。



4. コンテンツ関係(Content)

注意)登録可能な各ファイルのサイズは最大 2GMB で,ファイル数は 370 です。
ファイル名に日本語は使用しないで下さい。(アルファベットあるいは数字などを使用して下さい。)
インストール可能なコンテンツは APK, Web アプリ(URL), Media(静止画,mp4(動画))の 3 種類です。(但し、"Multi App"モードでは APK のみ登録可)

備考)静止画は jpeg,png,pdf,txt を zip にしたもの(圧縮方法は Deflate あるいは非圧縮で、解凍時に各ファイルがルートに配置されるようにする)です。

注意)同一アカウントで、upload 済みの「Content Name」では同時に登録できませんので、ver 名を追加するなどしてファイル名を変更して登録して下さい。

また、上記を組み合わせて登録することができます。

a) "ATTRACT"(Attract loop): Primary コンテンツが、設定されたタイムアウト後、Secondary コンテンツに切り替わり、画面タッチで再度 Primary コンテンツに切り替わる。(メインアプリと待ち受け画面の切り替えとして利用)
b) "Bundle":フォアグラウンド以外に、カメラ取得データのクラウドへの送信などの最大 5 つのバックグラウンドコンテンツが登録可能で、選択したコンテンツを動作させることができます。

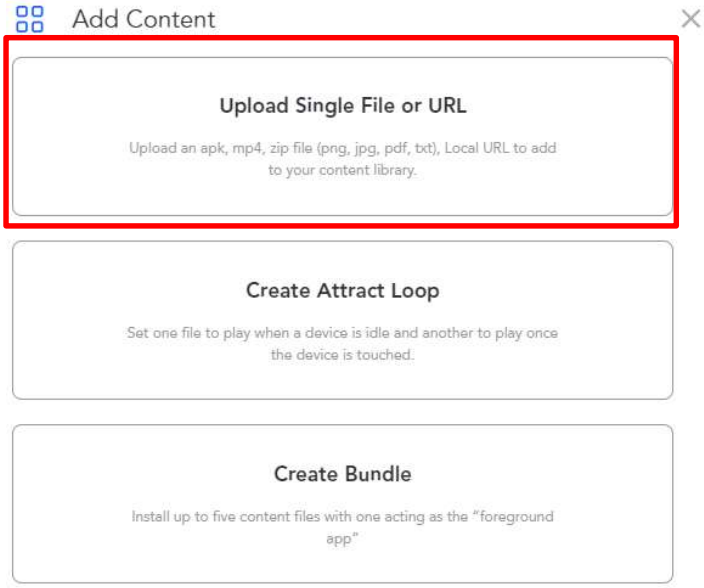
4.1 アプリケーション/コンテンツのアップロード

4.1.1 単独コンテンツのアップロード

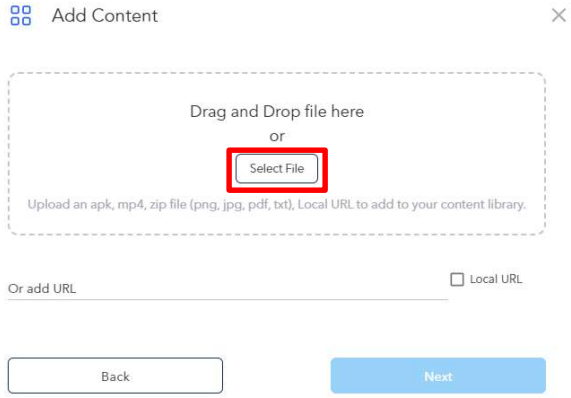
4.1.1.1 Android アプリ, Web アプリ、Web アプリ及び動画(mp4))、Zip 化した PDF,jpeg,png などの静止画

1) 「CONTENT」 アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」 の右にある「Add Content ＋」をクリックします。

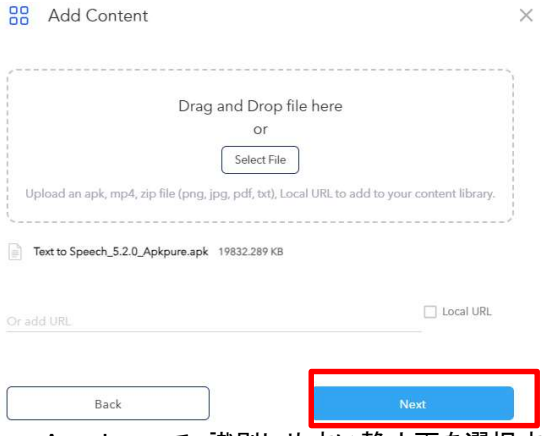
2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、1 番上の「Upload Single File or URL」をクリックする。



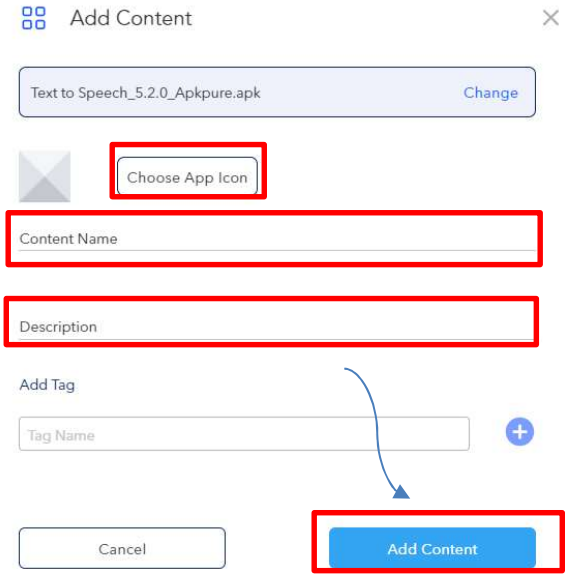
3) 以下のように表示された後、「Select File」をクリックする。但し、Web アプリでは URL を入力してください。



4) アップロードするファイルを選択すると、以下のように表示されるので、「Next」をクリックする。

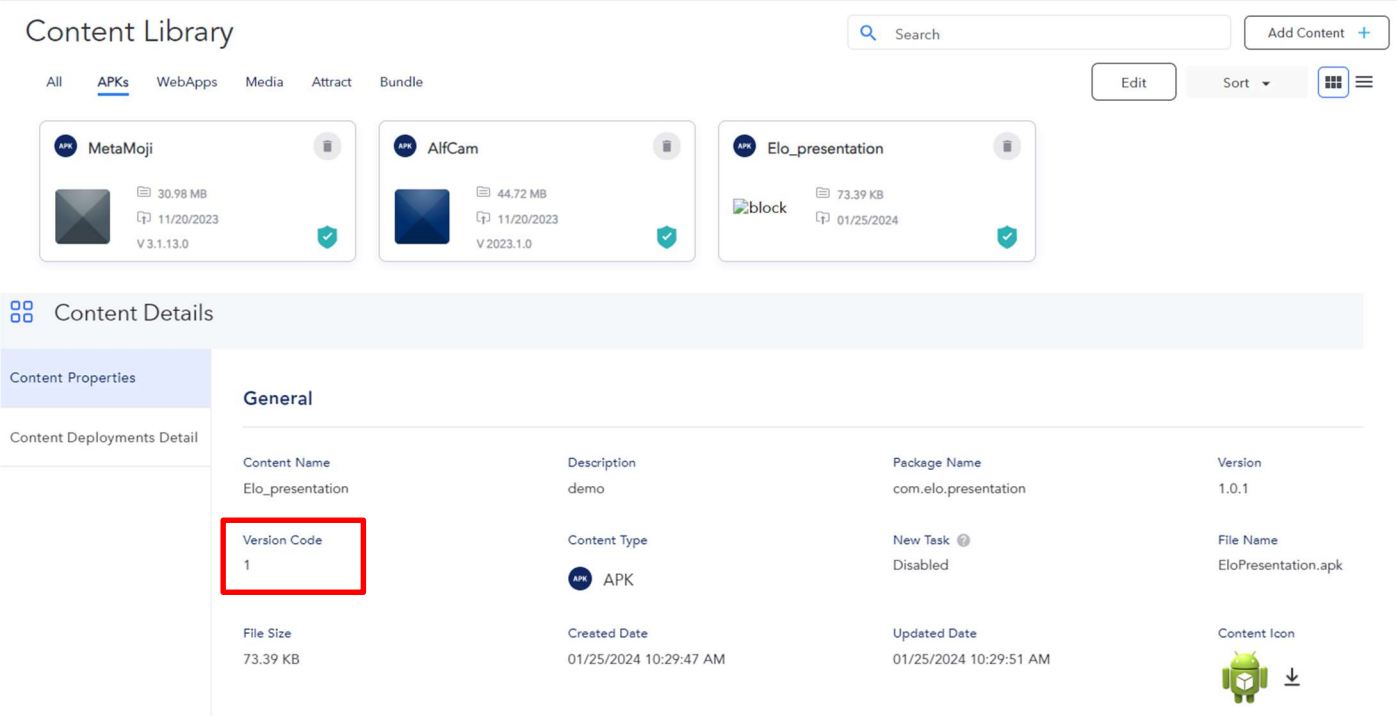


5) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。必要に応じて Tag も記載可能です。

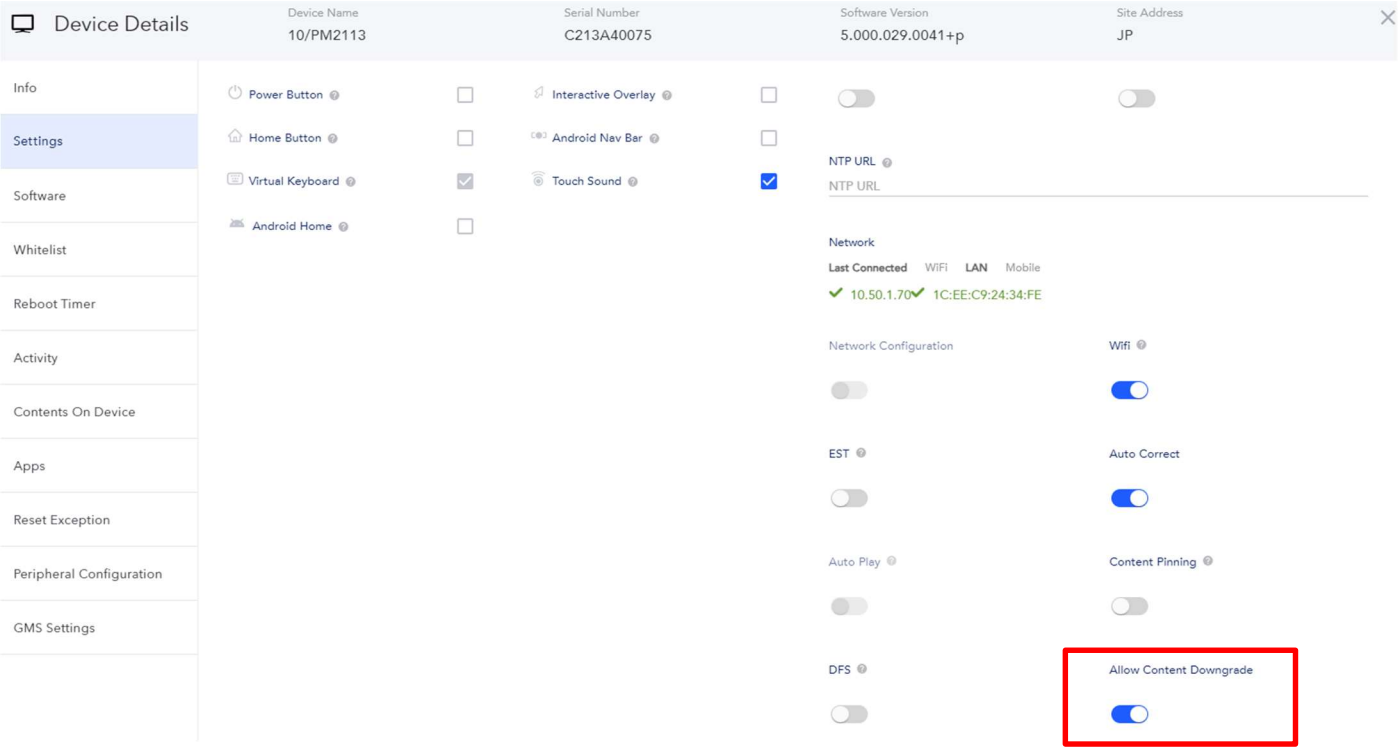


注意)同一アカウントで、upload 済みの「Content Name」では同時に登録できませんので、ver.名を追加するなどしてファイル名を変更して登録して下さい。
また、異なる「Content Name」に変更して、バージョンの異なる APK を追加して登録する場合は、追加するバージョンの APK の「Version Code」設定を登録済みバージョンの APK より大きい数字に設定してください。

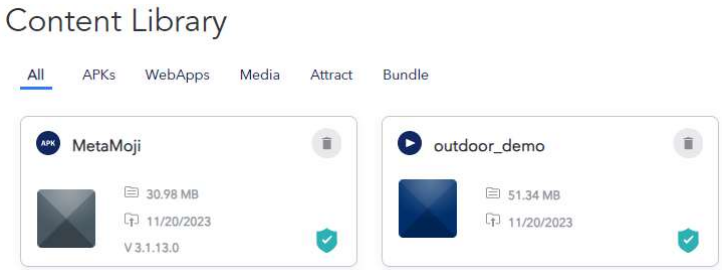
以下は Elo_presentation.apk の例です。
Content メニューで、表示される「Content Library」のアプリのアイコンをダブルクリックし、「Content Details」で表示される「Version Code」です。



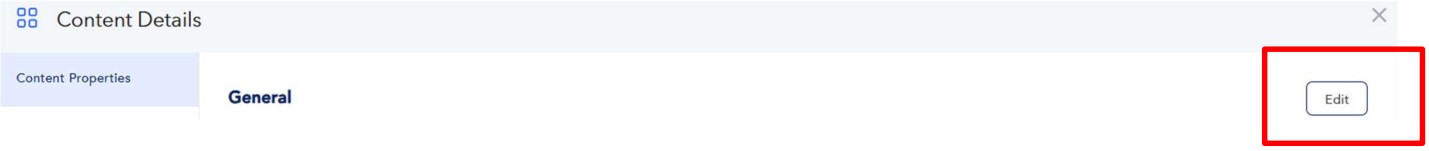
この APK の「Version Code」設定を変更できない場合は、Devices > Settings タブにある「Allow Content Downgrade」設定を Enable にして、右上にある「Apply」をクリックし、適用してください。



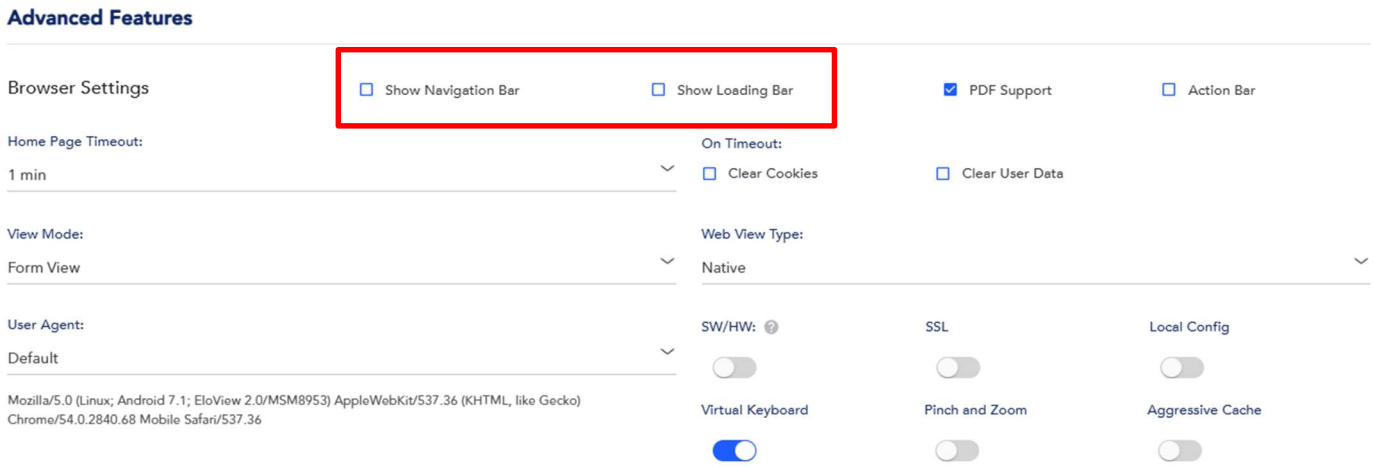
6) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが から に変わったことを確認して終了。



但し、Web アプリの場合は、デフォルト設定が　ナビゲーションバーの表示であったり、他のコンテンツと対応が異なります。登録したアプリのアイコンをクリックし、以下の「Content Details」を表示し、右側の「Edit」クリックして、「Advanced Features」を変更することができます。

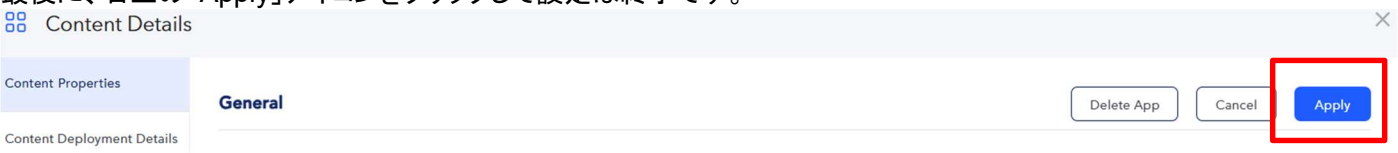


以下は、ナビゲーションバー等を非表示に変更した例です。　その他カメラ等へのアクセスを化にする「SW/HW」や「User Agent」、On Timeout の「Clear User Data」なども希望に応じて設定して下さい。



注意）上記ナビゲーションバーを非表示にしても、3.3.3 項の「Android Nav Bar」にチェックが入っていると、ナビゲーションバーは非表示にはなりません。

最後に、右上の「Apply」アイコンをクリックして設定は終了です。



但し、デバイスに反映するためには、この状態で再度配信する必要があります。

その際、既にデバイスに配信済であった場合は、デバイスの Content アイコンの上にカーソルを移動し、左上に表示されるゴミ箱アイコンをクリックして、一旦デバイスに登録されているコンテンツを削除し、再度コンテンツを配信して下さい。
同一コンテンツ名で、配信した場合、内容が変更されていても、正しく配信されない場合があります。

4.1.1.2 ローカル Web アプリ

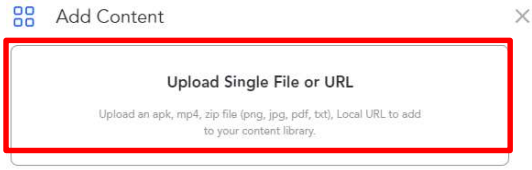
ローカル Web アプリの場合は、web サイト情報を含むすべての必要なファイル（HTML、JavaScript、CSS、画像、メディア）を、予め 1 つのファイルに Zip 化しておいてください。その際に、すべてのファイルはルートに保存して下さい。

注意)PHP、Ruby などのサーバーサイドスクリプトはサポートされていません。

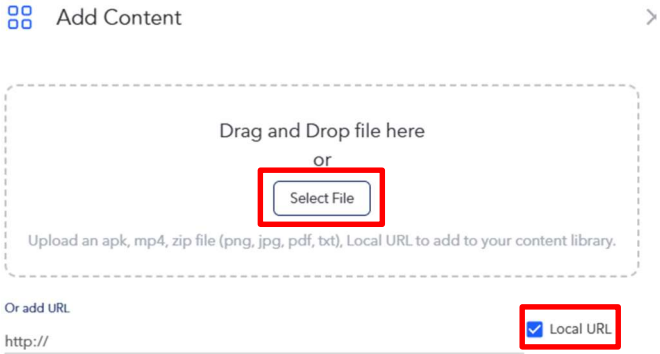
外部サーバーなどにアクセスする仕様の場合で、オフラインでも動作させたい場合は、ローカル Web サーバーを立てる等の対応を実施下さい。

1) 「CONTENT」 アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」 の右にある「Add Content ＋」をクリックします。

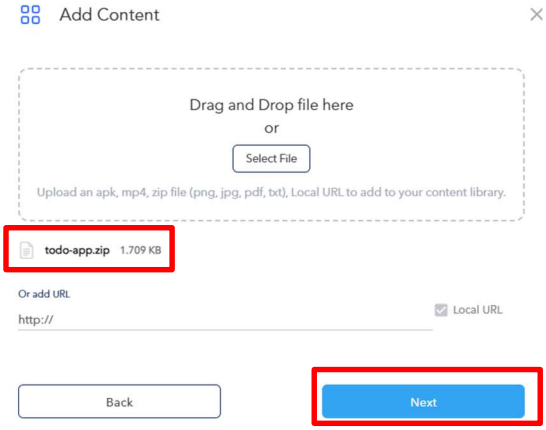
2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、1 番上の「Upload Single File or URL」をクリックする。



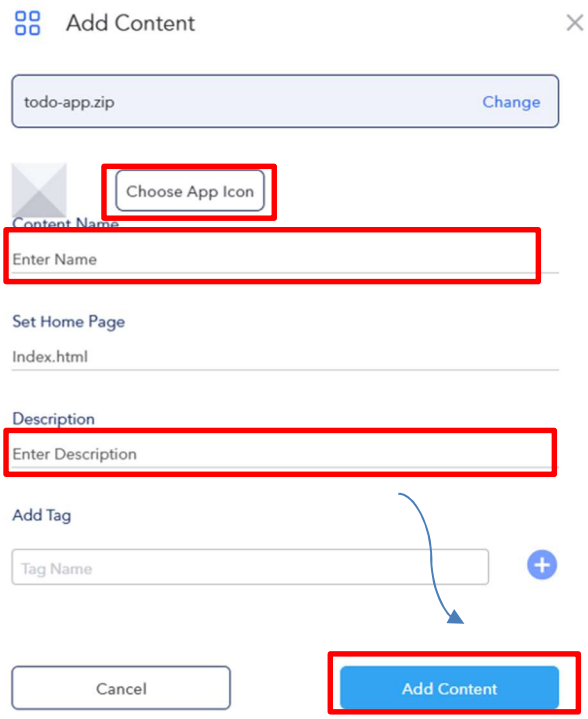
3) 以下のように表示された後、「Local URL」にチェックを入れた後、「Select File」をクリックしてください。



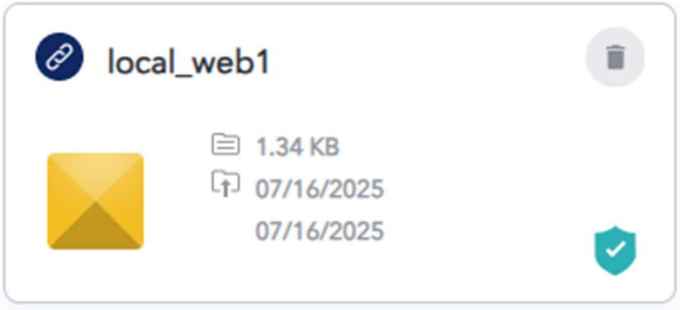
4) アップロードするファイルを選択すると、以下のように表示されるので、「Next」をクリックする。



5) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。



6)　コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが から に変わったことを確認します。

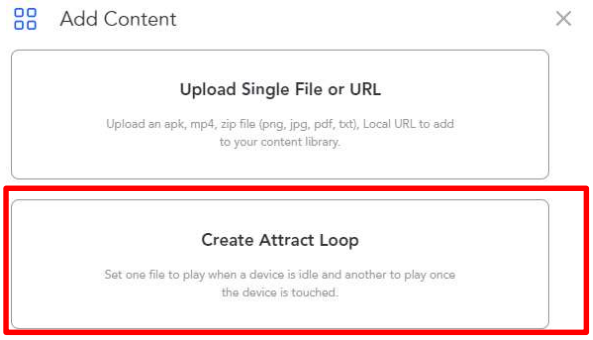


7)　ローカル Web アプリも、Web アプリ同様に、「Advanced Features」を設定し、終了です。
特に、ナビゲーションバーなどを非表示にする場合は、変更が必要です。

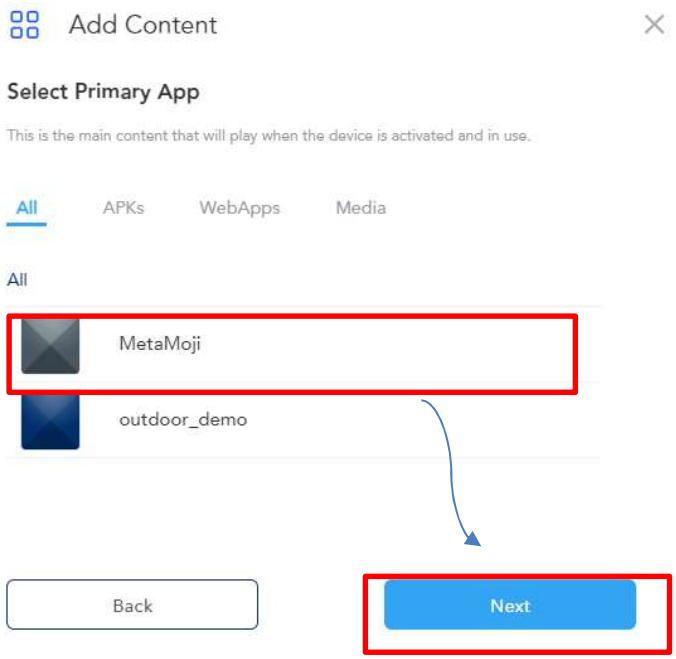
4.1.2 Attract の登録

1)　「CONTENT」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」 の右にある「Add Content ＋」をクリックします。

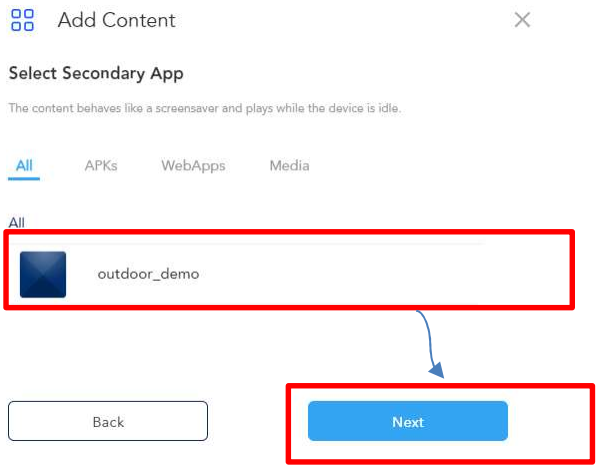
2)　以下のように、登録画面が表示されることを確認し、2 番目の「Create Attract Loop」をクリックする。



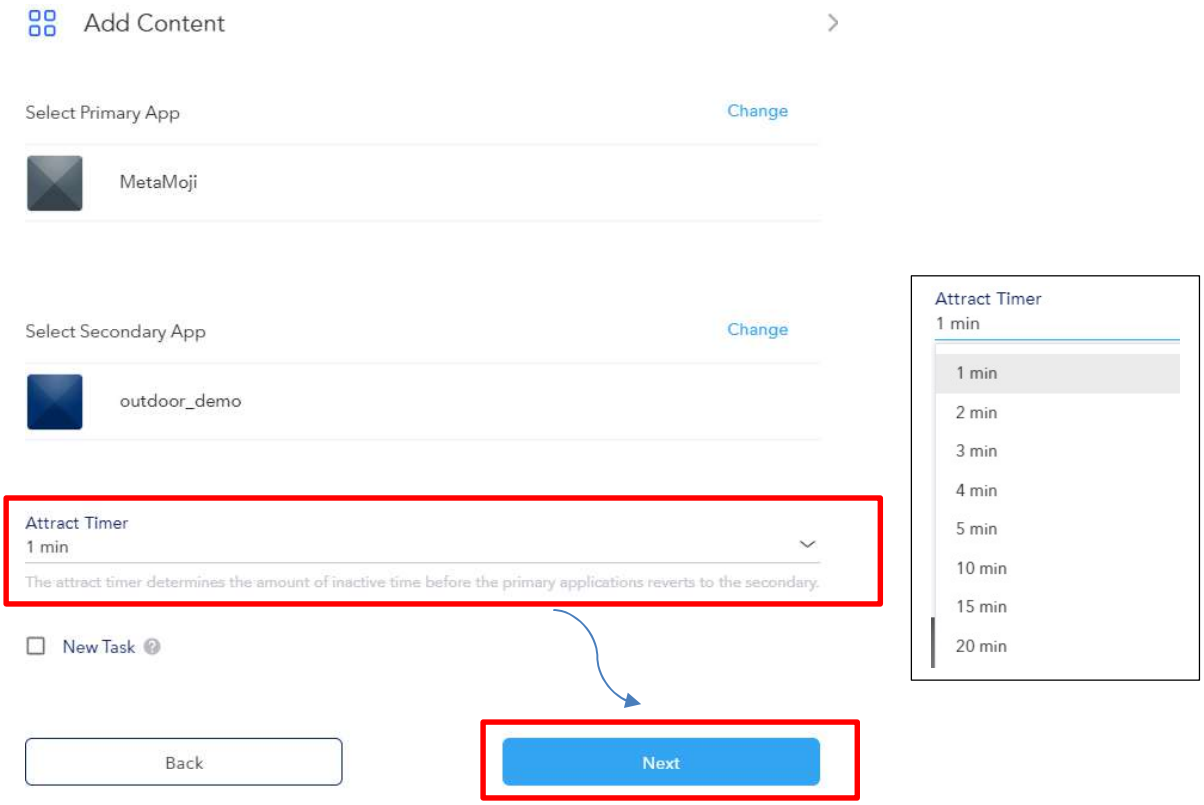
3)　以下のように、「Primary」アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。
備考)「Primary」アプリは、画面にタッチした後に、実行されるメインアプリになります。



4)　以下のように、「Secondary」アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。
備考)「Secondary」アプリは、タッチ動作がない状態で、設定した「Attract Timer」時間を経過した場合に実行されるコンテンツ（主に、動画や静止画）になります。

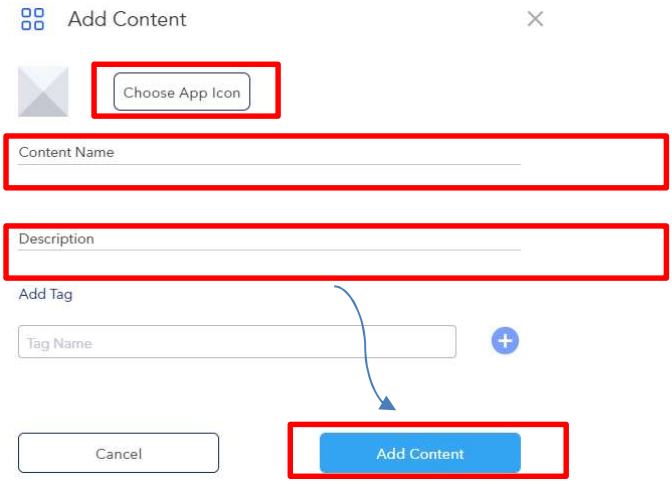


5)　以下のように、表示されるので「Attract Timer」(「Primary」で設定時間放置後、「Secondary」にアプリが切り替わる時間）をプルダウンで選択し、「Next」をクリックする。

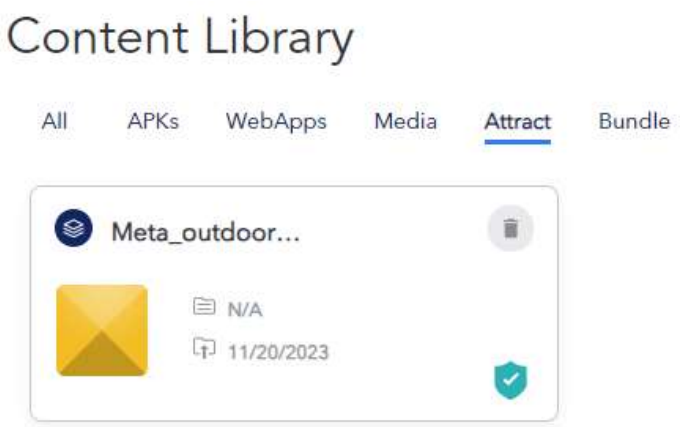


備考)「Secondary App」から「Primary App に戻る場合、デフォルトでは、「Primary App」のデータはリセットされます。(アプリケーションの再起動)
Primary App にログインなどが必要な場合は、Primary App に戻る毎に、ログイン情報の入力が求められます。
その場合、以下のように New Task (Attract Timer の下に配置)にチェックを入れると、Primary App のデータは維持され、Primary App に戻る毎に、ログイン情報の入力などは不要になります。

6) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。



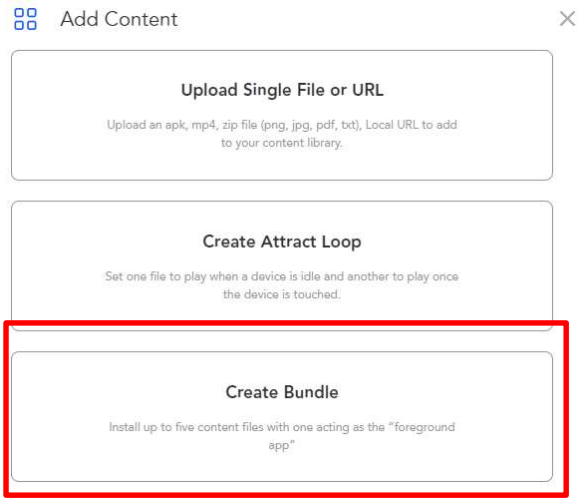
7)　コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが　であることを確認して終了。



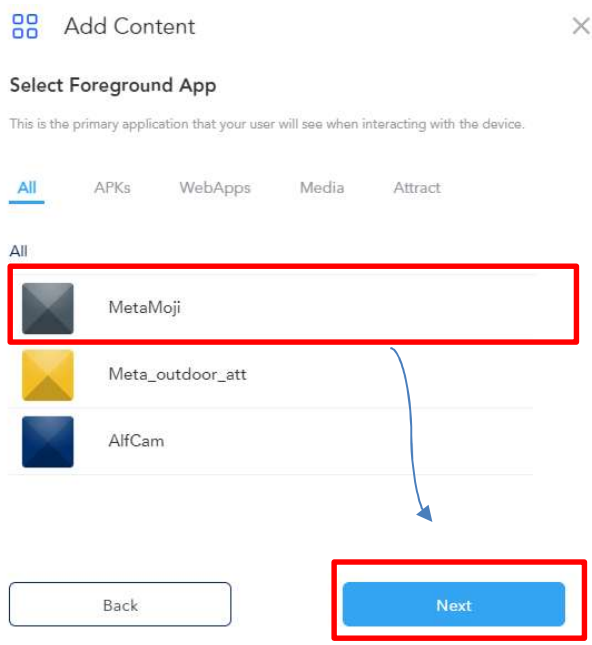
4.1.3 Bundle の登録

1)　「Content」アイコン　をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」　の右にある「Add Content　＋」をクリックします。

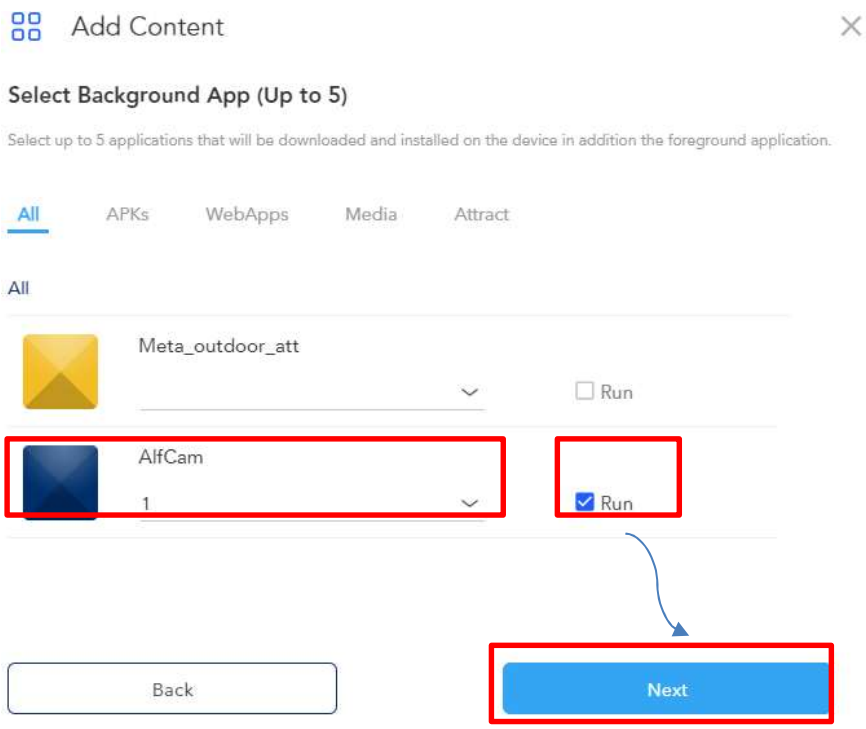
2)　以下のように、登録画面が表示されることを確認し、2 番目の「Create Bundle」をクリックする。



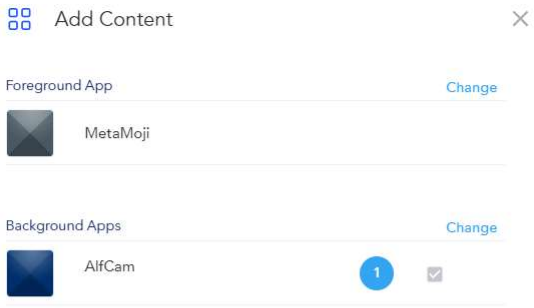
3)　以下のように、Foreground アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。



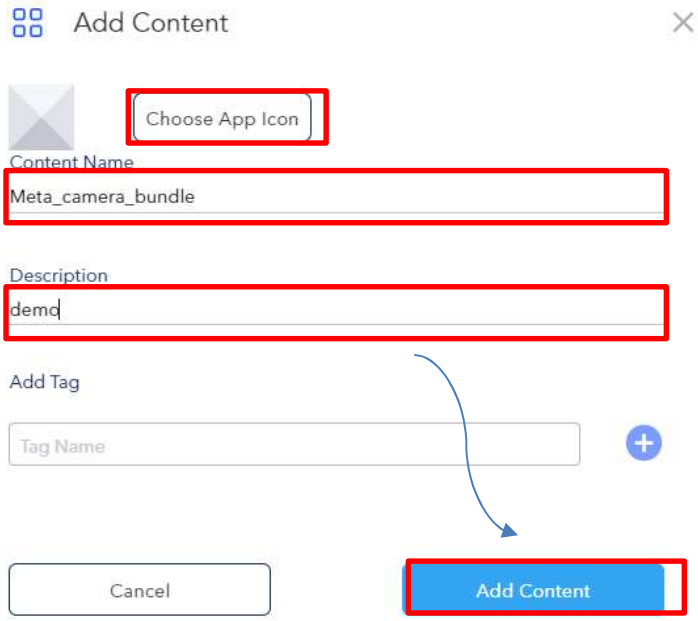
4) 以下のように、Background アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、順番の数字を選択し、「Run」にチェックを入れて、「Next」をクリックする。



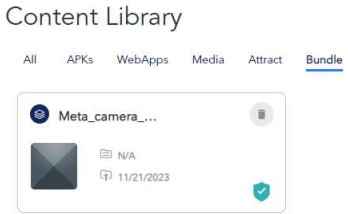
5) 以下のように、設定したアプリが表示されるので、「Next」をクリックする。



6) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。必要に応じて Tag も記載可能です。



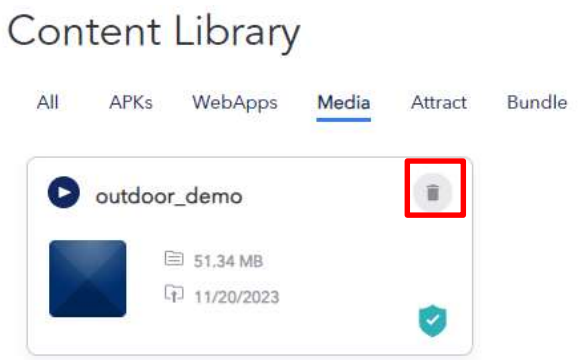
7) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが であることを確認して終了。



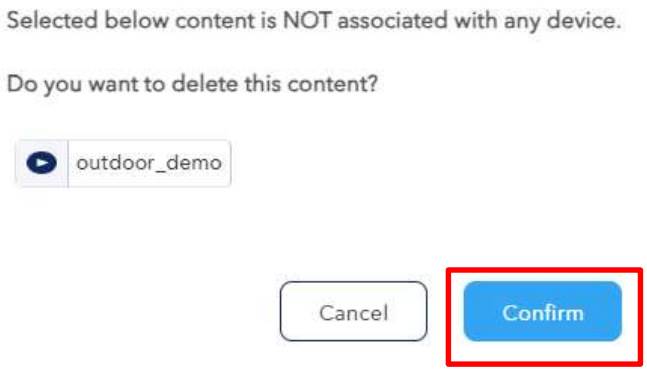
4.2 アプリケーション/コンテンツのアンインストール（削除）

4.2.1EloView からの削除

1) 「Content」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、削除するコンテンツ表示右上のゴミ箱アイコンをクリックします。



2) 削除確認のメッセージが表示されますので、「Confirm」をクリックします。

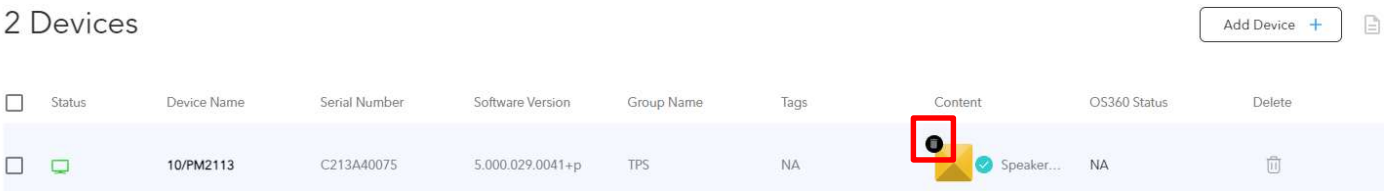


3) 「Content Library」からコンテンツが削除されていることを確認して終了です。

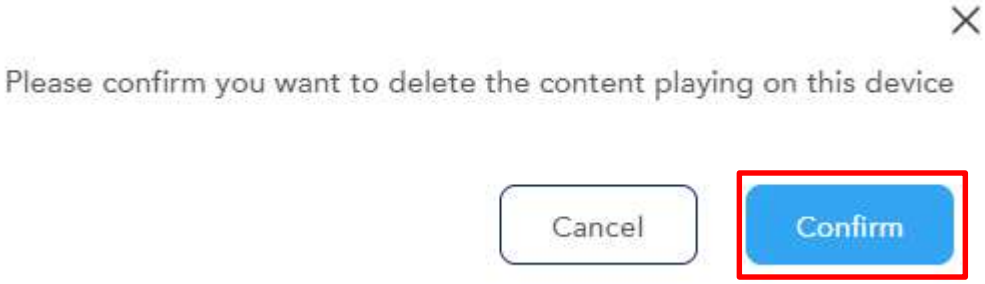
4.2.2 デバイスからの削除

1) 「Devices」アイコン をクリックし、デバイスリスト画面を表示し、コンテンツアイコンの上に、マウスカーソルを移動します。

2) アイコン左上に、ゴミ箱アイコンが表示されますので、クリックします。



3) 削除の確認メッセージが表示されますので、「Confirm」を選択します。



4) 削除したメッセージが表示され、Content アイコンが、消えて、右側のコンテンツ名も消えて終了です。

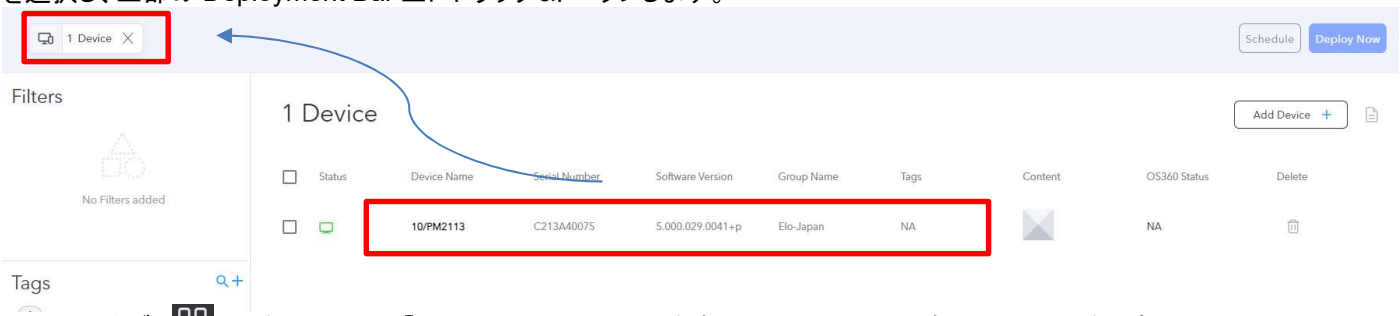
4.3 アプリケーション/コンテンツのデバイスへのインストール/削除

以下はデバイスへの適用になりますので、オンラインの状態で実施する必要があります。

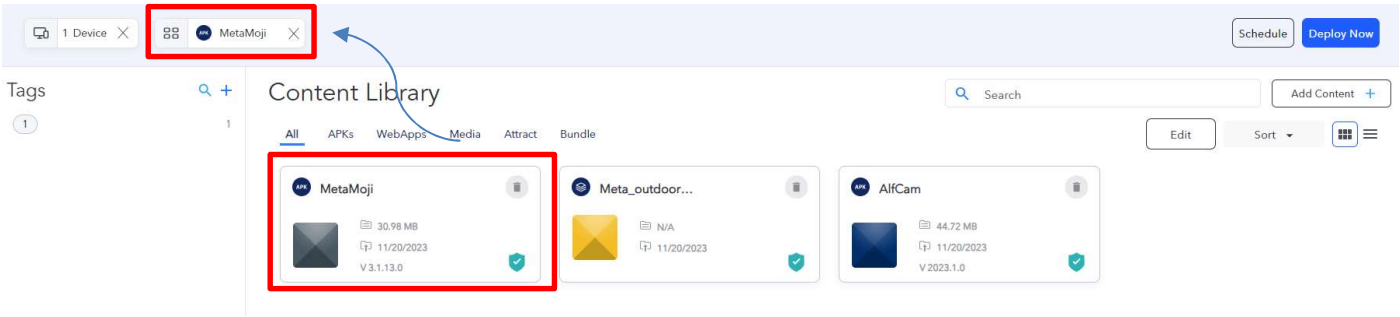
4.3.1 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツのインストール

4.3.1.1 直ぐにインストールする場合

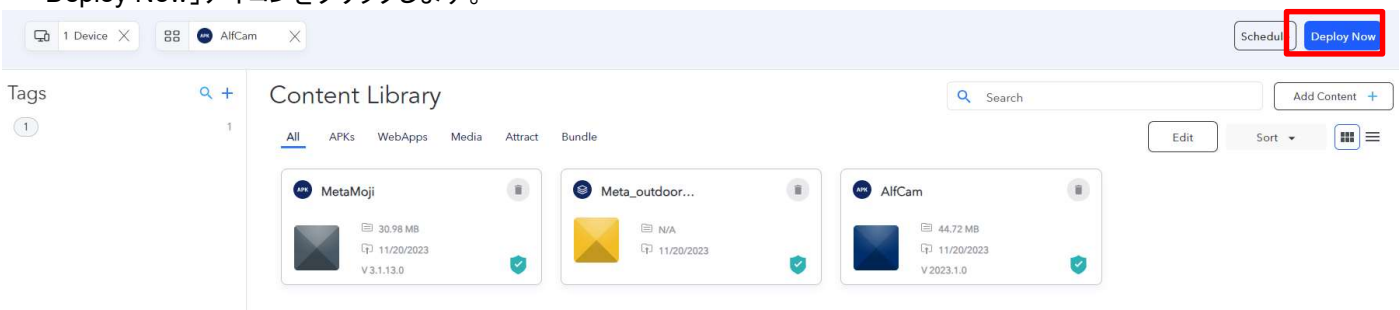
1) Device タブ をクリックし、Device がリストされている画面を表示し、インストールするデバイス（あるいはグループ）を選択し、上部の Deployment Bar 上にドラッグ&ドロップします。



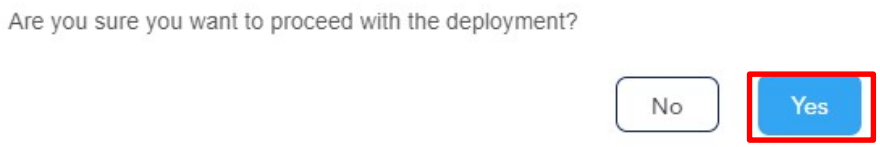
2) Content タブ をクリックし、「Content Library」画面を表示し、インストールするコンテンツを上部の Deployment Bar 上にドラッグ&ドロップします。



3) 「Deploy Now」アイコンをクリックします。



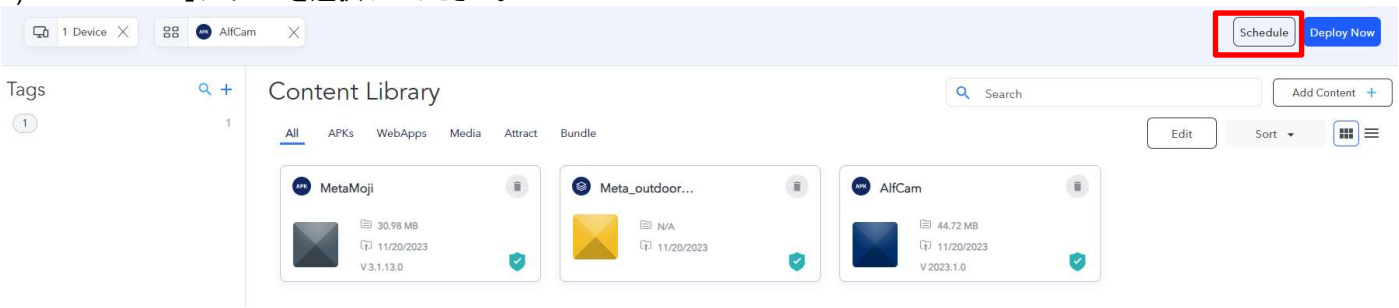
4) インストールの確認画面が、表示されますので。「Yes」をクリックします。



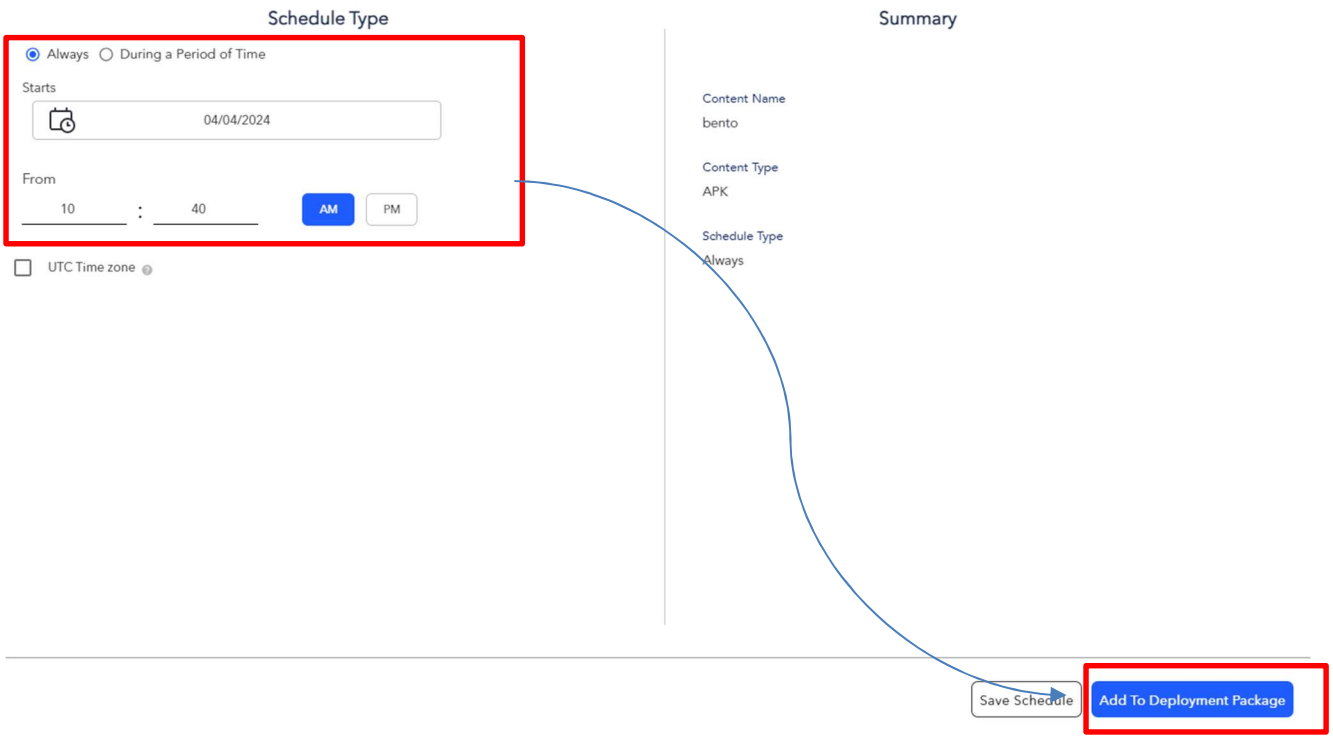
5) コンテンツがインストールされたメッセージが表示されますので、再度、デバイスタブをクリックし、コンテンツがインストールされていることを確認して、終了です。

4.3.1.2 コンテンツの配布時間を遅らせて設定する場合（スケジュール）

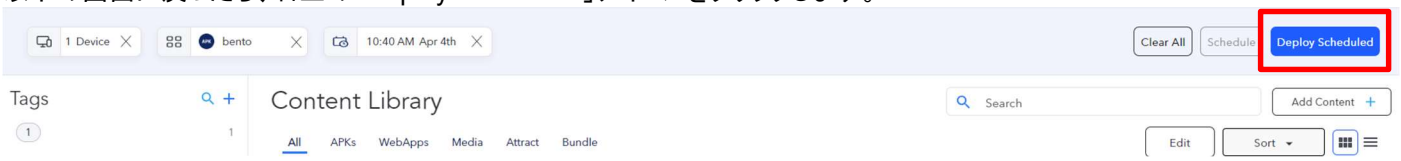
1) デバイス及びコンテンツの選択は、4.3.1.1 直ぐにインストールする場合の 1)～2)までと同様に実施してください。
2) 「Schedule」アイコンを選択してください。



3) 以下のような画面が表示されますので、「Always」が選択されていることを確認後、日時を設定後、右下の「Add To Deployment Package」をクリックします。

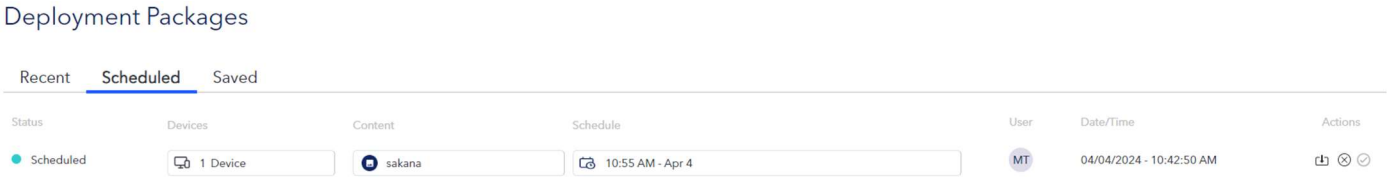


4) 以下の画面に戻ったら、右上の「Deploy Scheduled」アイコンをクリックします。



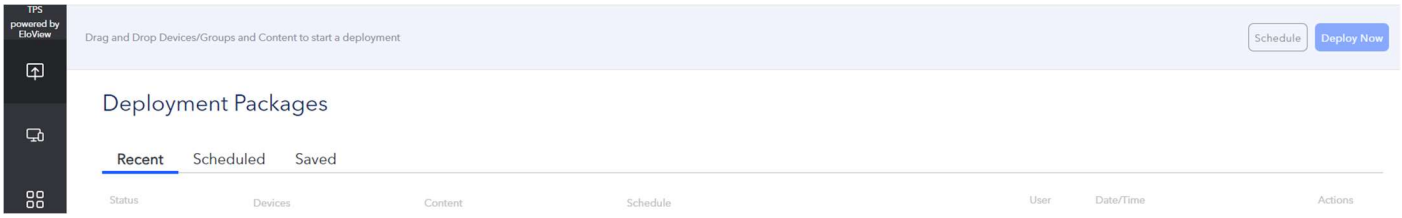
5) 以下のように確認の画面が表示されますので、「Yes」をクリックします。

6) メニュー左上の「Deployment」アイコンをクリックし、「Deployment Packages」が表示され、「Scheduled」ダブ内に、インストールする予定のコンテンツの情報が表示されていることを確認して終了です。

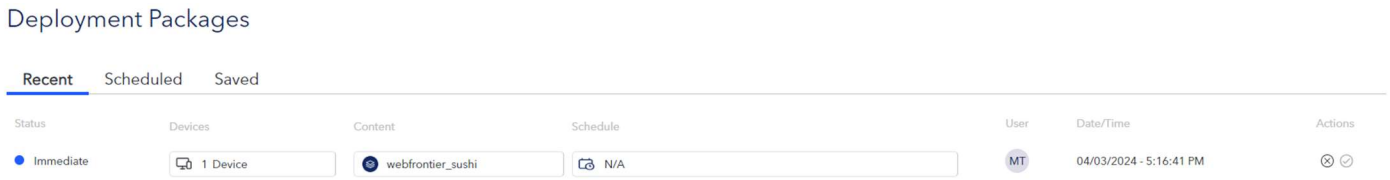


4.3.1.3 アプリ／コンテンツ配布状況を確認(Deployment Packages)

1) メニュー左上の「Deployment」 アイコン をクリックすると、以下のような「Deployment Packages」が表示されます。

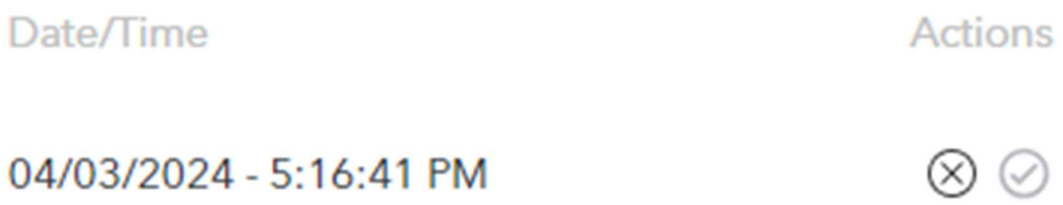


2) 「Recent」ダブを選択すると「Deploy Now」で配布された内に、インストールしたコンテンツの情報が表示されています。

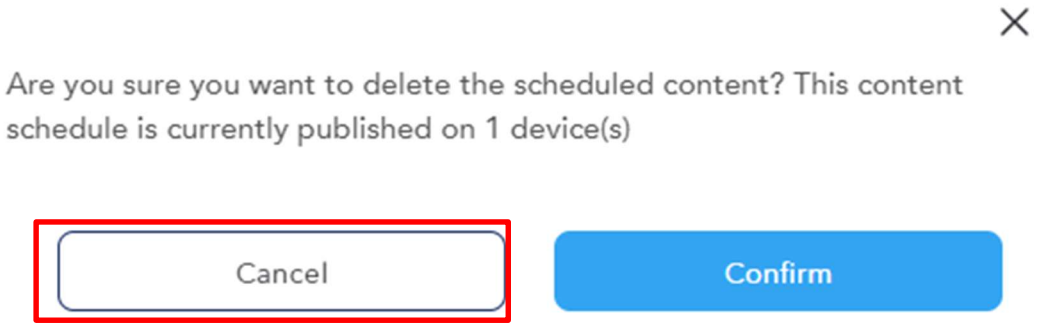


3) 「Scheduled」ダブを選択すると 4.3.1.2 で「Deploy Scheduled」で時間を遅らせて配布設定したコンテンツが表示されます。
4) 「Saved」ダブを選択すると 4.3.1.2 で「Save Schedule」を選択した場合のコンテンツが表示されます。

注意) 右側に表示されている Actions の下の ⊗ をクリックし、「Deployment Packages」の登録情報を削除した場合、そのコンテンツはデバイスから削除されますので、注意してください。



誤って ⊗ をクリックした場合は、以下の削除確認メッセージが表示された場合、「Cancel」をクリックしてください。

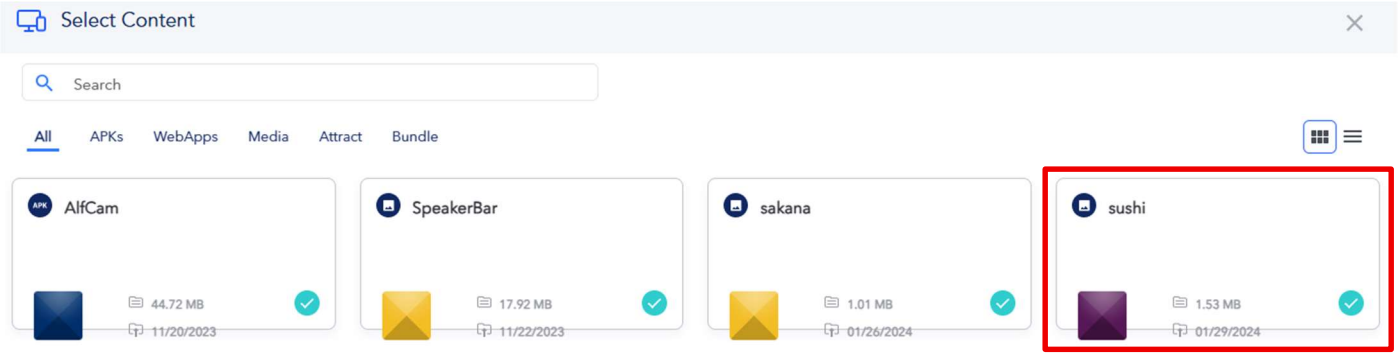


4.3.1.4 デフォルトアプリ／コンテンツの登録

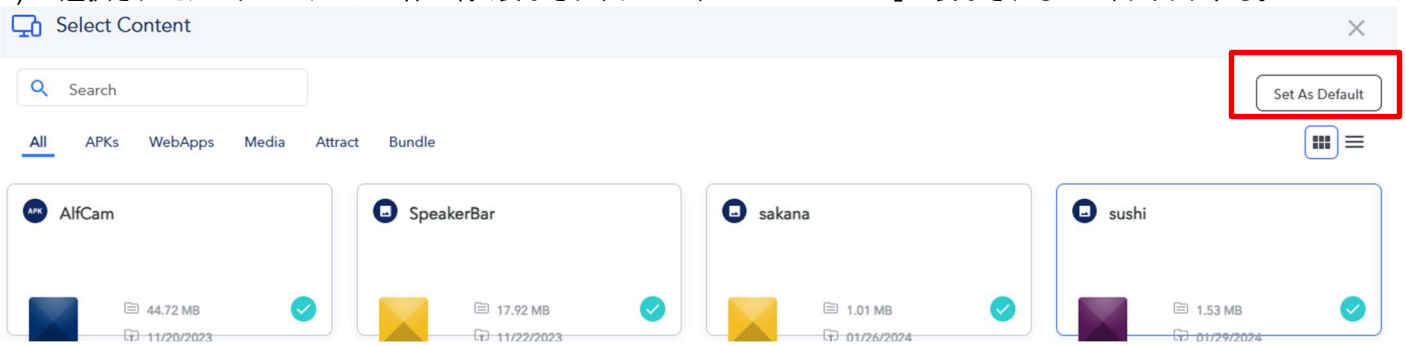
デフォルオのアプリ/コンテンツを設定することができます。アプリ/コンテンツの配信が設定（スケジュール設定）されていない場合は、デフォルトのアプリ/コンテンツが起動します。

1) 各デバイスの「Device Details」を表示し（あるいは、「Account Details」）し、「Content On Device」タブを選択し、右上の「Add Default Content To Device」をクリックする。

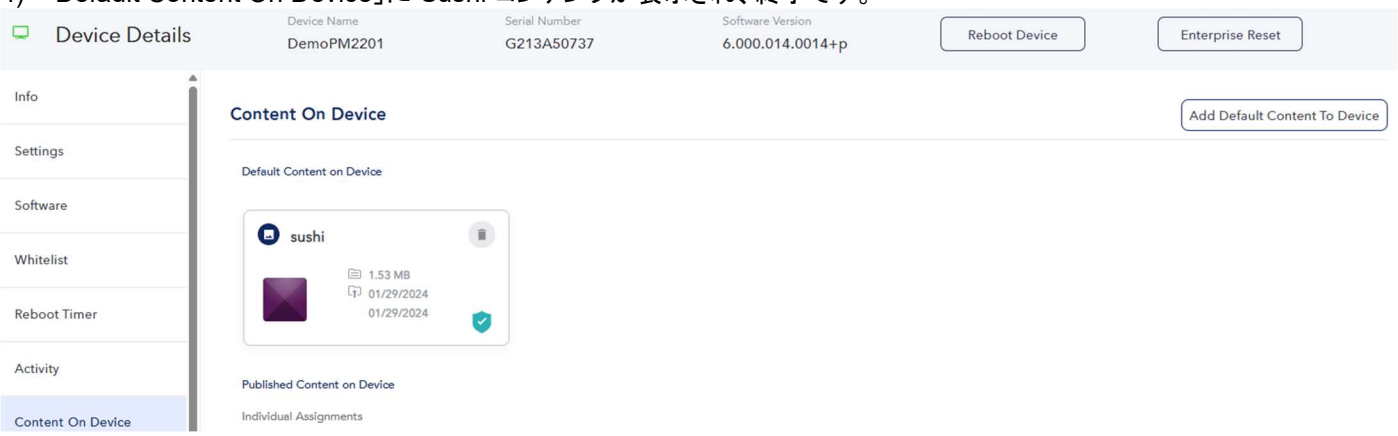
2)　「Select Content」メニューが表示されるので、アプリ/コンテンツを選択する。(例は　Sushi)



3)　選択されたアプリ/コンテンツの枠が青く表示され、右上に、「Set As Default」が表示されるので、クリックする。



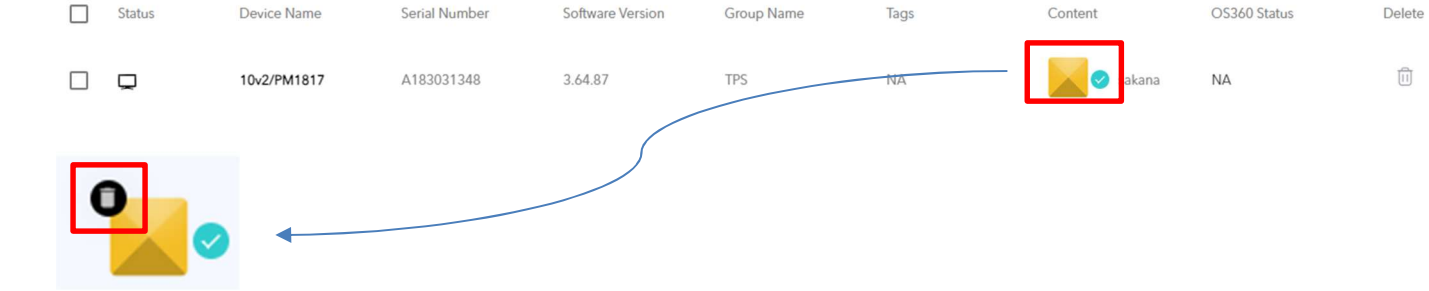
4)「Default Content On Device」に"Sushi"コンテンツが表示され、終了です。



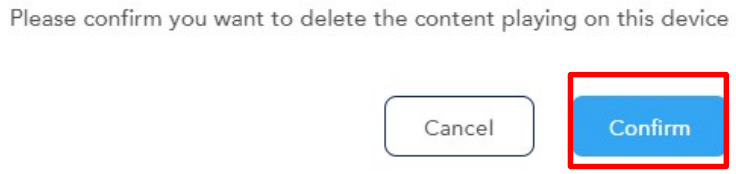
4.3.2 "Single App"　モードでのアプリケーション/コンテンツの削除

1)　デバイスダブをクリックして、デバイスリストが表示されている画面を表示します。

2)　削除するコンテンツのアイコン上に、マウスカーソルを移動すると、ごみ箱アイコンが表示されますので、クリックします。



3)　以下のように、削除確認のメッセージが表示されますので、「Confirm」をクリックします。



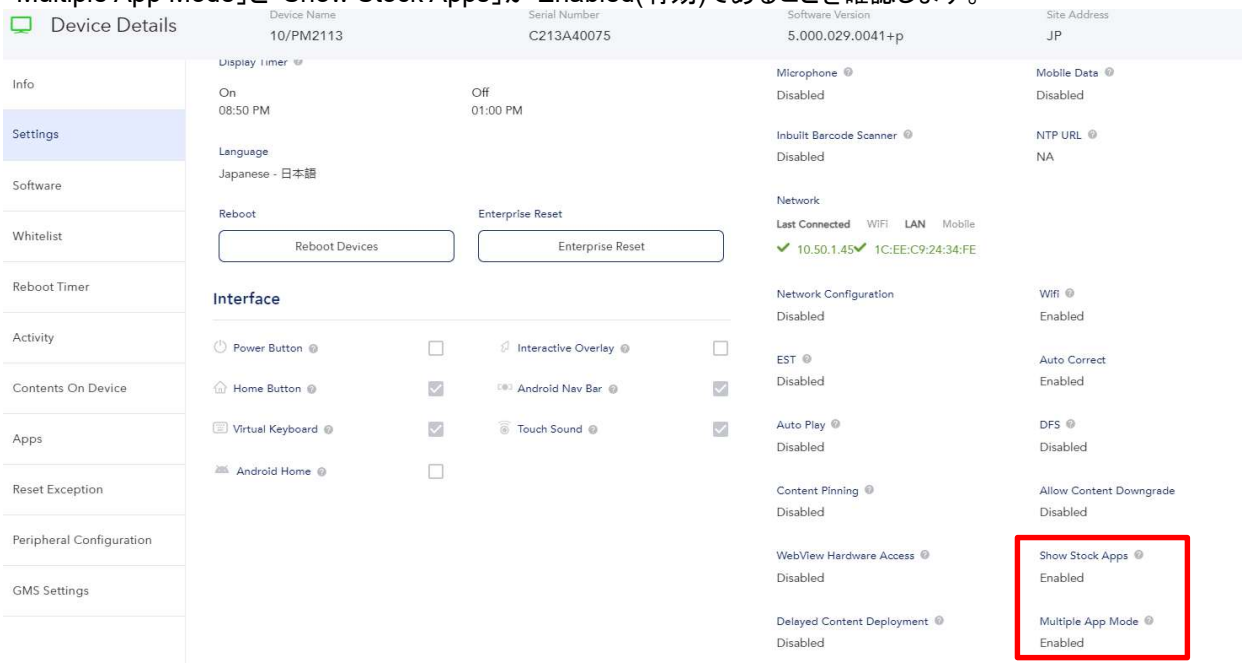
4) 「Content」右側の表示が消えていることを確認して終了です。

4.3.3 “Multi App” モードでの”Elo Home”画面へのアプリアイコン表示（インストール）

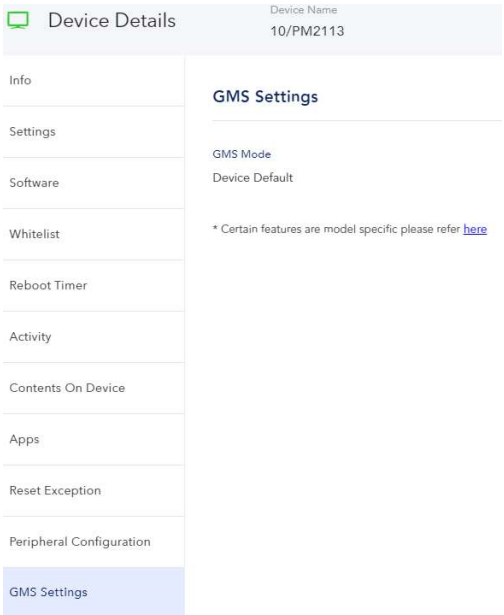
備考） 予め”Single App”モードで、アプリケーションをデバイスにインストールしている場合は、おくほうが早く画面に表示させることができます。
以下は「draw.apk」と「Elo Installed Apps」及び「GMS Apps」を”Elo Home”に表示させる場合の例です。

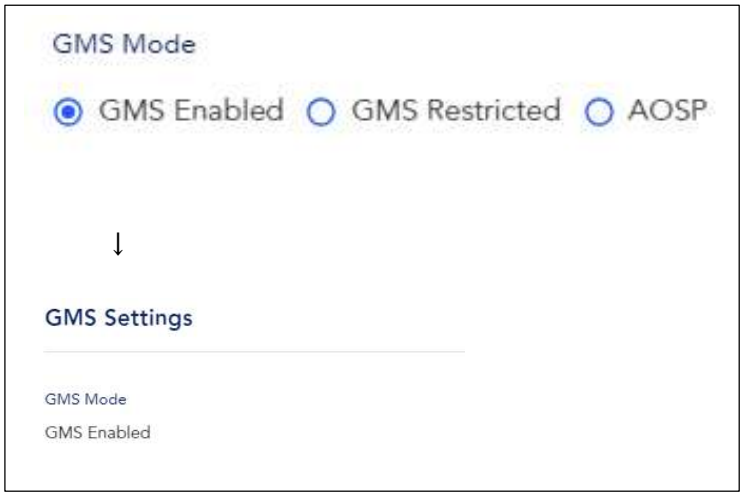
1) まず、Devices タブをクリックし、表示されたメニューの「Settings」タブで、「Edit」を選択し、右下に表示されている「Multiple App Mode」 を以下のように有効にします。プリインストールされたアプリも表示する場合は、同時に「Show Stock Apps」も有効に、右上の「Apply」をクリックします。

2) 「Multiple App Mode」と「Show Stock Apps」が Enabled(有効)であることを確認します。

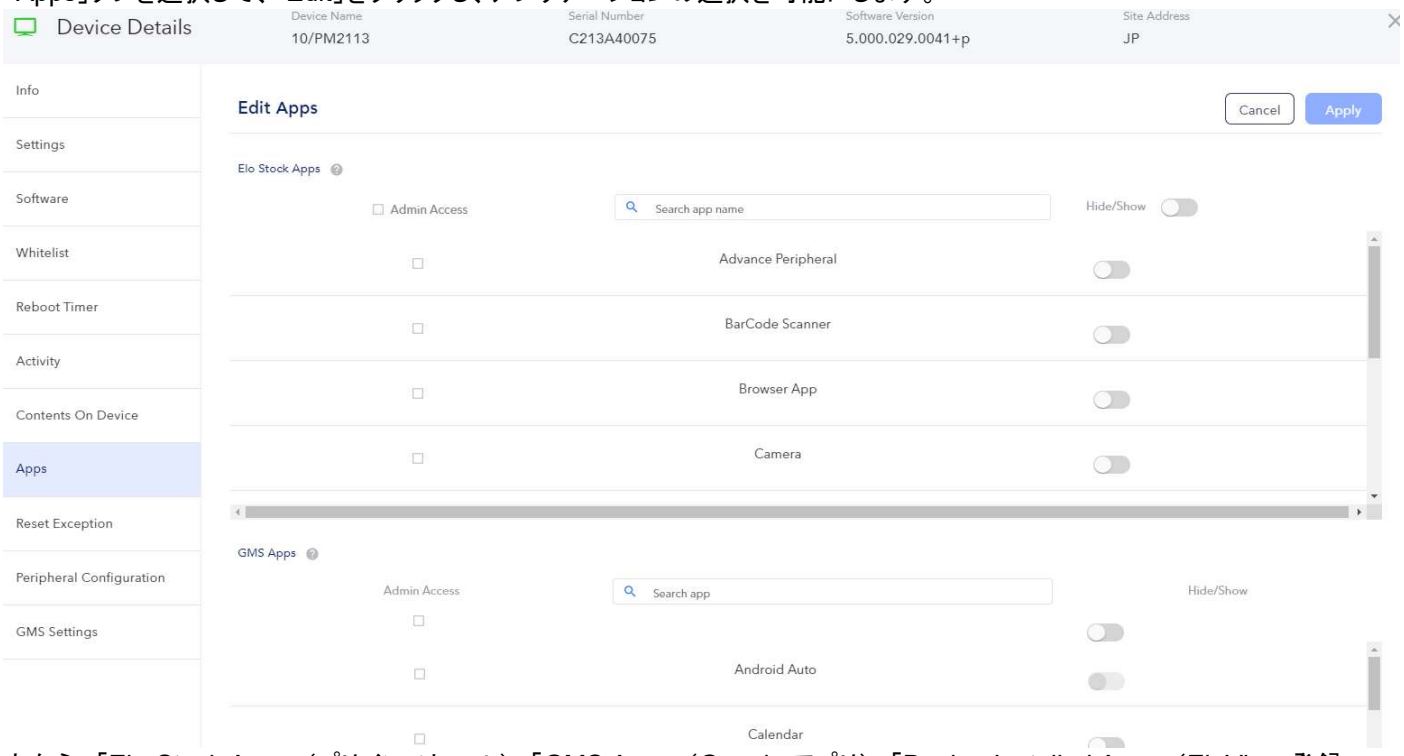


3) Google のアプリを表示するためには、「GMS Settings」タブを選択して、右上の「Edit」をクリックし、表示される項目から「GMS Enabled」あるいは「GMS Restricted」を選択して、「Apply」をクリックして下さい。例は GMS Enabled
備考)”GMS Restricted”モードは、アプリ設定が少し異なりますので、注意して下さい。また”AOSP” モード時では GMS アプリは使用できません。

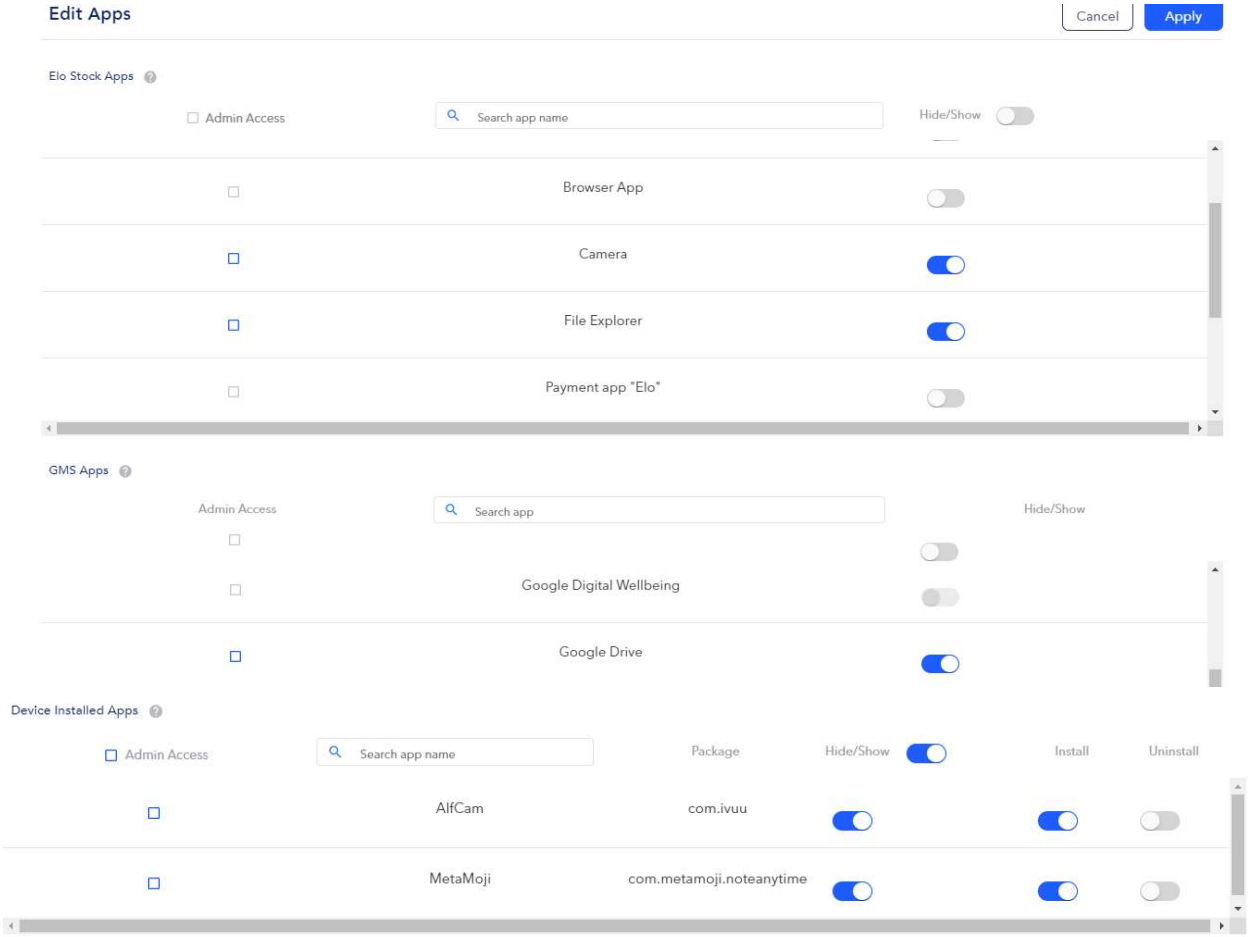




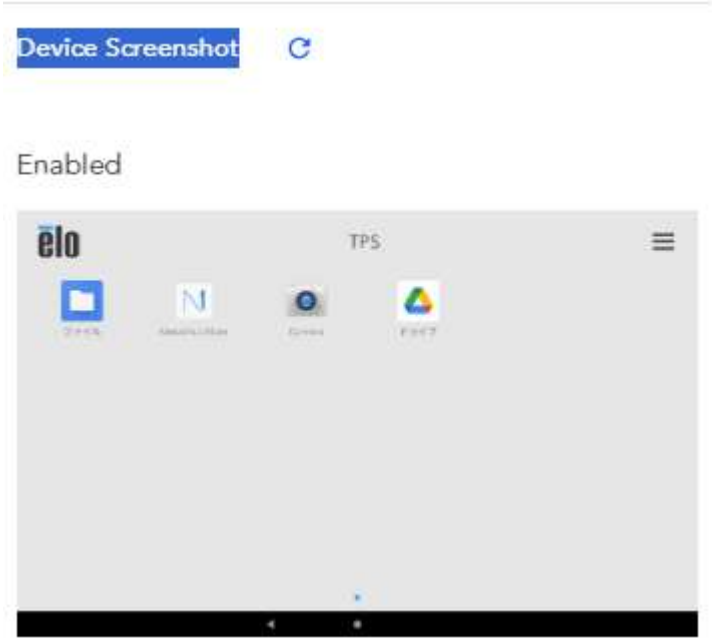
4) 「Apps」タブを選択して、「Edit」をクリックし、アプリケーションの選択を可能にします。



5) 上から、「Elo Stock Apps」(プリインストール)、「GMS Apps」(Google アプリ)、「Device Installed Apps」(EloView 登録アプリ)の順で、表示されますので、メニューに表示させるアプリを有効にして、右上の「Apply」をクリックして下さい。
以下は、「Camera」、「File Explore」、「Google Drive」 と 2 つの EloView 登録アプリを追加した例です。
この時「Admin Access」 にチェックを入れると、「Admin」でログイン時にのみアプリケーションが使用可能になりますので、注意して下さい。



6) 「Info」タブで、「Device Screenshot」を有効にすると、以下のように表示メニューが確認できます。



備考)予め"Single App"モードでアプリをデバイスにインストール済のアプリは直ぐにメニューに表示されますが、そうでない場合はインストール後に表示されます。

7) 最後に、デバイスに表示されている画面を確認して終了です。

4.4 Web アプリのための設定変更

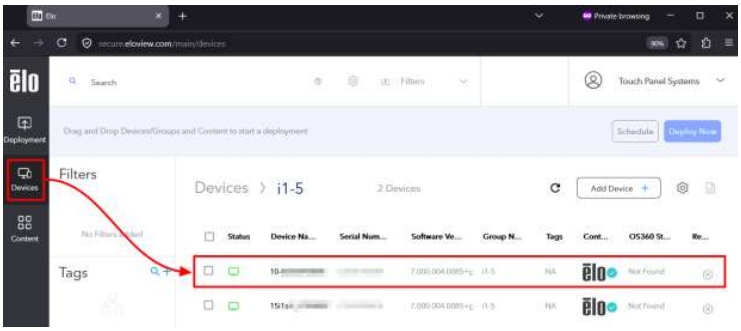
4.4.1 GMS restrict mode への変更

Web アプリを動作させるために、Google 提供の Android System WebView (Android 標準コンポーネント)を使用しています。 そのために、Google Play Store が WebView を自動的にアップデートする際に、使用中のアプリケーションが再起動されることがあります。対策として、Google Play Store を無効にすることで WebView の自動アップデートを停止できます。

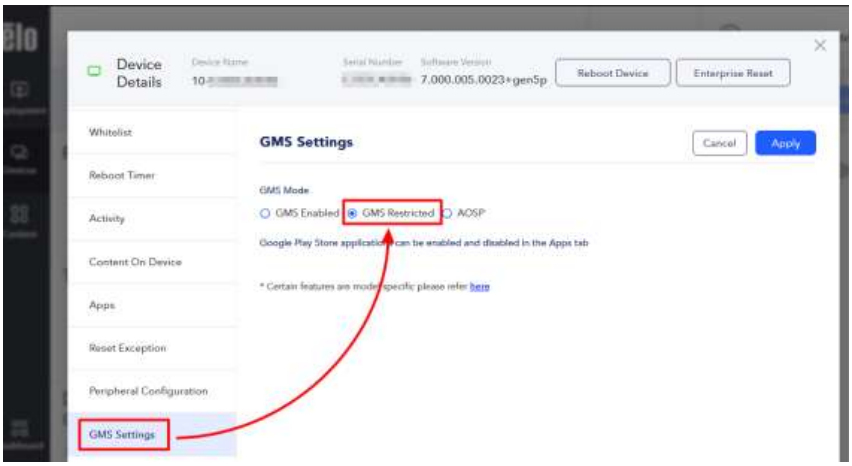
なお、Google Play Store を無効化すると、Google が提供してるアプリの更新や Play サービスが利用できなくなるため、運用上問題がないか十分ご確認のうえ設定してください。

以下はデバイス毎に Google Play Store を無効化する手順です。

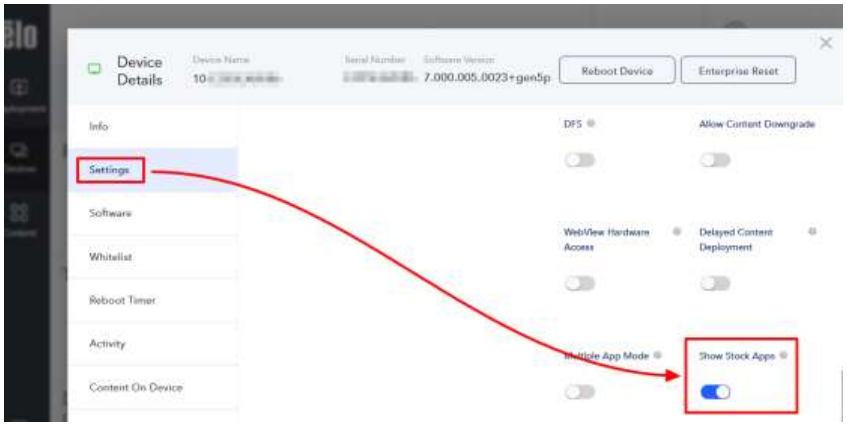
1) Devices をクリックして、自動アップデートに停止を行うデバイスを選択します。



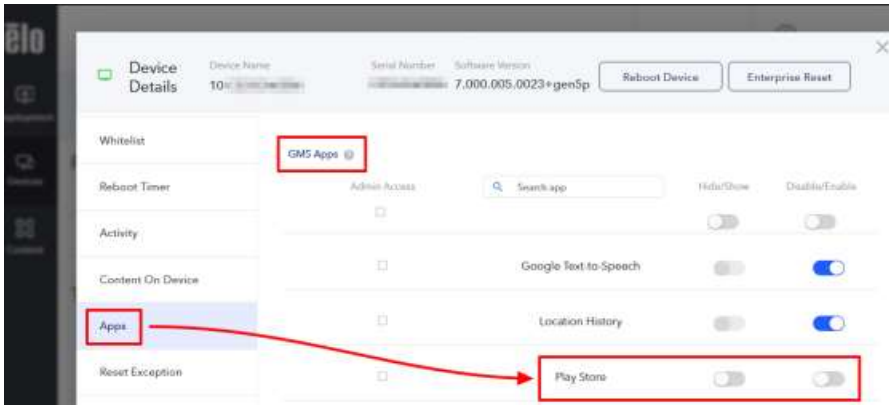
2) 「GMS Settings」を選択し、右上の「Edit」ボタンをクリックして「GMS Restricted」を選択し、「Apply」 ボタンをクリックして設定を変更します。 設定を変更した場合、デバイスは、自動的に再起動します。



3) 「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして、「Show Stock Apps」の設定をオンにします。



4) 「Devices」→「Apps」を選択して、左上の「Edit」ボタンをクリックします。「GMS Apps」までスロールして、GMS アプリの下の方にスクロールすると、「Play Store」があるので、スイッチをオフに変更します。



4.4.2 各種設定の変更

Web アプリの場合は、デフォルト設定が ナビゲーションバーの表示であったり、他のコンテンツと対応が異なります。

登録したアプリのアイコンをクリックし、以下の「Content Details」を表示し、右側の「Edit」クリックして、「Advanced Features」を変更することができます。

a)ナビゲーションバーなどの非表示（必要に応じて）

b)WebRTC 対応

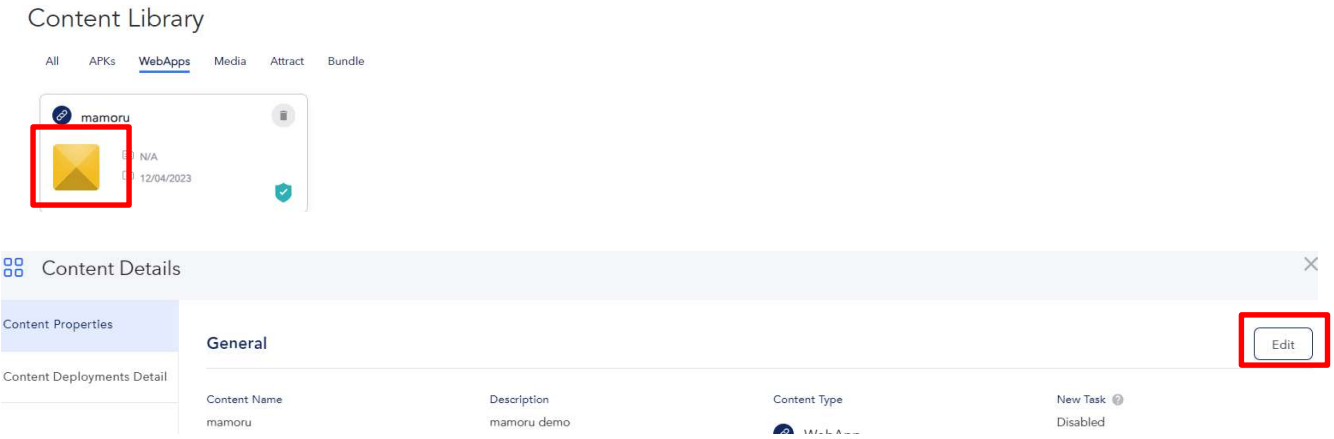
c)Timeout の変更

d)Timeout 時のアプリデータのクリア

e)User Agent の変更

f)Pinch/Zoom の中止

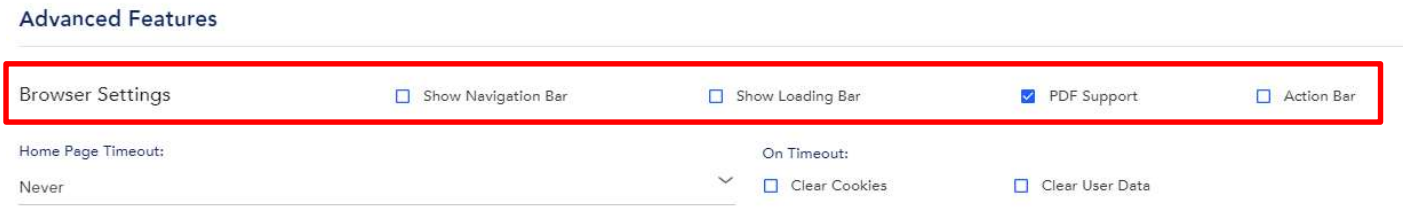
1) App Library 内の WEBAPPS タブの登録した Web アプリのアイコンをクリックし、右上に表示される「Edit」を選択する。



2)　各種設定変更を行う。「Advanced Features」

a)　ナビゲーションバー非表示

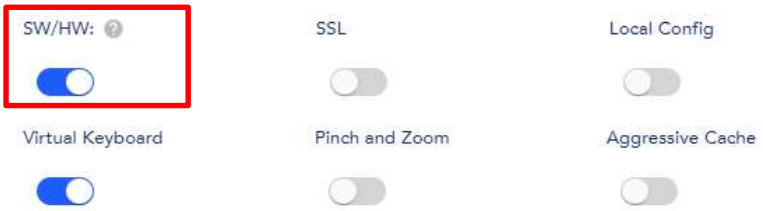
以下のように、各 Bar のチェックマークを解除する。「Brower Settings」



注意）上記ナビゲーションバーを非表示にしても、3.3.3 項の「Android Nav Bar」にチェックが入っていると、ナビゲーションバーは非表示にはなりません。

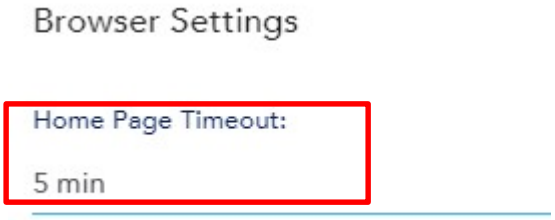
b)　WebRTC 対応

SW/HW を以下のように Enable に変更する。



c)　Timeout の変更

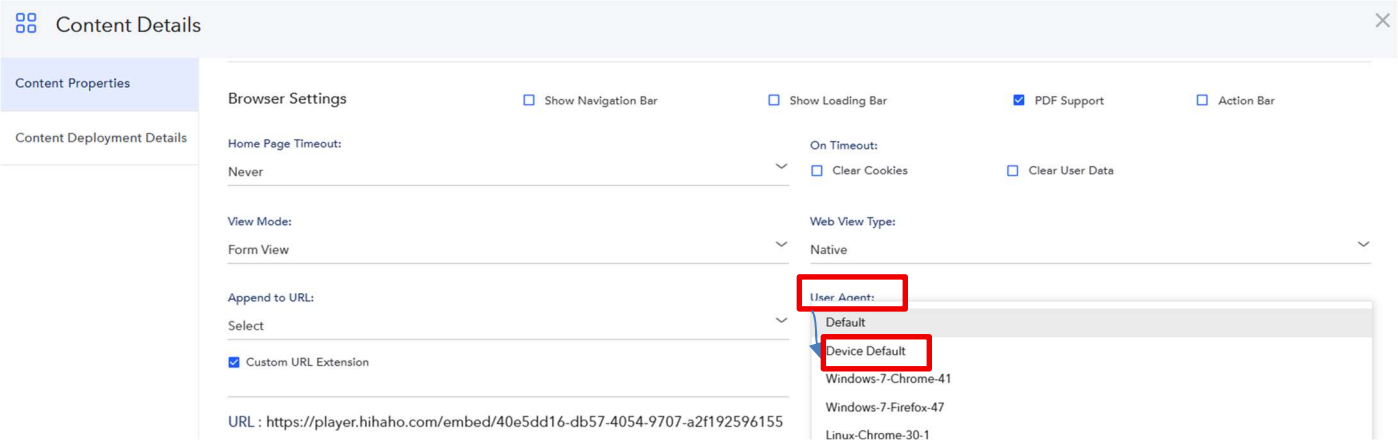
一定時間経過後に、最初に表示される画面に戻すためには、以下の Home Page Timeout を設定する。



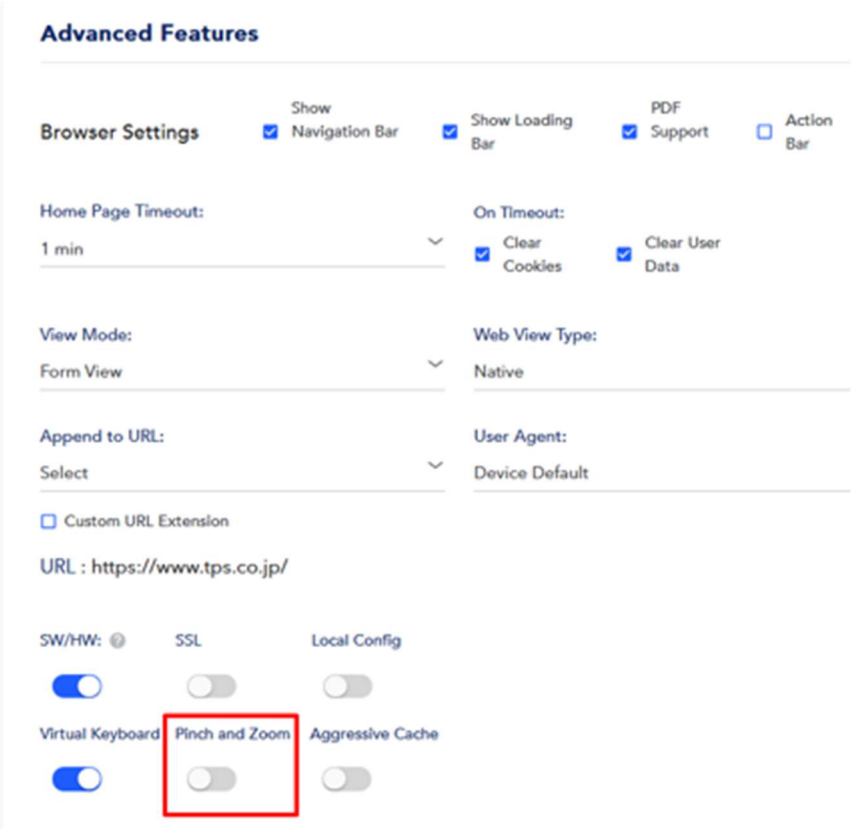
d)　Timeout 時のアプリデータのクリア

e)　User Agent の変更

Chrome では発生しなかったエラー(url へのアクセスができないエラーなど)が EloView で、発生する場合 Use Agent を「Default」から「Device Default」に変更すると改善される場合があります。



f)　Pinch/Zoom の中止
Pinch/Zoom 動作が無効になります。



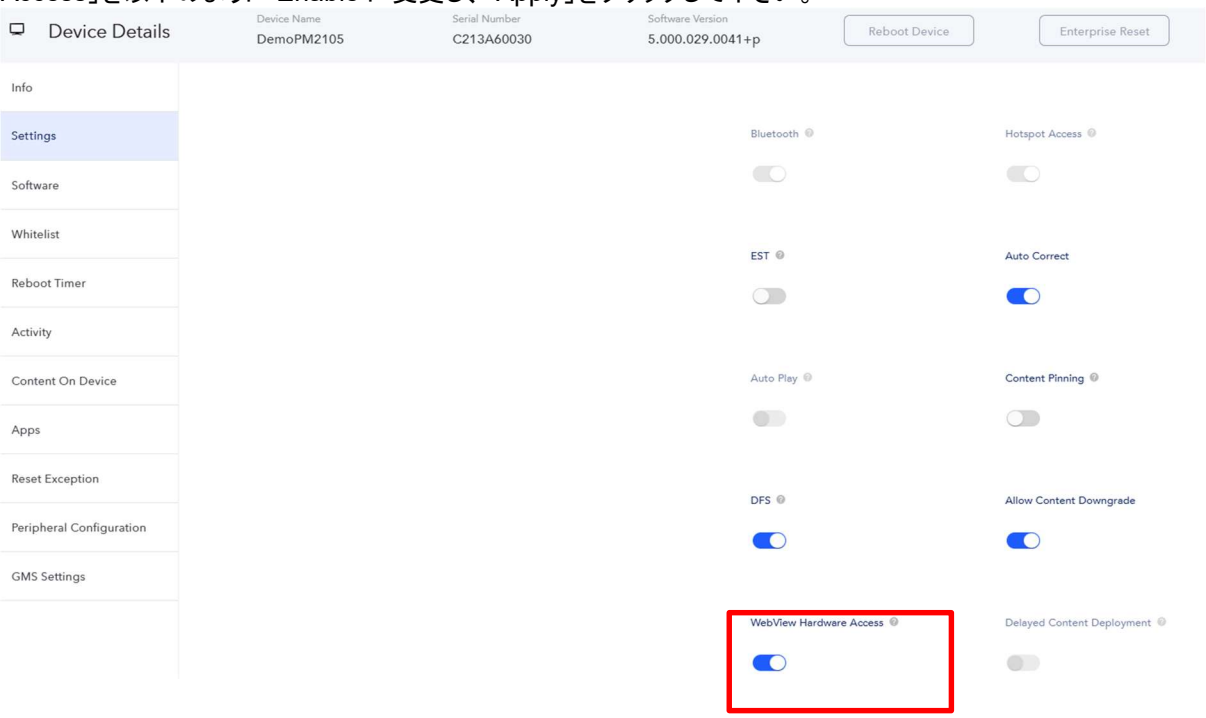
3)　右上の「Apply」をクリックし、変更が終了したメッセージが表示され終了。

また、設定デバイスに反映するためには、この状態で再度配信する必要があります。

その際、既にデバイスに配信済であった場合は、デバイスの Content アイコンの上にカーソルを移動し、左上に表示されるゴミ箱アイコンをクリックして、一旦デバイスに登録されているコンテンツを削除し、再度コンテンツを配信して下さい。(4.4.2 参照)
同一コンテンツ名で、配信した場合、内容が変更されていても、正しく配信されない場合があります。

更に、Web アプリを使用する場合、「Device Details」あるいは「Account Details」内の「Settings」タブ内の「WebView Hardware Access」設定を Enable にして下さい。
WebView がコンテンツを表示する際に、動作がスムーズになります。

以下は「Device Details」内の設定画面例です。 変更する場合は右上の「EDIT」をクリックして、「WebView Hardware Access」を以下のように Enable に変更し、「Apply」をクリックして下さい。



5. アプリケーション/コンテンツのスケジュール設定(Schedule)

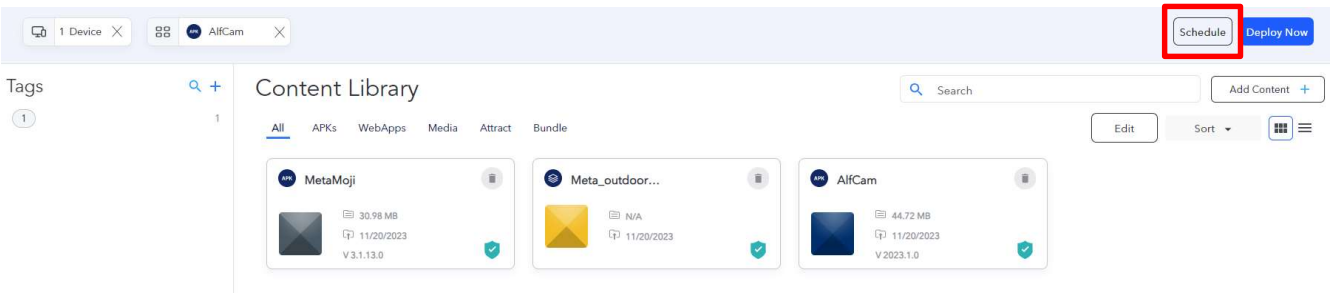
動作させるアプリケーション/コンテンツのスケジュールを EloView で設定しておくことができます。

実行するためには、オンライン状態にしておく必要があります。但し、”Single App”モードでのみ利用可能です。

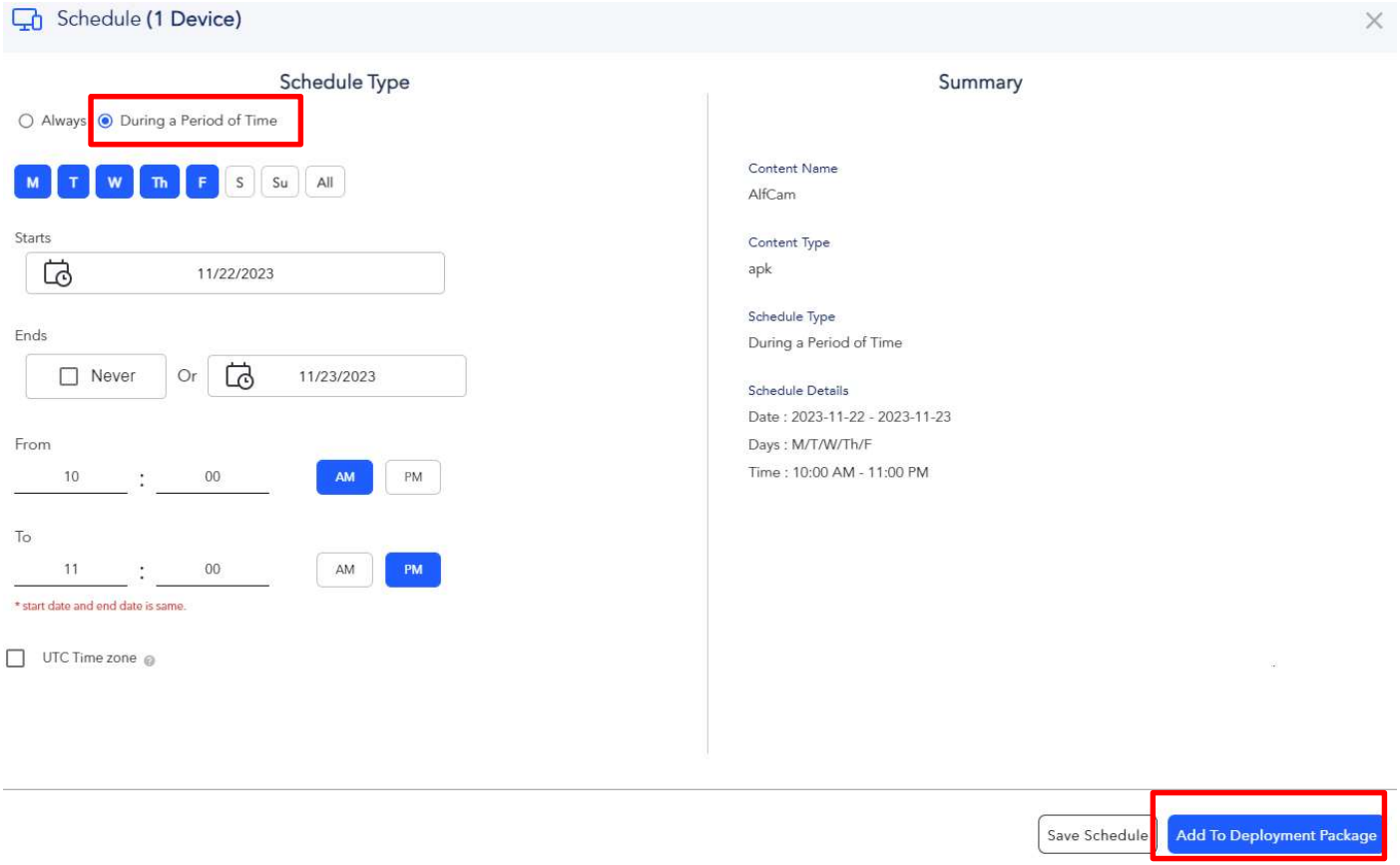
注意)このスケジュールの設定後直ぐに、デバイスに反映することができない場合があるので、設定時間の約 15 分前までには、スケジュール設定を完了して下さい。

5.1 アプリケーション動作スケジュールの作成

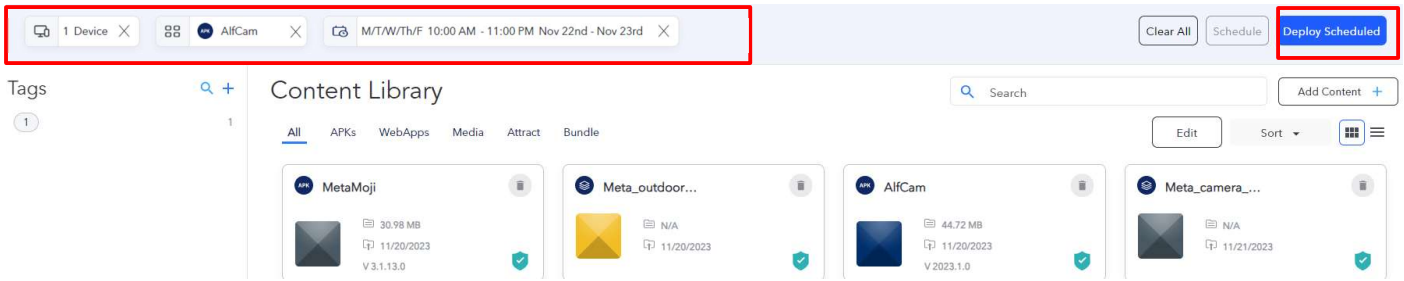
1) 4.3.1 2)までは、直後にコンテンツをインストール場合と同様に、インストールするデバイスとコンテンツを登録し、右上に表示される「Schedule」を選択します。



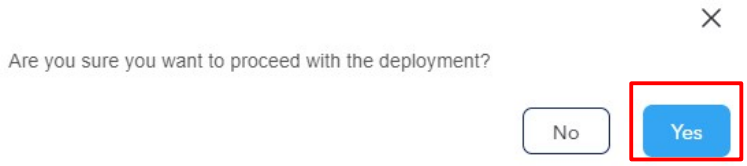
2) 表示された画面の左上の 「During a Period of Time」 を選択すると以下のようにメニューが変更されますので、時間を設定し、右下の「Add To Deployment Package」をクリックします。



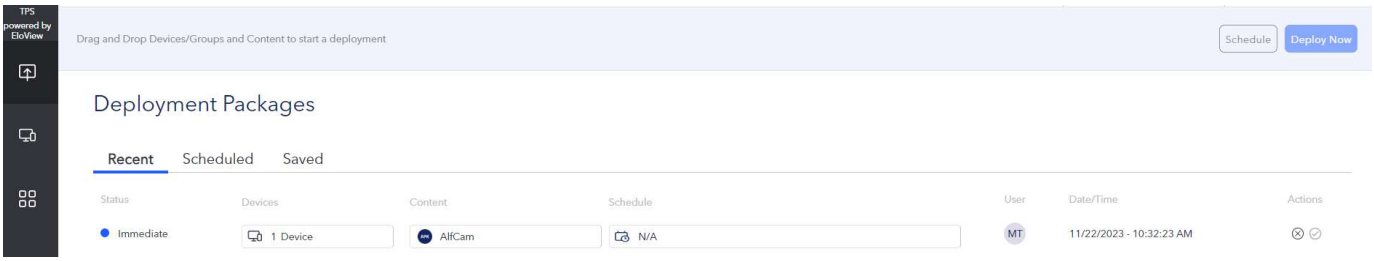
3) Deployment Bar 上に、設定されていることを確認後、「Deploy Scheduled」をクリックします。



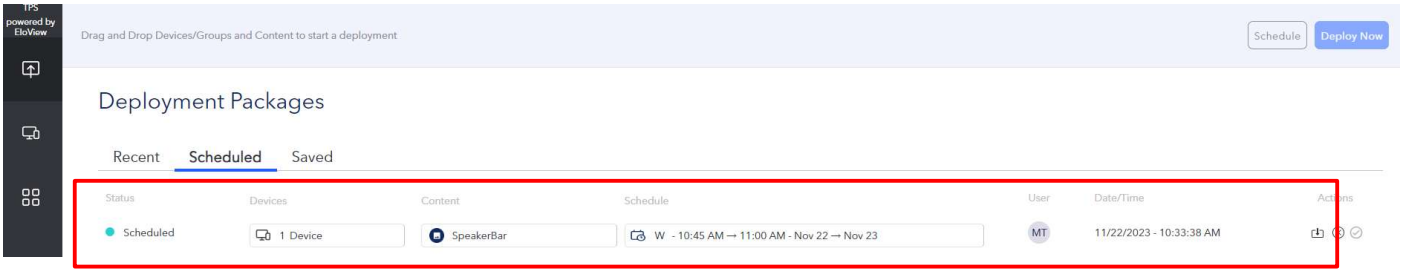
4) 確認メッセージが表示されますので、「Yes」をクリックすると、コンテントが登録されたメッセージが表示されます。



5) 「Deployment」アイコン クリックし、「Deployment Packages」のメニューを表示させます。
「Recent」タブで表示されていますので、「Scheduled」タブを選択します。



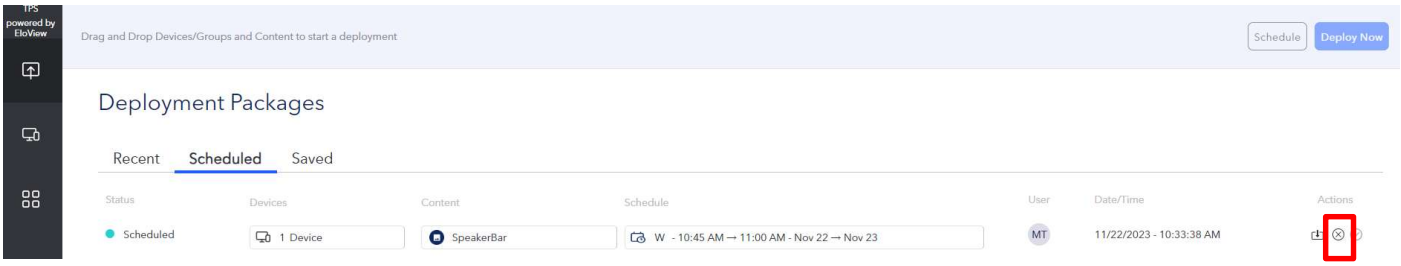
6) 以下のように、登録したコンテンツが表示されていることを確認し終了です。



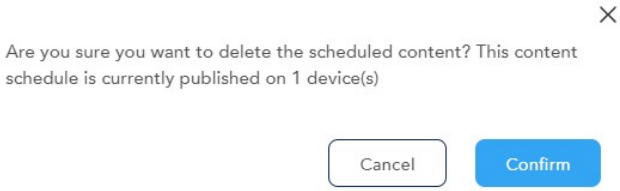
詳細を確認したい場合は、上記表示画面の「Devices」、「Content」、「Schedule」をクリックし、それぞれの Details を表示して確認して下さい。

5.2 アプリケーション動作スケジュールの削除

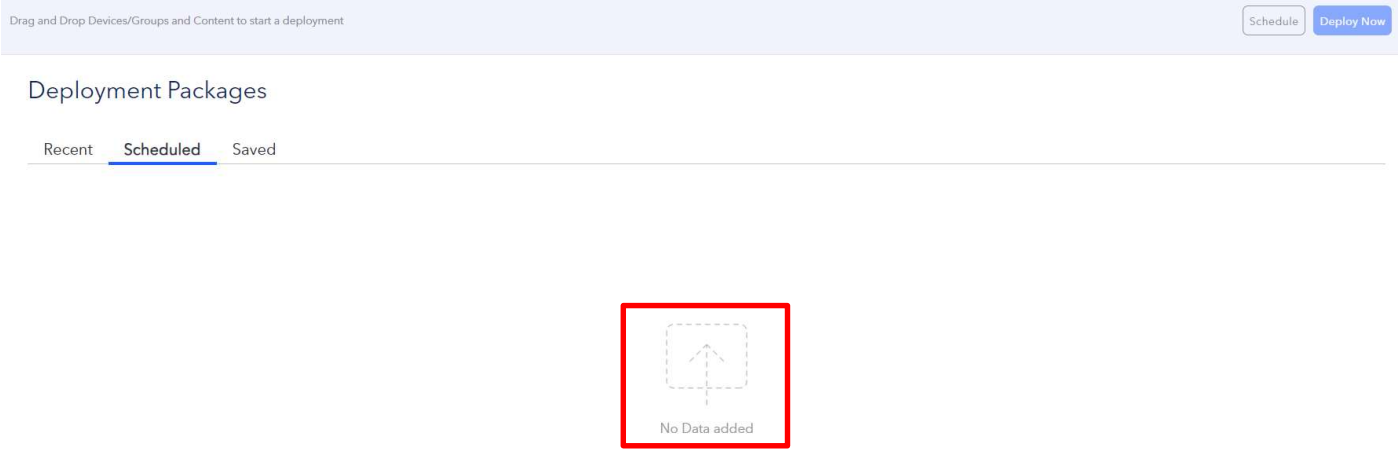
1) 削除するスケジュールの右の ⊗ アイコンをクリックして、Delete します。



2) 削除の確認の表示がされますので、「Confirm」をクリックします。



8) スケジュールが削除されたことを確認し、終了です。



6. ネットワーク要件

EloView4 を使用するためのネットワーク要件について説明します。

デバイスが正しく動作するようにするためには、EloView4 のドメインをホワイトリストに登録し、追加のサポート用 URL を許可し、必要なポートが開いていることを確認し、NTP 同期を許可してください。サービスの中断を防ぐため、IP ではなく必ずドメインベースのルールを使用してください。

EloView 4 必須ドメイン

EloView 4 Domains

URL	Uses
https://secure-api.eloview.com/prod	Token API / OTA updates / OS360 Warranty check - outgoing
https://secure-provisioning.eloview.com/prod	Provisioning base URL - outgoing
https://secure-broker.eloview.com	MQTT Broker URL
https://secure-logs.eloview.com	Upload logs / OTA build and private content – outgoing/incoming
https://secure-content.eloview.com	Content icons on device
https://secure-auth.eloview.com	OAuth login by device
https://polaris-prod-public-ota.s3.us-west-2.amazonaws.com/systemUpdate/	For custom OTAs
https://secure.eloview.com/systemUpdate/	System updates

追加必須 URL

https://cognito-identity.us-west-2.amazonaws.com/

https://cognito-idp.us-west-2.amazonaws.com/

https://polaris-promote-prod.s3.us-west-2.amazonaws.com

https://polaris-scan-prod.s3.us-west-2.amazonaws.com

eloprod.blob.core.windows.net →(Azure Blob Storage)

*.1e100.net → Google-owned domain used by various APIs and cloud services

*.us-west-2.compute.amazonaws.com → AWS IoT Core and Lambda services

*.google.com:443 → network connectivity validation

Time Synchronization (NTP)

- *.pool.ntp.org
- time.android.com

- 2.android.pool.ntp.org
- time.google.com

備考): *EloView は時間補正のため* `2.android.pool.ntp.org` *サーバーと通信します。*

NTP はポート 123 によるフルアクセスが必要です。

Cloudflare CDN

EloView のサービスは、Cloudflare のグローバルコンテンツデリバリーネットワーク(CDN)に依存しています。

- **推奨**:常にドメイン名(例:上記に記載されている EloView ドメイン)でホワイトリスト登録してください。
- **理由**:Cloudflare の IP アドレスは動的で、変更される可能性があります。IP をホワイトリストに登録すると、IP 範囲が更新された際に予期せぬサービス中断が発生する可能性があります。
- **参考情報**:ファイアウォールで明示的な IP の指定が必要な場合、現在使用されているのは以下の IP です:

IPv4 (sample set):

104.16.60.227, 104.16.61.227, 104.16.62.227, 104.16.63.227, 104.16.64.227

IPv6 (sample set):

2606:4700::6810:3ce3, 2606:4700::6810:3de3, 2606:4700::6810:3ee3, 2606:4700::6810:3fe3, 2606:4700::6810:40e3

Required Ports & Protocols

- **443 (HTTPS):** 一般的な EloView 通信のため
- **8883 (MQTT over TLS):** デバイスからクラウドへの安全な通信のため
- **123 (UDP – NTP):** 時刻同期のため

備考) EloView に対応した Android デバイスはデバイスとクラウド間の通信に「**WebSocket**」を使用します。通信はデバイス側から開始されます。

任意利用サービス

TeamViewer を使用される場合は *teamviewer.com

7. TeamViewer の使用

EloView からの操作で、TeamViewer を使用して、Android デバイスのリモートコントロール“Remote Control”ができます。

TeamViewer のライセンス（Corporate, Tensor, Tensor Basic, Tensor Pro, Tensor Unlimited）をお客様が、別途準備する必要があります。

備考)「モバイルデバイスサポート」アドオンは不要ですので、追加でモバイルデバイスサポートを購入する必要はありません。

また、ご使用の EloView アカウントで TeamViewer を使用したい旨、弊社まで依頼して頂く必要があります。

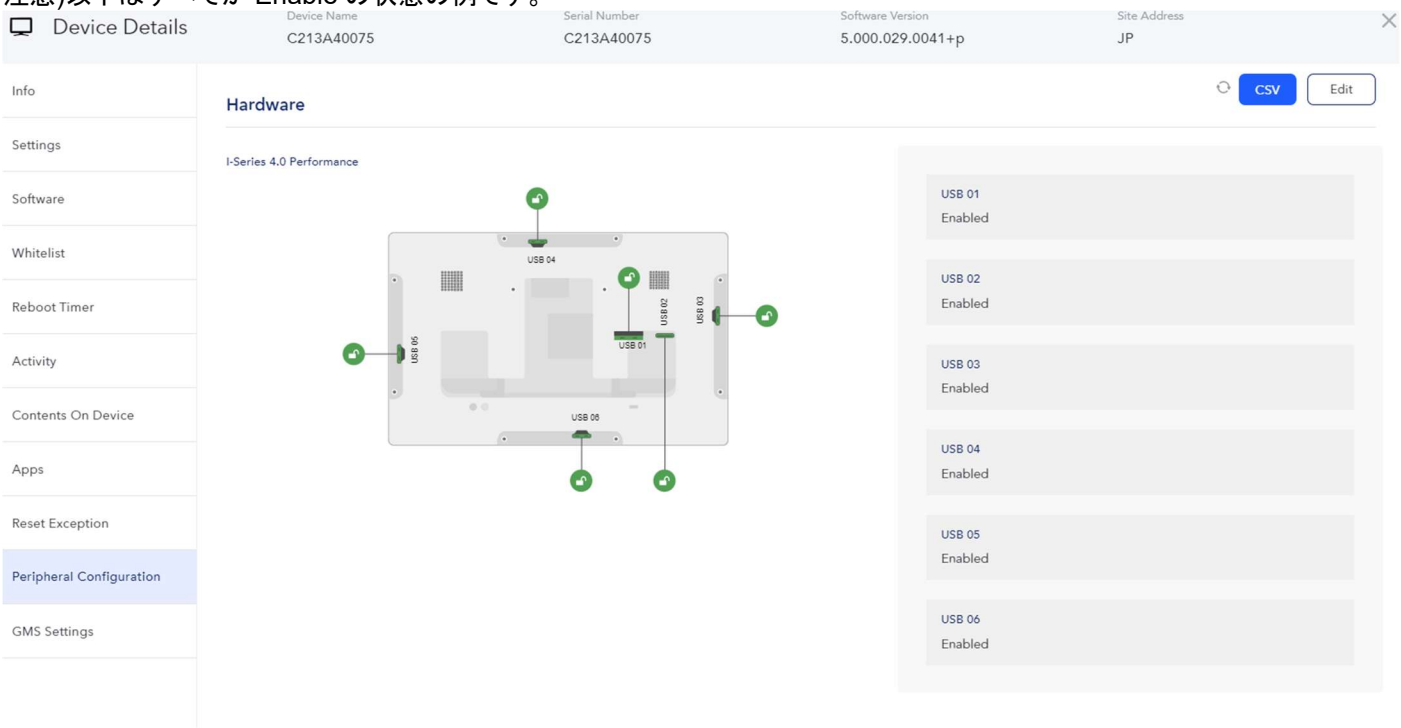
その際、EloView のアカウント情報及び Org ID 情報と共に弊社までお問い合わせください。

TeamViewer の使用手順はその際に提示させていただきます。

8. PoE アダプタ使用時の対応

PoE アダプタを使用する場合は、省電力で動作させるために、USB の設定がオフになります。

使用するデバイスの「Device Details」を表示し、「Peripheral Configuration」タブを選択し、使用する USB を Enable にしてください。
注意)以下はすべてが Enable の状態の例です。



以上